

「静岡県民の社会運動史（仮題）」年表

(1945年8月15日～2015年12月31日)

一般財団法人・静岡社会文化会館／2018.02.14 更新版

西暦	静岡県内の動き
1945 (S20)	10.22 在日本朝鮮人連盟（朝連）静岡県本部結成 10.29 戦災人民大会（静岡）、戦災者人民同盟準備会主催 11.05 下川儀太郎、池谷信一、吉見春雄らが静岡文化人連盟結成 11.～ 熱海に農民組合結成の動き 11.～ 労働組合の結成相次ぐ 11.06 米軍、静岡市に進駐 12.～ 労働争議、12月から発生（14件） 12.05 三島文化協会庶民大学開設 12.08 榛原郡川崎町民大会で「農会を農民の手へ」を要求
1946 (S21)	01.01 静岡軍政部設置 01.10 県労務調停委員に日軽労組の藤沼ら選出 01.21 三保航空隊敷地払下げで農民代表清水市役所に押しかける 01.31 静岡地方労働組合連合会準備会発足 02.06 静岡県労働組合協議会準備会と改称 02.07 日本農民組合静岡県連合会結成大会（会長福島義一） 02.25 遠州地方労働組合連合会（遠労連）結成大会 03.01 清水地区労協結成 03.02 静岡県労働組合協議会（県労協）結成（議長藤沼富美男） 03.一 静岡県労働組合富士地区評議会結成 04.01 県地方労働委員会設置 04.23 市政民主化で富士宮市民大会

社会党・社民党の動き	国内・外の動き
09.22 安部磯雄、高野岩三郎、賀川豊彦の呼びかけによる単一社会主義政党結成準備会開く 10.15 日本社会党結成準備委員会、党名の正式決定と党綱領を発表 10.15 社会党静岡県支部懇談会（旧無産党闘士10数名が出席） 10.21 日本社会党静岡支部準備連絡所開設（静岡市瓦場町・藤原銀蔵方） 11.02 日本社会党結成大会（日比谷公会堂）書記長/片山哲 11.02 日本社会党結成大会に中村初（静岡）、山本徳五郎（静岡）、鈴木貞一（浜松）、稲垣小太郎（浜松）、福島義一（富士）、宗秋月（熱海）、作道良吉（三島）、遠藤欣弥（富士宮）が参加 11.04 社会党静岡県連合準備会（熱海・楽山荘）準備委員長・福島義一 12.04 日本社会党静岡支部結成（支部長/賤機、書記長/川島満） 12.18 日本社会党静岡県支部連合会結成大会（静岡市公会堂）会長/長谷川保、書記長/橋本富貴良、常任執行委員/宗秋月他14名、事務所・静岡市公会堂 ※同日付けで進駐軍届出 12.一 下川儀太郎ら、静岡人民党結成	08.15 日本敗戦、鈴木内閣総辞職 08.15 三菱美唄炭鉱の中国人労働者が「暴動」 08.17 東久邇内閣成立 08.25 市川房枝ら、戦後対策婦人委員会結成 09.02 降伏書調印、GHQ設置 09.25～10.03 世界労働組合連盟（世界労連）結成 09.30 大日本産業報国会解散 10.04 GHQ、日本政府に人権指令（治安維持法、国防保安法の廃止、政法犯の釈放、特高警察の解体、天皇制批判の自由） 10.09 幣原内閣成立 10.10 徳田球一・志賀義雄ら政治犯3,000人出獄 10.11 GHQ、5大改革を指令（婦人の解放、労働者の団結権、学校教育の民主化、専制政治からの解放、経済民主化） 10.15 在日本朝鮮人連盟全国大会 10.24 国際連合成立（国連憲章発効） 11.01 GHQ、財閥解体指令 11.03 労働組合組織中央準備会拡大委員会（総同盟）開く 12.01 日本共産党第4回全国大会 12.08 戦争犯罪人追及人民大会 12.10 高野岩三郎「日本共和国憲法私案」発表 12.15 婦人参政権実現 12.22 労働組合法公布（1946.3.1施行） 12.26 憲法研究会（森戸辰男・鈴木安蔵ら）「憲法草案要綱」発表 12.29 農地調整法改正公布（第1次農地改革始まる）
01.11 山川均、民主人民戦線結成を提唱 01.15 党県連合沼津支部結成 02.09 日本農民組合（日農）結成大会 03.01 山川均ら、民主人民連盟結成準備会結成 04.10 第22回衆議院選挙（全県1区）3人が立候補、山崎道子・長谷川保・渋谷昇次の3人が当選 04.26 静岡市で社会・共産・人民党の三派演説会 05.05 党県連合第2回定期大会（静岡・県議会議事堂）会長/長谷川保、書記長/橋本富喜良、常任書記/河島清、同/松田不久二、顧問/福島義一、同/海野晋普吉 ※05.27付進駐軍に会長・書記長届出	01.01 天皇神格否定宣言 01.17 日本労働組合総同盟発足 02.17 金融緊急措置令（新円切替え） 02.28 公職追放開始 03.05 英チャーチル首相「鉄のカーテン」演説、冷戦の始まり 03.06 政府、憲法改正案発表 04.10 戦後第1回総選挙 第22回衆議院選挙（社会93、自由141、進歩94、協同14、共産5、諸派38、無所属81） 04.20 持株会社整理委員会令公布（財閥解体本格開始） 05.01 戦後第1回メーデー（11年ぶりに復活）、参加者

	<p>05.01 戦後第1回（18回）メーデー、静岡・浜松・清水・沼津・伊東・熱海・御殿場・駿豆・蒲原・磐田などで盛大に挙行</p> <p>05.17 食糧危機突破静岡県人民大会</p> <p>05.26 総同盟県連創立大会（会長北村一郎）</p> <p>06.19 地木社争議、地労委初の提訴</p> <p>09.10 富士山麓開墾組合連合会結成</p> <p>09.27 県労会議第1回会合、県労協は発展的解消</p> <p>11.09 静岡地区労働組合会議準備会</p> <p>11.19 県工業協会創立大会</p> <p>12.09 静岡県労働組合共闘会議結成（議長本多正秋）</p>
1947 (S22)	<p>01.15 スト体制確立大会（県庁前広場）、2.1ストに向け、以後各地で実施</p> <p>01.21 静岡軍政部、全通2.1ゼネストに嚴重警告</p> <p>01.27 日本農民組合駿東郡沼津市連合会結成大会</p> <p>01.28 吉田内閣打倒・危機突破大会（静岡・浜松）</p> <p>01.31 日本農民組合県連合第3回大会（静岡市公会堂）</p> <p>03.07 日本農民組合県連合第5回大会（県農協講堂）委員長福島義一</p> <p>04.- 遠州産業復興協議会結成、遠労会議（1.18遠労連を改称）も参加</p> <p>05.01 第19回メーデー、県庁へ陳情団派遣</p> <p>06.03 浜松で県下初の「米よこせ」大会</p> <p>07.07 静岡県民主団体会議結成（議長小原藤吉）</p> <p>07.22～29 静岡労働文化大学（静岡）県・静岡市共催、講師/大河内一男「日本労働運動史」、赤松常子「女性解放」、岡田宗司「農村問題」ほか</p> <p>08.15 日農県連、日農脱退、県農民組合連合結成</p> <p>10.17 県工業協会、県経営者協会と改称</p> <p>12.21 生活を守る公聴会（静岡市公会堂）</p> <p>12.22 県民主団体会議、公安委員選出の民主化を県・市に申入れ</p>

<p>※06.19付県進駐軍に連合役員届出</p> <p>05.- 静岡民主戦線世話人会</p> <p>06.09 青共、社会党青年部、日農青年部主催の青年協議会結成</p> <p>07.24 党県連合清水支部「青年社会主義講座開講」</p> <p>09.15 党県連合引佐支部結成</p> <p>09.28 党第2回定期大会、委員長/片山哲、書記長/西尾末広</p> <p>10.- 党、吉田亡国内閣打倒、危機突破委員会設置</p> <p>10.09 党県連合静岡支部公選市長選で公聴会</p> <p>10.15 党県連合磐田支部結成</p> <p>10.16 党県連合島田支部結成</p> <p>10.20 党県連青年部結成</p> <p>10.26 党県連合浜松支部結成</p> <p>12.17 吉田内閣打倒静岡地区大会（静岡）</p>	<p>全国で200万人</p> <p>05.03 極東国際軍事裁判開始</p> <p>05.12 東京・世田谷の「米よこせ大会」、宮城へデモ</p> <p>05.19 食糧メーデー、プラカード事件</p> <p>05.22 第1次吉田内閣成立</p> <p>07.24 国鉄、大量整理通告（9.14取消し）</p> <p>08.16 経済団体連合会（経団連）創立</p> <p>09.27 労働関係調整法公布</p> <p>10.21 第2次農地改革法</p> <p>11.03 日本国憲法公布</p> <p>11.26 全官公庁共闘発足（12.3共同要求提出）</p> <p>12.17 生活権確保・吉田内閣打倒国民大会</p>
<p>01.26 党県連合清水支部大会、支部長/今村高五郎</p> <p>02.20 平野力三ら日本農民党結成</p> <p>04.05 第1回静岡県知事選、福島義一（社）落選、知事には小林武治</p> <p>04.20 第1回参院選地方区、内田真良（社）落選</p> <p>04.25 第23回衆議院選挙静岡3選挙区に5人が立候補、池谷信一・山崎道子・勝間田清一・川合彰武の4人が当選</p> <p>04.30 第12回静岡県議選、党26人擁立、9人当選</p> <p>05.14 党左派（鈴木茂三郎、加藤勘十）が共産党に絶縁声明</p> <p>06.08 党県連合青年部大会（静岡市役所）</p> <p>06.12 党県連合第3回定期大会（静岡市公会堂）180名出席、会長/海野晋吉、副会長/橋本富貴良、書記長/渡辺元次郎</p> <p>※07.04 進駐軍に会長/海野晋吉、書記長/渡辺元次郎届出</p> <p>07.11 沼津市長選挙、山本雅彦（公認）落選</p> <p>07.17 党静岡支部主催「婦人文化講座」</p> <p>07.18 「社会党激励大会」（沼津御用邸跡広場）</p> <p>07.30 党、賃金物価に関する基本政綱発表</p> <p>10.07～10 鈴木茂三郎・浅沼稻次郎街頭演説、7日熱海、8日三島・沼津、9日富士・清水・静岡、10日掛川・浜松</p> <p>11.04 模擬国会（静岡市公会堂）</p> <p>12.05 党県連合、磐田市部落民の農地問題調査</p> <p>12.13 党左派、4党協定破棄などを要求して党内野党声明</p> <p>12.18 静岡県議会で下川議員、小林知事の「県教組はストでも何でもやれ」発言を追及24日決着</p>	<p>01.01 吉田首相、労働者を「不逞のやから」発言</p> <p>01.18 全官公庁共闘、2.1スト宣言</p> <p>01.28 吉田内閣打倒・危機突破国民大会</p> <p>01.31 マッカーサー、2.1ゼネスト中止を指令</p> <p>02.01 「2.1ゼネスト」中止</p> <p>02.06 経済復興会議結成大会</p> <p>03.08 戦後初の国際婦人デー</p> <p>03.12 トルーマン・ドクトリン発表</p> <p>03.31 教育基本法、学校教育法公布、6・3制新教育実施</p> <p>03.31 民主党結成</p> <p>04.07 労働基準法公布（9.1施行）</p> <p>04.20 第1回参院選（社会47、自由38、民主30、国協9、共産4、諸派11、無所属111）</p> <p>04.25 第23回衆議院選挙（社会143、自由131、民主124、国協31、共産4、諸派20、無所属12）</p> <p>05.01 メーデー、全国で300万人参加</p> <p>05.03 日本国憲法施行</p> <p>05.19 経営者団体連合会創立（日経連の前身）</p> <p>06.01 片山内閣発足（社会・民主・国民協同の社会党首班連立内閣）</p> <p>07.01 公正取引委員会発足</p> <p>07.05 新物価体系（1,800円ベース）発表</p> <p>07.25 全国農民組合結成大会（日農から分裂した平野派による）</p> <p>08.04 最高裁判所発足</p> <p>10.21 国家公務員法公布</p> <p>10.26 改正刑法公布（不敬罪・姦通罪廃止）</p> <p>12.17 警察法公布（自治体警察を主体とし国家警察との2元制を規定）</p> <p>12.20 炭鉱国家管理法公布</p>

1948 (S23)	<p>02.06 労働者教育公聴会（清水市）</p> <p>03.16 農業所得税、事業所得税の不当課税で審査および是正運動起こす</p> <p>04.01 県労働部新設</p> <p>04.10 婦人参政権記念討論会（県会議事堂）</p> <p>05.01 戦後第3回メーデー（静岡・沼津・清水・熱海・伊東・富士宮・金谷）</p> <p>05.15 県労会議、運賃・通信料値上げ反対運動展開</p> <p>05.30～06.01 第2回社会教育研究大会（掛川一高）、06.04～06 同（三島一高）</p> <p>05.31 県経営者協会、労働専門委員会設置</p> <p>07.一 県、産業復興5カ年計画発表</p> <p>07.27 県農業協同組合発足</p> <p>08.04 県労会議、政令201号反対で「非常宣言」</p> <p>09.18 県労働組合民主化懇談会（県労民懇）世話人会（1949.2.20結成大会）、県下民同派の結集</p> <p>10.16 電産スト指令で県支部幹部8人に逮捕状</p> <p>10.18 市公安条例反対大会（沼津市）</p> <p>11.20 県公安条例制定反対陳情書、6組合から提出</p> <p>11.22 静岡市公安条例可決</p> <p>11.25 電産停電スト決行</p> <p>12.04 県公安条例、県議会で可決</p> <p>12.08 県労会議、県公安条例改廃請求運動</p>
1949 (S24)	<p>05.01 第20回メーデー（県下21カ所、10万人参加）</p> <p>05.09 県、1月～5月までの県下企業整備による解雇者3,162人と発表</p> <p>05.31 静岡大学設置</p> <p>07.01 静岡軍政部、民事部と改称、11.30に廃止</p> <p>07.04 県労会議、産業防衛共闘委員会開催、ドッジプラン・企業整備による首切り反対闘争開始</p> <p>07.04 国鉄静岡管理局第1次整理389人・浜工484人で解雇撤回闘争</p> <p>07.12 自治労連県連、公安条例廃止請求を告示</p> <p>09.08 県失業対策本部第1回総会</p> <p>09.09 朝連県本部接收完了</p> <p>10.05～11.30 日産吉原工場、人員整理反対で争議</p> <p>10.10 静岡県労働組合統一協議会結成準備会、県労民懇発展的解消</p> <p>11.09 大島県労会議事務局長、小糸争議で検挙</p> <p>11.22 山口寅吉労農党県議、沼津自動車争議で逮捕</p> <p>12.03 産業再建静岡県共闘会議結成、民同派総結集</p> <p>12.06 日雇い労働者、職よこせ交渉(清水市役所)</p> <p>12.17 産業再建県共闘主催労働者大会</p>

12.19 党政調会、4党協定破棄決定	
01.05 党内全農派16名脱党	02.10 片山内閣総辞職
01.19 党中央第3回大会、4党協定破棄、書記長浅沼稻次郎	03.07 新警察制度発足
02.05 鈴木茂三郎衆院予算委員長、補正予算案を否決	03.10 芦田内閣成立（社会・民主・国民協同の連立内閣）
02.10～ 党県連合西・中・東で選挙対策地区協議会	03.15 民主自由党結成（総裁吉田茂）
02.23 平野力蔵一派16名、社会革新党結成	04.12 日本経営者連盟（日経連）設立
05.16 党県連合大山郁夫講演会「国際情勢と日本の進路」聴講1500名	04.16～10.19 東宝争議、武装警官1,800人出動
06.06 党県連合第4回定期大会（三島・労働文化会館）会長/橋本富貴良、副会長/内田貞良、書記長/下川儀太郎	04.17 労組婦人部・婦人団体など日本民主婦人協議会（民婦協）結成
※06.20 進駐軍に会長/橋本富貴良、副会長/内田貞良、書記長/下川儀太郎届出	04.28 産別、総同盟対立して経済復興会議解散
06.10 党左派、西尾献金問題で肃党声明	05.01 海上保安庁設置
07.07 党中執委、西尾末広の役員解任、黒田寿男ら6名の除名を決定	06.19 衆参両院で「教育勅語」「軍人勅諭」「戊申詔書」などの失効決議
07.08 黒田寿男ら「社会党正統派議員団」を結成、12日木村喜八郎らが脱党し合流	06.23 昭和電工疑獄事件
10.24 党県連合「静岡県民主団体会議」に組織解体を要求、県民会議は拒否	07.01 国家公務員法施行
10.06 昭電疑獄で社会党中執委、芦田内閣の即時総辞職を決定	07.07 福井市公安条例公布、全国初
10.08 党中執委、西尾末広の除名を決定（中央委員会で可決）	07.31 政令201号公布・施行、公務員の争議行為禁止
11.23 党県連合第5回臨時大会（静岡・静岡公共職業安定所）総選挙対策	08.15 李承晩「大韓民国」樹立宣言
	09.09 朝鮮民主主義人民共和国成立
	10.19 第2次吉田内閣成立
	10.下旬 電産、各地で地域闘争・停電スト
	11.11 GHQ、企業合理化3原則を発表
	11.12 極東軍事裁判判決（12.23東条ら7人絞首刑）
	11.30 改正国家公務員法成立（12.2公布）
	12.02 労働者農民党（労農党）結成、主席黒田寿男
	12.18 GHQ、経済安定9原則発表
	12.23 吉田内閣不信任、国会解散
01.05 党、共産党の社共共同申入れを拒否	01.23 第24回衆議院選挙（社会48、民主自由264、民主69、共産35、協同14、労農7、諸派17、無所属12）
01.21 党県連合社会党分裂に反対声明	02.04 GHQエドガー来静、労資代表25人と懇談
01.21 党県連合榛原支部解散し右社の下部組織として再組織	02.一 労働省婦人少年局廃止案に反対運動起こる
01.23 第24回衆議院選挙（静岡）、6人が立候補、勝間田清一の1名が当選	03.23 GHQ、組合専従者の給料支払い停止を指令
01.27 党県連合富士宮支部拡大委員会、「県連一本化」を主張	04.04 団体等規正令公布施行（レッド・パージ開始）
02.04 党県連合「県連合の統一に関する声明書」発表	04.21 日農第3回大会を前に分裂
04.14 党第4回大会、森戸・稲村論争、委員長に片山哲、書記長に鈴木茂三郎	05.20 人事院規則施行、公務員の政治活動制限
07.06 国鉄人員整理で党県連合山口・神成両県議も解雇	05.31 定員法公布（6.1施行）
07.30 静岡県議会に公安条例廃止案提出するが否決	06.01 労働組合法、労働関係調整法改正公布
08.10 党県連合再建大会（静岡・静岡公共職業安定所）会長/橋本富貴良、書記長/神成昇造	07.02 民主主義擁護同盟結成大会
※09.10 進駐軍に委員長/橋本富貴良、書記長/神成昇造届出	07.04 国鉄第1次人員整理発表
	07.05 下山事件（下山国鉄総裁が轢死体で発見）
	07.13 国鉄第2次人員整理発表（計99,000人）
	07.15 三鷹事件発生
	08.01 郵政・電気通信当局、11,500人の整理通告
	08.17 松川事件発生

1950 (S25)	<p>03.04 農民組合県連合会結成、会長・中世古清継</p> <p>03.10 静鉄に駿遠線電化で路線の拡充を要請</p> <p>03.11 中小企業危機突破大会（静岡市公会堂）</p> <p>03.15 遠州地方共闘会議結成大会（議長渡辺忠雄）</p> <p>04.一 警察予備隊結成絶対反対！要求貫徹集会（県庁前）</p> <p>04.13 熱海市大火、1,015戸焼失</p> <p>05.01 第21回メーデー、県下各地で挙行</p> <p>05.15 ドリス台風による津波・水害に農民300人が静岡市に押し寄せた</p> <p>06.13 遠州地方に5昼夜記録的豪雨</p> <p>07.14 汚水問題で農民紛糾（吉原）</p> <p>07.30 汚染水問題で田子浦漁協と紙業対立</p> <p>08.26 電産レッド・ページ、県下32人、以後各産業に</p> <p>09.01 産業再建県共闘、全面講和などの推進を決定</p> <p>11.03 警察予備隊の誘致に清水市三保難色</p> <p>11.10 朝連学校浜松の50人が接収に異議申し立て</p> <p>11.22 静岡県労働組合評議会（県評）結成準備会発足</p>
1951 (S26)	<p>01.26 農村実態と農業税について研究会</p> <p>02.20 県金属労働組合協議会結成（会長野木勇逸）</p> <p>03.25 静岡県労働組合評議会結成準備大会（静岡高校講堂）委員長/鈴木貞一（国労）、事務局長/竹本正晴（繊維）</p> <p>05.01 第22回メーデー（10カ所、30,000人参加）</p> <p>05.27 総同盟県連解体、県評合流に決定</p> <p>08.22 静岡県平和推進国民会議結成大会（単独講和反対）</p> <p>09.01 県平和推進国民大会（県評準備会主催）</p> <p>09.03 県労働法規改悪反対闘争委員会結成</p> <p>11.10 生活危機突破・労働法規改悪反対県労働者大会</p> <p>11.10 凶作対策要求農民大会（藤枝）</p> <p>11.20 静岡県労働組合評議会結成大会（静岡高校講堂）議長/鈴木正次（国労）、事務局長/中島市三</p>

09.28 静岡県議会、県職員・教員定数条例など可決	09.19 公務員の政治活動制限の人事院規則施行
12.04 党中執委、「講和に対する一般的態度」を決定、平和3原則の方向明らか	10.01 中華人民共和国成立
	10.08 在日本朝鮮人連盟に解散命令
	10.28 全自動車、27,000人首切り反対で統一スト
	11.28 国際自由労働組合連盟（国際自由労連）結成
	12.10 全国産業別労働組合連合（新産別）結成大会
01.16 党第5回大会、運動方針をめぐる左右激突、第1次分裂	01.06 コミンフォルム、日本共産党批判
01.21 党県連合、左派路線確認	02.10 GHQ、沖縄の恒久的基地建設開始を声明
02.01 左・右・中間派統一のための第1回懇談会開く	03.01 自由党結成（民自党・民主党連立派が合同）
02.04 党県連合委員会「統一促進のため臨時全国大会を開催して党の団結発展を期する」など5項目を決議	06.04 第2回参議院選挙、（社会36、自由52、民主9、緑風9、農民協同3、共産2、労農2、無所属9）
03.20 下川静岡県議「中小企業対策」で小林静岡知事追及	06.06 GHQ、共産党中央委員24人追放
04.03 党第6回臨時大会、左・右・中間派の妥協が成立、委員長空席、書記長に浅沼稻次郎を選出	06.16 集会・デモ、全国的に禁止される
04.23 党県連合第6回定期大会（静岡・歯科医師会館）会長/橋本富貴良、書記長/作道良吉	06.25 朝鮮戦争始まる
※05.一 進駐軍に会長/橋本富貴良、書記長/作道良吉届出	07.08 マッカーサー、警察予備隊75,000名、海上保安庁8,000名増員を指令
05.24 参院選地方区で社会党・労農党・共産党・県労会議が統一候補に党の芹沢候補で妥結	07.11～12 日本労働組合総評議会（総評）結成大会（東交会館）、議長/武藤武雄（炭労・2年7月まで）、事務局長/島上善五郎（都市交）
06.04 第2回参院選地方区、芦沢彪衛（落選）	07.18 マッカーサー、『アカハタ』の無期限発行停止を指令
07.06 党中執委、朝鮮戦争不介入方針決定	07.25 総評緊急評議員会、北朝鮮の武力侵略反対・国連支持・戦争不介入を決定
07.25 静岡県議会で神成県議、地方税で県当局追及	07.28 新聞・放送関係のレッド・ページ開始
08.08 静岡県議会在が遊飲税で社会党の修正案を否決	08.10 警察予備隊令公布
10.22 加藤亮三、勝間田清一、加藤勘十氏らの街頭演説（静岡市など）	08.26 電産にレッド・ページ（2,137人）
12.21 党県連合選挙対策委員会、清水市長選に今村、県議選に15名の候補擁立を決定	08.30 マッカーサー、全労連解散を指令
12.28 党中執委、「全面講和・中立堅持・軍事基地反対」の平和三原則決定	09.01 閣議、レッド・ページ方針正式決定
	10.01 日中友好協会設立
	10.24 米政府、対日講和7原則表明
	10.25 中国人民義勇軍、朝鮮戦争に出動
	11.30 総同盟大会、右派退場・事実上分裂
	12.13 地方公務員法公布
01.19～21 党第7回大会、委員長/鈴木茂三郎、書記長/浅沼稻次郎、平和四原則決定	01.24 日教組、「教え子を再び戦場に送るな」の運動決定
02.01 鈴木委員長・浅沼書記長、ダレス米特使に平和4原則を申入れ	02.10 社会民主党結成（委員長/平野力三）
03.03～04 党県連合第7回定期大会（伊豆長岡・住吉館）委員長/勝間田清一、副委員長/下川儀太郎、書記長/作道良吉	03.10～12 総評第2回定期大会、議長/武藤武雄（炭労）、事務局長/高野実（全国金属・55年8月まで）、再軍備反対・中立堅持・軍事基地提供反対・全面講和の平和4原則決定、国際自由労連一括加盟否決（ニワトリからアヒルへの転換）
※04.14 進駐軍に会長/勝間田清一、副委員長/下川儀太郎、書記長/作道良吉届出	04.01 琉球臨時政府成立
03.31 党県連合、平和講演会（静岡・三島）	04.11 マッカーサー罷免、後任にリッジウェイ
04.30 第2回静岡県知事選、長谷川保（426,048票・次点）、斎藤寿夫（保・無）当選	05.11 労働基準法改悪反対闘争委員会（労闘）結成
	05.14 GHQ、対日援助打ち切り声明

	(全日通)
1952 (S27)	<p>01.26 静岡地区労働組合評議会結成</p> <p>02.15 三方原演習地反対村民大会</p> <p>03.～ 警察予備隊誘置反対運動 (三島)</p> <p>03.一 破壊活動防止法制定反対集会</p> <p>03.01 吉田内閣打倒・労働法規改悪反対労働者大会(県下5地区)</p> <p>03.～ 地方税軽減運動 (各地区労・町勤労協主催)</p> <p>03.一 食糧統制撤廃反対期成同盟結成 (県評主体)</p> <p>03.25 労働法規改悪反対で各地区から国会へ陳情</p> <p>04.09 労働者弾圧法制定反対総決起大会</p> <p>04.12 破防法反対スト、日産など5労組参加</p> <p>06.26 県評第2回定期大会 (県労働会館) 議長/相川久吉 (全日通)、事務局長/青木薪次 (国労)</p> <p>08.17 講和問題討論会 (県評主催)</p> <p>09.30 浜名郡入野村広成産業女工員脱走 (以後労基署60工場に警告、11月まで摘発に乗り出す)</p> <p>10.19 遠江試射場を米軍が接收の申入れ</p> <p>10.31 遠江試射場反対で小笠郡池新田、千浜、佐倉、睦浜の全住民の反対署名運動、17,000筆集約</p> <p>11.20 臨時県議会、遠江試射場接收反対を決議</p>
1953 (S28)	<p>02.15 保安隊浜松航空学校演習地問題で、浜名郡三方原住民が演習地反対村民大会</p> <p>02.22 県教育防衛大会 (県内各地で開催)</p>

<p>04.30 第13回静岡県議選、党13名公認・1名推薦9人が当選</p> <p>07.22 党県連合事務所、県議会議員控室に移転</p> <p>07.26 党、講和全権代表団に参加を拒否</p> <p>09.17～19 鈴木茂三郎による平和講演会 (静岡・二俣・三島・裾野)</p> <p>10.05 党中執委、講和条約賛成、安保条約反対の態度決定</p> <p>10.08 県連合拡大執委で講和・安保両条約に反対することを決定</p> <p>10.23 党第8回臨時大会、講和条約、安保条約をめぐる左右が対立、翌24日分裂</p> <p>11.04 党県連合、右派の山崎釦二ら2人除名</p>	<p>06.10 ソ連、米に対日全面講和会議の開催を提案</p> <p>06.21 ILOとユネスコに日本正式加盟</p> <p>07.10 開城で朝鮮休戦会談開始</p> <p>07.10 政府、財閥解体完了を報告</p> <p>08.06 広島で全国労働者平和大会</p> <p>09.08 サンフランシスコ講和・日米安保条約調印</p> <p>10.20 総評主催、生活危機突破・労働法規改悪反対全国労働者総決起大会</p> <p>10.26 衆議院、講和・安保両条約を承認</p> <p>11.06 総評、団体等規正令・ゼネスト禁止法反対で「非常事態」宣言</p> <p>11.18 参議院、講和・安保両条約を承認</p>
<p>01.20 右派社会党第9回大会、委員長空席、書記長/浅沼稻次郎</p> <p>01.28 左派社会党第9回大会、委員長/鈴木茂三郎、書記長/野溝勝</p> <p>03.15～16 党県連合第8回定期大会 (静岡・観光会館) 会長/勝間田清一、副委員長/長谷川保、書記長/作道良吉</p> <p>03.18 右派社会党県連結成大会、会長/山崎釦二、書記長/渋谷昇次</p> <p>04.04 左社、右社と労農党に統一の申入れ</p> <p>05.06 参議院選挙地方区補選、橋本富貴良立候補、落選</p> <p>05.17 右社、無条件統一に反対し、統一に関する7原則決定</p> <p>05.一 県議会5月定例会で富士山頂米軍接收反対決議、東富士演習場拡張反対決議</p> <p>07.20 左社党県連合第9回臨時大会 (静岡・労働会館)</p> <p>08.一 県連合青年部再建支部代表者会議</p> <p>08.12 右社、西尾末広の復党を承認</p> <p>08.25 右社第10回臨時大会、委員長/河上丈太郎</p> <p>10.01 第25回衆議院選挙 (静岡)、6人が立候補、左社の下川儀太郎・勝間田清一・長谷川保の3人が当選</p> <p>11.05 静岡県議会共闘委員会発足</p> <p>11.21 社・自、地元議員・市町村長、遠江試射場接收反対を上京し陳情</p> <p>自治体議員選挙 市議会議員 (11名、熱海、伊東、沼津、富士宮、清水、静岡、浜松)、町村議員 (34名、自治体名不詳)</p>	<p>01.18 韓国、「李承晩ライン」宣言</p> <p>02.08 改進黨結成</p> <p>02.28 日米行政協定調印</p> <p>03.27 政府、破壊活動防止法案要綱を発表</p> <p>04.28 対日講和・安保両条約発効、GHQ廃止</p> <p>05.01 第23回メーデー (血のメーデー事件)</p> <p>05.15 破防法、衆院本会議で自由党修正案通り可決</p> <p>06.24 吹田事件発生</p> <p>06.25 朝鮮戦争2周年記念平和集会</p> <p>07.04 破防法、衆議院で可決成立、21日公布施行</p> <p>07.21 公安調査庁発足</p> <p>07.22～24 総評第3回定期大会、議長/藤田進 (電産/56年8月まで)、賃金綱領採択</p> <p>07.23 協同党結成 (社会民主党と農民協同党の一部が合同)</p> <p>07.31 労働3法改悪案可決成立</p> <p>08.01 日本電信電話公社発足</p> <p>08.13 日本IMF (国際通貨基金) に加盟</p> <p>12.02 石川県内灘の米軍演習場使用を閣議決定 08.05 公安調査委員会発足</p> <p>09.06 電産、電源スト開始 (12.18収拾)</p> <p>10.01 第25回衆議院選挙 (右社57、左社54、自由240、改進黨85、労農4、諸派7、無所属19)</p> <p>10.15 警察予備隊、保安隊に改組</p> <p>12.02 石川県内灘の米軍演習場使用を閣議決定</p>
<p>01.18 右社第11回大会、委員長/河上丈太郎、書記長/浅沼稻次郎</p>	<p>01.15 憲法擁護国民連合発足</p> <p>03.05 ソ連・スターリン首相死去</p>

	<p>03.01 静岡県労働金庫創立大会</p> <p>04.12 遠州地方民主主義労働組合連絡協議会結成</p> <p>05.25 日産自動車争議起こる、09.21争議妥結</p> <p>06.18～20 富士の裾野で保安隊大連合演習</p> <p>07.09 田子浦農民、製紙会社へ污水問題で押しかける</p> <p>07.31 県評第3回定期大会（県労働会館）議長/松本広（自治労・56年8月まで）、事務局長/金塚正作（国労・55年8月まで）民労連系が対案提出</p> <p>09.10 高射砲隊移駐反対遠州地方住民大会</p> <p>09.- 峰之沢鉾山中国人殉難者慰霊祭</p> <p>11.05 凶作で中駿地区の深良・富岡・袖師地区の移民が農民大会</p> <p>11.21 生活権確保県民総決起大会</p> <p>11.25 高射砲隊が長崎から保安隊浜松航空学校に移駐</p> <p>●軍事基地反対闘争活発化</p> <p>県内の接収・接収予定基地（東富士演習場及び富士山頂拡張、須走保安隊学校、ドック・マイク両海上演習場、千本浜上陸演習場、静浜・大井両飛行場、御前崎レーダー基地、遠江試射場、浜松飛行学校、浜松飛行場の拡張）</p>
1954 (S29)	<p>01.25 平和憲法擁護大講演会（県労働会館）</p> <p>03.01 焼津鮪漁船「第五福竜丸」ビキニ環礁近海でアメリカの水爆実験で被爆</p> <p>03.14 第五福竜丸焼津帰港</p> <p>03.21 焼津市議会、原子兵器禁止・平和利用要求を決議</p> <p>05.08 「ビキニ水爆被災についての村民の声」の署名運動が吉永村（現焼津市）ではじまる</p> <p>06.02 近江絹糸、組合承認・外出・結婚の自由など要求（6.4～スト、9.16会社屈伏で妥結）</p> <p>07.05 近江絹糸争議支援富士宮市民大会</p> <p>07.16 憲法擁護静岡県民連合結成、平和講演会/「講演と映画（最後の女たち）の会」開催</p> <p>07.31 県評第4回定期大会（県労働会館）</p> <p>08.- 世界平和集会静岡県準備会結成</p> <p>08.15 この日を中心に平和講演会（原爆問題）、講演と映画会、原水爆反対署名活動、原爆写真集の展示を実施</p> <p>08.17 造船産業国民生活危機突破市民大会（清水）</p> <p>08.20 須走に自衛隊富士学校開校</p> <p>09.08 沼津地区労働組合協議会結成大会（再発足）</p> <p>09.22 原水爆禁止・補償要求市民大会（焼津）</p> <p>09.23 久保山愛吉第五福竜丸無線長、放射能症で死去</p> <p>10.09 久保山愛吉氏葬儀（焼津体育館）</p> <p>11.20 年末危機突破総決起大会</p> <p>12.04 鷺津町長退陣要求町民大会（鷺津地区労協主催）</p> <p>12.11 配給米値上げ反対年末手当完全獲得集会（静岡）</p>

	<p>01.21 左社第10回大会、綱領制定を決定、委員長/鈴木茂三郎、書記長/野溝勝</p> <p>01.25 三島市長選挙、山田重太郎立候補、落選</p> <p>01.26 長泉町長選挙、高橋正三、落選</p> <p>03.28 左社中執委、労農党の共闘申入れ拒否</p> <p>04.19 第26回衆議院選挙（静岡）、6人が立候補、下川儀太郎・勝間田清一・長谷川保（以上左社）と久保田豊（労農党）の4人が当選</p> <p>04.24 第3回参議院選挙地方区、作道良吉（左社）次点</p> <p>05.17 左社第11回定期大会</p> <p>07.12 左社党県連合第10回定期大会（静岡・労働会館）委員長/勝間田清一、副委員長/長谷川保・下川儀太郎、書記長/中村四郎</p> <p>08.09 左社中執委、「社会主義政治勢力結集委員会」設置決定</p> <p>08.22～23 党県連合第1回農民党員会議（農民講座）</p> <p>09.02 左社中執委、「平和経済5カ年計画」を発表</p> <p>09.17 左社・総評主催、MSA反対産業防衛国民大会</p> <p>11.08 左社中執委、「党綱領草案」を決定</p> <p>11.09 両社会党、懇談会で政策問題には触れず、当面の闘争強化を申し合わせる</p> <p>12.15 左社両院議員総会で新綱領をめぐる激論</p> <p>●静岡県議会対策</p> <p>「県政の社会化」をめざして活動</p>	<p>03.14 吉田内閣不信任案可決、国会解散</p> <p>04.19 第26回衆議院選挙（左社72、右社66、改進黨76、鳩山自由35、吉田自由199、労農5、共産1、諸派1、無所属11）</p> <p>04.24 第3回参議院選挙（左社18、右社10、吉田自由46、改進黨8、緑風16、諸派1、無所属29）</p> <p>05.05 ダレス、日米相互防衛援助計画発表</p> <p>06.02 閣議で石川県内灘村試射場無期限使用決定</p> <p>06.13 内灘村民、試射開始に実力阻止の座り込み</p> <p>06.26 政府、対日MSA援助に関する日米交換公文を発表</p> <p>07.08～11 総評第4回定期大会、高野・太田の対立激化、この大会を機に海員、全織、全映演、総同盟が総評脱退</p> <p>07.27 朝鮮休戦協定調印</p> <p>08.01 軍人恩給復活</p> <p>08.05 スト規制法成立</p> <p>08.07 電気・石炭スト規制法公布・施行</p> <p>09.01 独占禁止法改正公布</p> <p>09.29 日米行政協定改定調印（米軍人・軍属の公務外犯罪の裁判権を日本側に移管）</p> <p>10.02～27 池田・ロバートソン会談、日本防衛3カ年計画決定</p> <p>12.24 奄美群島返還日米協定調印</p>
	<p>01.03 右社中執委、民主社会主義勢力結集委員会を設置</p> <p>01.17 右社第12回大会、統一促進を決議</p> <p>01.21 左社第12回大会、綱領草案一部修正で可決、委員長/鈴木茂三郎、書記長/和田博雄</p> <p>02.08 左派党県連合、県警の教育思想調査に国会調査団</p> <p>04.02 両社会党統一交渉委員会、政策協定を決定</p> <p>07.11 左社党県連合第11回定期大会（静岡・労働会館）会長/勝間田清一、副会長/長谷川保・下川儀太郎、書記長/中村四郎</p> <p>08.03～04 左社党県連合第2回農民党員会議</p> <p>08.28 中小企業講習会（減税・企業活動）</p> <p>09.26 左社県連合青年部再建大会</p> <p>09.28 中国第1回人民大会閉会式に鈴木重郎氏（日青協）招待</p> <p>10.01 中国建国5周年国慶節に党鈴木茂三郎団長をはじめ31名参加</p> <p>10.- 党労働大学が開校（学長鈴木茂三郎、顧問山川均・大内兵衛）</p> <p>11.20 両社会党6者首脳会議を開き共同政権樹立の共</p>	<p>01.15 憲法擁護国民連合結成（議長/片山哲）</p> <p>03.01 ビキニ水爆実験で第五福竜丸が被爆</p> <p>03.08 日米相互防衛援助協定（MSA）調印</p> <p>03.28 教育中立・教員政治活動禁止の教育2法案が衆議院で可決</p> <p>04.21 造船疑獄事件で法相、指揮権発動</p> <p>04.22 全日本労働組合会議（全労）結成</p> <p>04.23 青年法律家協会創立</p> <p>04.26～ ジュネーブ4大国首脳会議</p> <p>06.03 教育2法公布、改正警察法公布</p> <p>06.09 防衛2法公布</p> <p>06.18 日鋼室蘭争議始まる（12.26解決）</p> <p>06.28 周恩来・ネール会談、平和5原則声明</p> <p>07.01 防衛庁・自衛隊発足、警察庁・都道府県警察発足</p> <p>07.12～15 総評第5回定期大会、高野派と太田派が対立、事務局長は選挙となり140対107で高野実が四選</p> <p>07.15 労働省、一時帰休制度を通達</p> <p>07.21 インドシナ休戦協定調印（ジュネーブ協定）</p> <p>08.08 原水爆禁止署名運動全国協議会結成</p> <p>09.08 東南アジア集団防衛条約（SEATO）調印</p>

	12.24 全日本労働組合（全労）静岡地方会議結成
1955 (S30)	01.～ オートレース場設置で反対運動（浜松） 02.18 県春季闘争総決起大会 02.19 熱海地区労組協議会結成 02.21 御殿場地区労組協議会結成 03.10 県春闘共闘委主催生活防衛総決起大会 05.01 第26回メーデー（県下14地区18,268人参加） 05.10 北富士演習場米軍射撃開始、基地反対闘争激化 05.29 第1回静岡県母親大会 06.02 近江絹糸紡績富士宮工場争議に入る 06.21 「生活と権利と国土を守る国民大行進」県総決起大会 07.－ 教育と地方自治を守る大会（県下16カ所で開催） 08.－ 静岡県青年婦人の集い 08.10 県評第5回定期大会（県労働会館）議長/松本広（自治労・56年8月まで）、事務局長/谷川徳治（全造船・58年9月まで） 08.－ 平和キャンプ 09.09 オネストジョン反対共闘会議を結成 10.20 西遠地方の全織各組合、無期限スト（11.2収拾） 11.03 県青年婦人山の平和祭（日本平） 11.05 オネストジョン反対県民総決起大会（御殿場） 11.07 米軍、東富士でオネストジョン試射 12.03 磐田地区労働組合評議会結成大会
1956 (S31)	02.18 春季賃上げ生活防衛静岡県総決起大会 03.10 県生活防衛総決起大会（駿府公園） 04.14 原水爆実験反対漁民大会（焼津） 08.－ 日本一周平和リレー静岡県通過、県青年婦人平和キャンプ 08.－ 原水禁世界大会県準備会 09.－ 日中・日ソ県民の夕べ 09.20 県評第6回定期大会（県労働会館）議長/勝沢芳雄（国労・58年9月まで） 10.30 砂川・沖縄闘争討論集会

同声明 11.20 両社会党、共同政策大綱を発表 12.14 両社会党統一促進委員会、総選挙後の統一を申し合わせ	11.24 日本民主党結党、総裁鳩山一郎 12.10 鳩山内閣成立
01.18 両社会党、同時に大会を開き「速やかな合同」を決議 02.01 第3回県知事選挙、矢野兼三（革・無）立候補、落選 02.15 両社会党委員長会談で社会党政権樹立を呼び掛ける 02.27 第27回衆議院選挙（静岡）、5人が立候補、下川儀太郎・勝間田清一・長谷川保（以上左社）・久保田豊（労農）の4人が当選 03.02 両社会党書記長会談で、早期統一方針を決定 03.22 両社会党、綱領政策組織小委員会開く 04.23 第14回静岡県議選、左社16人擁立4人当選、右社5人擁立3人当選、推薦2人当選 05.29 左社党県連合第12回定期大会（静岡・労働会館）会長/神成昇造、副会長/中村二郎・落合忠治、書記長/相川久吉 06.30 右社、労農党問題で個人としての参加も拒否 07.11 両社会党書記長・国対委員長の四者会談で倒閣方針を決定 09.09 両社会党、統一綱領草案を決定 09.19 左社第14回大会、統一を決議 10.12 両社会党、解党大会を開く 10.13 社会党統一大会、統一綱領採択、委員長に鈴木茂三郎、書記長に浅沼稻次郎 12.－ 左社県連合第13回臨時大会 12.11 党県連合統一大会（静岡・労働会館）会長/勝間田清一、副会長/藤原道子・上条愛一、書記長/神成昇造、副書記長/鈴木誠之助 市・町・村議選挙 （熱海市・三島市・沼津市・富士宮市・清水市・静岡市・焼津市・藤枝市・掛川市・浜松市計13名、町村/宇久須・高根・清水・小山・横須賀・光明・二俣・井川・赤佐14名）	01.22 総評、春季賃上げ共闘会議結成（8単産共闘） 02.14 日本生産性本部設置、総同盟・全労参加 02.19 日本ジャーナリスト会議創立 02.27 第27回衆議院選挙（左社89、右社67、民主185、自由112、労農4、共産2、諸派2、無所属6） 04.18～24 アジア・アフリカ会議（バンドン）、平和10原則採択 05.08 立川基地拡張反対、砂川闘争始まる 06.07～09 第1回日本母親大会 06.23 全国軍事基地反対連結会議結成 07.27 共産党第6回全国協議会、徳田書記長の死亡が発表され、極左方針を自己批判 08.06 原爆被災10周年記念式典・原水爆禁止第1回世界大会 08.22 ロケット砲オネストジョンの日本到着を米軍発表 08.26～29 総評第6回定期大会、事務局長/岩井章（国労・70年8月まで）、全産別統一闘争方針を決定 09.01 安保条約改定示唆などの日米共同声明発表、海外派兵義務が問題化 09.10 日本、ガットに加盟 09.13 砂川基地拡張強制測量でデモ隊と警官隊が衝突 09.19 原水爆禁止署名運動全国協議会と原水爆禁止世界大会準備会が総会、原水爆禁止日本協議会（原水協）結成 11.14 日米原子力協定調印 11.15 自由民主党結党（保守合同成立） 12.05 米のAFLとCIO合同 12.19 原子力基本法公布
●党県連合の統一以来、支部・支部協の統一推進 ●労農党員の入党認める 02.06 日農主体性派、農民団体統一懇談会を提唱 03.20 県議会、水爆実験禁止を要望する決議 07.09 第4回参議院選挙地方区、松永忠二（社）初当選 09.13 党中執委、「日ソ国交回復のための暫定方式による交渉方針」決定 市・町・村議選挙	01.19 教育3法案（教育委員の公選廃止など）反対運動始まる 02.09 衆議院本会議で原水爆禁止決議、10日に参院でも可決 02.14～25 ソ連共産党第20回大会、スターリン批判 03.19 日中・日ソ国交回復全国大会開く 04.11 全国中立労組懇談会発足（9.8中立労連と改称） 04.15 総評主催、第1回働く婦人の中央集会

	<p>11.ー 山の平和祭</p> <p>11.29 生活と権利と国土を守る国民大行進が静岡着、歓迎大会</p> <p>12.01 越年手当獲得・生活権擁護県民総決起大会</p> <p>12.22 原水爆禁止静岡県協議会結成（労働組合・9団体、女性組織・3団体、政党・2団体、宗教団体・団体など）、その後各市町村組織が結成され、1958年7月には12カ所に及んだ</p> <p>●この年砂川闘争のキャンペーン活動に取り組む</p>
1957 (S32)	<p>02.01 静大教授20人が学校管理規則は新教育法に触れると県教委に要望書提出</p> <p>03.26 最賃制総決起大会</p> <p>04.15 浜松北基地東側にF86ジェット戦闘機が墜落、炎上</p> <p>04.17 浜松市議会、自衛隊ジェット機の市街地上空飛行禁止などの要請を決議</p> <p>04.20 クリスマス島水爆実験阻止・米英ソ3回実験禁止協定即時締結要求県大会</p> <p>05.01 第28回メーデー</p> <p>06.23 米値上げ反対県総決起大会</p> <p>06.23 県母親大会（労働会館）</p> <p>07.04 東富士入会組合、東富士演習場の自衛隊継続使用反対の要望書を防衛庁などに提出</p> <p>08.01 静岡県労働者火災共済発足</p> <p>08.10 原水爆禁止静岡県民大会（静岡市公会堂）</p> <p>08.24 県評第7回定期大会</p> <p>09.06 県評・地区労などで静岡市政民主化連盟結成準備委員会結成</p> <p>10.12 御殿場駐留の米第三海兵連隊撤収完了</p> <p>10.15 エンマタイヤー労組、全員解雇反対闘争（1958年4月6日収拾）</p> <p>10.16 日中友好協会静岡県連合会結成</p> <p>11.01 静岡労働金庫営業開始</p> <p>11.16 3地区で勤務評定反対総決起大会</p> <p>12.24 静岡県生活協同組合結成</p> <p>12.27 浜松市議会、遠州灘試射場設置反対を決議</p> <p>●この年三島に伊豆市民劇場発足、東部地方の文化活動・住民運動の拠点となる</p>
1958 (S33)	<p>01.25 遠州灘漁民、射爆場反対で大会</p> <p>02.27 アジア・アフリカ共同行動静岡県集会（静岡市公会堂）</p> <p>03.08 教育危機突破静岡県大会</p> <p>04.21 勤評反対統一行動、県下88カ所11,242人が参加</p> <p>04.26 勤務評定反対・民主教育を守る静岡県民大会</p> <p>05.01 第29回メーデー</p>

	<p>(2月・御殿場市、4月・原町、11月・二俣町、時期未記載・袋井町、賀茂村、佐久間町、湖東町)</p> <p>04.17 コミンフォルム解散</p> <p>04.21 小選挙区制反対国民大会</p> <p>05.16 憲法調査会法成立</p> <p>06.30 任命制教育委員会法公布</p> <p>07.04 沖縄問題解決国民総決起集会</p> <p>07.08 第4回参議院選挙（社会49、自由61、緑風5、共産2、諸派1、無所属9）</p> <p>07.26 エジプト政府、スエズ運河の国有化宣言</p> <p>08.25～28 総評第7回定期大会、議長/原口幸隆（全鋳・58年7月まで）、共産党との共闘禁止方針を削除</p> <p>10.12 第2次砂川闘争、強制測量開始</p> <p>10.19 日ソ国交回復に関する共同宣言調印（モスクワ）</p> <p>10.23～12.9 ハンガリー事件</p> <p>10.29 スエズ戦争勃発</p> <p>12.08 スト規制法存続決議成立</p> <p>12.18 国連総会、日本の国連加盟を可決</p> <p>12.23 石橋内閣成立</p>
	<p>01.13 党県連合第14回定期大会（静岡・労働会館）会長/勝間田清一、副会長/長谷川保・下川儀太郎、書記長/神成昇造</p> <p>01.16 労農党大会開催、社会党への復帰決定</p> <p>01.17 党第13回大会、労農党の吸収と運動方針に対する左派の青山修正案可決</p> <p>01.ー 三島市長選挙、小井正吾・落選</p> <p>02.26 党、最低賃金法案国会提出</p> <p>03.02 党中執委、「二つの中国」を認めないと決定</p> <p>04.13～14 党県連合、活動家講習会（静岡市労働会館）</p> <p>04.22 党第1次訪中使節団、毛沢東主席と会談、共同コミュニケを発表</p> <p>06.08 沼津市長選挙、井手敏彦立候補、落選</p> <p>07.26 党統制委、全購連汚職問題で和田政審会長、江田三郎らを処分</p> <p>08.07～08 党県連合夏期講座（浜松市労働会館）</p> <p>08.24～25 党県連合青婦部討論集会（小山町）</p> <p>09.19 党訪中・ソ・東欧親善使節団、周恩来と会見</p> <p>09.28 党訪米使節団出発</p> <p>10.06 党訪中婦人部代表団出発</p> <p>●党県連合に浜名湖総合対策委員会設置</p>
	<p>02.25 第1次岸内閣成立</p> <p>03.01 原水協、クリスマス島水爆実験阻止集会</p> <p>03.02 欧州経済共同体（EEC）条約調印</p> <p>06.14 国防会議、第1次防衛力整備3カ年計画を決定</p> <p>06.16 岸首相訪米、21日、日米首脳会談共同声明</p> <p>06.18 砂川基地反対闘争（第3次）、全金など労働者も大量参加（～07.09）</p> <p>06.27 日中国交回復国民会議創立総会、理事長に風見章</p> <p>07.01 東京の国連軍司令部、朝鮮に移動し、在日極東軍司令部解体</p> <p>07.16 政府、中国禁輸緩和政策を決定</p> <p>08.03～06 総評第9回定期大会、国労新潟闘争収拾などで論戦</p> <p>08.16 第3回原水爆禁止世界大会、東京宣言採択</p> <p>09.10 文部省、教員勤務評定制度の趣旨徹底の通達</p> <p>09.23 日本、国連に核実験停止決議案提出</p> <p>10.04 ソ連人工衛星スプートニク1号打上げ</p> <p>12.13 総評、「総評主婦の会」結成を声明</p> <p>12.22 日教組、勤評反対闘争で「非常事態宣言」発表</p>
	<p>01.12～13 党県連合第15回定期大会（静岡・労働会館）会長/勝間田清一、副会長/長谷川保・勝沢芳雄・久保田豊、書記長/神成昇造</p> <p>02.16 沖縄社会党結成</p> <p>02.24～26 党第14回大会</p> <p>03.23 山川均死去、77歳</p>
	<p>01.01 日本、国連安保理非常任理事国に就任</p> <p>01.20 ジャカルタで日本・インドネシア平和条約・賠償協定調印</p> <p>01.23 総評・全労・新産別・中立による最低賃金制懇談会結成</p> <p>02.08 在日米軍地上部隊引き揚げ完了</p>

	<p>06.23 静岡県松川事件懇談会結成</p> <p>07.10 地域原水協結成 (伊東、熱海、三島、沼津、吉原、富士宮、清水、静岡、焼津、島田、掛川、浜松の12カ所)</p> <p>07.25 核武装阻止・広島―東京1000km平和行進、静岡入り</p> <p>08.06 原水爆禁止を呼び掛ける自転車リレーが愛知県から静岡県入り</p> <p>08.13～ 全自運大トラック、組織破壊攻撃紛争、9月5日トラック30台による支援パレード (9月9日解決)</p> <p>08.21 県評第8回定期大会 (静岡県民会館) 議長/松本広 (自治労・62年10月まで)、事務局長/斉藤新二 (国労・61年9月まで)</p> <p>09.26 台風 22 号 (狩野川台風) 死者 710 人、行方不明 217 人</p> <p>10.06 勤評反対で県庁内座り込みの教組に警官導入</p> <p>10.14 三協機械労組、工場閉鎖・全員解雇反対闘争 (12.29組合解散)</p> <p>10.21 警職法改悪反対県民会議発足</p> <p>10.25 警職法改悪に反対し生活と権利を守り日中関係を打開する県民集会</p> <p>11.05 警職法改悪反対統一行動、県下で10万人参加</p> <p>11.15 3地区で、警職法に反対し民主主義を守る母と娘と子供の集会</p> <p>11.25 東富士演習場地域農民再建連盟、政府に演習場の返還要望を決議</p>
1959 (S34)	<p>01.17 国労・高教組不当処分反対県民総決起大会</p> <p>01.20 全通無集配局点検闘争を指導した7人逮捕 (安西事件)</p> <p>01.24 県内5地区で不当処分反対総決起集会</p> <p>02.20 民主教育を守る県民集会</p> <p>02.23 戦争と失業に反対する県民総決起大会</p> <p>03.01～02 松川無罪要求バス大行進</p> <p>03.01 ビキニ被災5周年・原水爆禁止・核武装反対日本大会 (焼津・漁協組ホール)</p> <p>04.07 安保条約改定阻止静岡県民会議結成</p> <p>04.15 安保条約改定阻止静岡県民大会、第1次統一行動 (県労働会館)</p> <p>05.01 第30回メーデー (県下21地区31,701人参加)</p> <p>05.02 西豆地区労組協議会結成</p> <p>05.25 安保改定阻止第2次統一行動、県下9地区で総決起大会</p> <p>06.17 原水禁平和行進県内入り (24日愛知県へ)</p> <p>06.25 安保改定阻止第3次統一行動、官公労・私鉄など民間労組11単産26組合が職場大会、県民大会 (県庁前)</p> <p>07.～ 新聞代値上げ反対運動 (県評提唱)</p> <p>07.25 安保改定阻止第4次統一行動、県下4地区で決起大会</p> <p>08.06 安保改定阻止第5次統一行動</p> <p>08.12 最賃法にもとづく全国初の業者間協定を静岡県で実施</p> <p>09.02 県評第9回定期大会 (静岡県民会館)</p>

<p>04.24 山田静岡市長糾弾市民大会 (静岡)</p> <p>05.22 第28回衆議院選挙 (静岡)、4人が立候補、勝沢芳雄・勝間田清一・久保田豊・長谷川保の4人が当選</p> <p>09.04 党鈴木委員長、首相に勤評撤回にの基本方針を申入れ</p> <p>10.02 党「日中関係打開国民運動実施要項」を決定</p> <p>10.05 党県連合第16回臨時大会 (静岡労働会館)</p> <p>10.26 台風22号 (狩野川台風) 党が災害特別対策</p> <p>10.31 警職法改正自・社両党立会演説会 (静岡県民会館)</p> <p>11.12 党第15回臨時大会、警職法紛争・内閣打倒国民運動を決定</p>	<p>03.20 全通、東京・大阪・横浜の中央郵便局で大規模な職場大会、支援組合と警官隊が衝突</p> <p>03.24 全日本農民組合連合会 (全日農) 結成</p> <p>04.02 最賃法獲得統一行動デー</p> <p>04.18 衆院、原水爆禁止を決議、4.21参院でも決議</p> <p>05.22 第28回衆議院選挙 (社会166、自民287、共産1、諸派1、無所属12)</p> <p>06.08 大内兵衛ら憲法問題研究会を設立</p> <p>06.20 広島―東京間に原水爆反対平和行進始まる</p> <p>07.21～24 総評第10回定期大会、議長/太田薫 (合化労連・68年月まで) 組織綱領草案発表</p> <p>08.12～20 第4回原水禁世界大会</p> <p>08.17 エリコン誘導弾陸揚反対闘争</p> <p>09.15 日教組、勤評反対で正午授業打切り統一行動 (以後3次にわたる授業打切り闘争を展開)</p> <p>10.08 政府、国会に「警察官職務執行法」改正案を抜き打ち提案</p> <p>10.13 警職法改悪反対国民会議結成 (社会党・総評中心に65団体)</p> <p>10.24 総評第11回臨時大会、警職法改悪反対闘争方針決定</p> <p>10.25 警職法反対国民大会各地で開催</p> <p>11.05 警職法改悪反対第4次統一行動、60単産450万人参加</p> <p>11.04 自民党、抜き打ち会期延長を強行議決</p>
<p>01.30 第4回県知事選挙、竹本孫一 (社) 落選</p> <p>03.04 党第2次訪中使節団出発、9日浅沼団長が北京で「米帝国主義は日中共同の敵」と演説</p> <p>04.23 第15回静岡県議選、党14人擁立、11人当選</p> <p>04.30 静岡市長選で保革連合の松永彦雄を立て山田反動市政打倒</p> <p>06.02 第5回参議院選挙地方区、神成昇造 (社) 落選</p> <p>07.08 党運動方針委、党の性格は階級的大衆政党であると確認</p> <p>07.19 西尾末広、安保改定などで党の運動方針を批判</p> <p>08.01～02 党県連合第17回定期大会 (菊川・応声教院) 会長/長谷川保、副会長/久保田豊・松永忠二、書記長/神成昇造</p> <p>09.12 党第16回大会、西尾除名問題で紛糾、休会となる</p> <p>10.16 党再開大会、西尾けん責処分を承認</p> <p>10.18 西尾末広ら33名脱党、25日、民社クラブ結成</p> <p>11.30 党脱党グループ「民主社会主義新党準備会」結成</p>	<p>01.01 キューバ革命 (バチスタ政権打倒、02.16カストロ、首相に就任)</p> <p>01.10 春闘共闘委員会、中立労連などが参加し発足</p> <p>03.28 安保条約改定阻止国民会議結成</p> <p>03.30 東京地裁、砂川事件に関して米軍駐留を違憲とする判決 (伊達判決)</p> <p>04.15 安保改定阻止第1次統一行動</p> <p>04.15 最低賃金法公布 (08.10施行)</p> <p>05.02 参院「暁の国会」で防衛2法改正案可決成立</p> <p>06.02 第5回参議院選挙 (社会38、自民71、緑風会6、共産1、諸派1、無所属10)</p> <p>08.01～07 第5回原水禁世界大会</p> <p>08.10 松川事件最高裁判決、原判決破棄</p> <p>08.13 北朝鮮帰還に関する日朝協定調印</p> <p>08.26～29 総評第12回定期大会、社会党支持決まらず</p> <p>08.29 三井鉱山、労組に4580人の整理解雇第2次案提示、10.13三鉱連反復スト突入</p> <p>11.01 国民年金制度発足</p> <p>11.02 水俣病問題で漁民新日室に乱入、警官と衝突</p> <p>11.19 総評第13回臨時大会、安保反対・炭労支援決定</p>

	<p>09.08 安保改定阻止第6次統一行動・勤務評定反対全国統一行動</p> <p>11.ー 安保改定阻止第7次統一行動・自動車パレード・講演と映画の夕べ</p> <p>11.15 静岡のうたごえ（駿府会館）</p> <p>11.27 安保改定阻止第8次統一行動、官公労が30分の時間内職場大会、県下20会場で抗議集会</p>
1960 (S35)	<p>01.09 「安保改定調印阻止・平和と権利を守る500⁺」静岡県民平和大行進」始まる</p> <p>01.15 安保改定阻止第11統一行動「静岡県民抗議大集会」（駿府公園）</p> <p>02.11 教育文化集会（熱海ヘルスセンター）</p> <p>02.22 国公・地公統一結成大会</p> <p>02.25 安保改定阻止第12次統一行動、国会請願</p> <p>03.01 被災6周年ビキニデー全国集会</p> <p>03.12～13 「安保県活動家討論集会」</p> <p>03.18 労福協結成大会</p> <p>03.19 安保改定阻止第13次統一行動、国会動員、公安条例廃止要請（静岡）</p> <p>04.07 安保改定阻止第14次統一行動（署名運動）</p> <p>04.09 県公労協結成</p> <p>04.12 沖縄祖国復帰平和大行進県内入り（新所原）</p> <p>04.15 安保改定阻止第15次統一行動第1波（各地区決起集会）</p> <p>04.26 安保改定阻止第15次統一行動第2波（19カ所で決起集会・東京動員）</p> <p>05.01 第31回メーデー（県下24地区57,901人参加）</p> <p>05.03 平和憲法を守る不戦の集い（静岡市）</p> <p>05.09～26 安保改定阻止第16次統一行動、国会動員</p> <p>05.25 三池を守る会討論集会</p> <p>05.31～06.10 安保改定阻止第17次統一行動、国会動員（31日バス23台1,300人）</p> <p>06.11～19 安保改定阻止第18次統一行動、国会動員（11日バス33台2,000人）</p> <p>06.22 安保改定阻止第19次統一行動、動労・国労・全通・全電通・公務員共闘・日通・紙パ・連合・全造船等 がスト</p> <p>07.01 静岡三池を守る会結成大会（静岡経済会館）</p> <p>07.02 安保改定阻止県民会議主催、市民大会</p> <p>07.10 引佐地区労結成</p> <p>07.18 原水爆禁止国民平和大行進、愛知から県内入り</p> <p>08.29 県評第10回定期大会（静岡県民会館）</p> <p>09.10 アラビア石油・住友化学・昭和電工・東京電力が沼津・三島に進出計画発表</p> <p>09.23 静岡県農民会議結成大会、議長/松田鉄蔵</p>
1961 (S36)	<p>01.30 映画「松川事件」上映（静岡市）、以降県下各地で4/7まで上映</p> <p>01.31 県、第6次総合開発計画を発表（工業立県）</p> <p>02.26 失業と貧乏をなくす大行進、県内入り</p> <p>03.01 被災7周年ビキニデー全国集会</p> <p>03.11 物価値上げ反対・春闘要求貫徹県民大会</p> <p>05.01 第32回メーデー</p> <p>05.01 沼津市口野・多比地区石油工業誘致反対漁民大会</p> <p>05.02 沼津市江之浦・獅子浜地区漁民同反対決議</p> <p>05.27 県公労協・各地区労が動労不当検束抗議集会</p> <p>05.30 県、沼津三島地区石油コンビナート第1次案発表</p>

	<p>11.27 安保改定阻止第8次統一行動、デモ隊、国会に入り300名負傷</p> <p>12.11 三井三池で会社側1,277人の指名解雇</p> <p>12.16 最高裁、砂川事件原判決を破棄、駐留軍合憲判決</p> <p>12.21 全通、1年8カ月にわたる団交再開闘争勝利</p>
	<p>01.23～24 党県連合第18回定期大会（伊東・山海楼） 会長/長谷川保、副会長/久保田豊・勝沢芳雄、書記長/神成昇造</p> <p>03.23 党第17回臨時大会、委員長に浅沼稻次郎、書記長に江田三郎</p> <p>04.12 熱海市長選挙、小松勇次（推薦・当選）</p> <p>04.22 党、安保闘争で非常事態宣言</p> <p>05.09 党国会議員団、衆議院安保特別委員会で黒いジェット機（U2）問題を追及</p> <p>05.24 党、アイゼンハワー米大統領に公開質問状出す</p> <p>05.24 党国会議員団、国会をボイコット一斉に全国遊説</p> <p>06.17 河上丈太郎社会党顧問、衆議院玄関で暴漢に襲われ負傷</p> <p>10.12 浅沼委員長、三党立会演説会で右翼少年に刺殺される</p> <p>10.14 浅沼委員長刺殺抗議集会</p> <p>10.15 日本社会主義青年同盟結成</p> <p>10.20 浅沼委員長社会党葬</p> <p>10.25 浅沼委員長静岡県民葬（県民会館）</p> <p>11.20 第29回衆議院選挙（静岡）、4人が立候補、勝沢芳雄・勝間田清一・久保田豊・長谷川保の4人が当選</p> <p>市・町・村議選挙 （2月・御殿場市、4月・浜北町、10月・天竜市）</p>
	<p>01.19 日米新安保条約と地位協定、ワシントンで調印</p> <p>01.24 民主社会党結成大会、委員長/西尾末広</p> <p>01.25 三井三池ロックアウト</p> <p>04.06～ 韓国各地でデモ（4.26李承晩辞任）</p> <p>04.28 沖縄祖国復帰協議会結成（会長屋良朝苗）</p> <p>05.14 安保改定阻止国民会議、非常事態宣言</p> <p>05.19 安保強行採決に抗議、デモ隊国会包囲</p> <p>05.19 安保新条約承認を、自民党、衆議院で強行採決</p> <p>06.10 ハガチー米大統領秘書来日、羽田で阻止闘争</p> <p>06.15 安保改定阻止6.15統一行動、樺美智子虐殺</p> <p>06.19 日米安保新条約、自然承認</p> <p>06.23 安保条約、日米批准書交換で発効</p> <p>07.15 岸内閣総辞職</p> <p>07.17 総評10万人動員し三池闘争で大集会</p> <p>07.19 第1次池田内閣成立</p> <p>07.20 最高裁、公安条例に合憲の判決</p> <p>07.20 石田労相、中労委に三池闘争の職権あつせんを要請</p> <p>07.22 総評主婦の会全国協議会結成</p> <p>07.31～08.03 総評第15回定期大会、社会党支持を決定</p> <p>08.02～09 第6回原水禁世界大会</p> <p>08.10 中労委、三池争議に最終あつせん案を提示</p> <p>09.02 炭労臨時大会（6日、中労委斡旋案を受諾）</p> <p>09.05 自民党、経済の高度成長と所得倍増政策発表</p> <p>10.28 三池闘争収拾、中労委最終斡旋案を労資受諾</p> <p>11.20 第29回衆議院選挙（社会145、自民296、民社17、共産3、諸派1、無所属5）</p> <p>12.20 南ベトナム民族解放戦線結成</p> <p>12.27 政府、所得倍増計画決定</p>
	<p>01.20 総評、社会党へ「構造改革論」で公開質問状</p> <p>01.21 三島市長に長谷川泰三（地区労推薦）初当選</p> <p>01.21 長泉町長選挙、高橋正三（推薦）当選</p> <p>01.29 「社会新報」に「太田氏の7つの疑問についてー構造改革の討論を深めようー（共同討議）」を掲載</p> <p>02.05 党、構造改革論にもとづく運動方針発表</p> <p>02.25～26 党県連合第19回定期大会（静岡・遺族会館） 会長/松永忠二、書記長/神成昇造</p> <p>03.06 党第20回大会、委員長に河上丈太郎、書記長に</p>
	<p>02.09 新島ミサイル基地反対闘争激化</p> <p>02.27 炭労大手14組合、石炭政策転換を要求リスト</p> <p>03.09 ILO理事会、5月迄に87号条約批准を要望</p> <p>03.15 石田労相、3.31スト回避のため職権で仲裁申請</p> <p>03.29 安保阻止国民会議、安保条約反対・平和と民主主義を守る国民会議で再出発</p> <p>04.28 沖縄祖国復帰県民大会（那覇2万人参加）</p> <p>05.14 米大統領、ベトナム派兵決定</p> <p>05.16 韓国で軍事クーデター、朴政権、政治活動を全面禁止</p>

	<p>06.03 政暴法反対闘争（県下7カ所で集会とデモ）</p> <p>06.25 第7回静岡県母親大会</p> <p>07.27～28 映画「松川事件」第2次上映</p> <p>08.15 県当局、公安条例案を発表</p> <p>08.31 県と沼津・三島市、清水・長岡町による「東部開発連絡協議会」結成</p> <p>09.01 県評第11回定期大会（静岡県民会館）議長/松本広（自治労）、事務局長/新堂千代二（国労・64年10月まで）</p> <p>09.01 東富士演習場農民再建連盟が農民決起大会で東富士演習場実力阻止を決議</p> <p>09.05 東富士演習場に決死隊150人が座り込み</p> <p>09.06 農民再建連盟と県知事が徹夜交渉、政府の基本線を了承し実力行使中止</p> <p>09.18 県公安条例廃止要求大会（県庁前）</p> <p>10.01 県公安条例反対闘争、県庁内で警官隊と衝突</p> <p>10.02 県議会、公安条例を自民党が単独採決</p> <p>10.12 政暴法反対闘争、県下3カ所で集会とデモ</p> <p>11.13 県公安条例廃止共闘会議結成、公安条例廃止要求大会</p>
1962 (S37)	<p>02.16 遠労会議、ロッキード持ち込み反対で北基地実態調査</p> <p>03.01 被災8周年ビキニデー全国集会（分裂集会）</p> <p>03.08 県公安条例廃止署名、各市町村に提出</p> <p>03.09 ロッキード反対市民大会（浜松労働会館）</p> <p>03.25 ロッキード持ち込み反対・軍事基地撤廃県民決起集会（浜松）</p> <p>04.23 県議会、公安条例廃止請求について再び警官を導入して否決</p> <p>04.29 第1回県青年労働者研究集会</p> <p>05.01 第33回メーデー（県下29地区72,530人が参加）</p> <p>07.16 原水爆禁止平和大行進、県内入り</p> <p>09.14 静岡県勤労者住宅生活協同組合創立</p> <p>10.02 県評第12回定期大会（静岡・中央公民館）議長/青木勉治（全通・67年9月まで）</p> <p>11.18 基地撤去統一行動（浜松オートレース場前）集会とデモ</p> <p>12.15 物価値上げ反対県民集会</p>

江田三郎	<p>03.17 静岡県議会に「農業基本法案」反対する意見書提出（自民否決）</p> <p>05.13 党県連合結成15周年レセプション</p> <p>06.24 沼津市長選挙、斉藤新二立候補、落選</p> <p>09.06 総評・社会党員全国連絡協議会結成総会</p> <p>09.25 党・総評・炭労が石炭政策転換組本部設置</p> <p>10.13 故浅沼委員長追悼県民集会（静岡市公会堂）</p> <p>11.07 党第35回中央委員会（8日、江田政治報告を承認、構革論争起こる）</p> <p>12.30 党第3次訪中使節団（団長鈴木茂三郎）出発 市・町・村議選挙 （4月・芝川町、6月・沼津市補選、9月長泉町、11月・金谷町）</p>	<p>06.02 安保反対会議の政暴法反対デモ（参加2万人）、連日政暴法反対国会デモ</p> <p>06.08 政暴法案、参議院本会議で継続審議</p> <p>06.12 防衛庁設置法、自衛隊法改正法、農業基本法公布</p> <p>08.02～06 総評第17回定期大会、政治闘争・経済闘争の関係議論</p> <p>08.08 松川事件、差し戻し審理で全員無罪判決</p> <p>08.13 東ドイツ、「ベルリンの壁」構築</p> <p>08.14 原水禁世界大会で総評など4団体が原水協執行部不信任・原水協立直しを声明</p> <p>10.20 日韓会談開始</p> <p>10.26 文部省、全国一斉学力テスト強行</p> <p>11.12 池田・朴会談、日韓会談の早期妥結で合意</p> <p>12.12 無戦争・無税・無失業を唱える旧軍人らのクーデター事件発覚（三無事件）</p>
	<p>01.03 党、政策活動方針を発表（自主貿易推進、自衛隊を平和国土建設隊に、経済計画法案など）</p> <p>01.13 党第3次訪中団、中国側との共同声明で「米帝国主義は日中共同の敵」を再確認</p> <p>01.14 党県連合第20回臨時大会（静岡・労働会館）</p> <p>01.20 党第21回大会、構造改革論争活発、そのため社会主義理論委員会の設置決定、委員長に河上丈太郎、書記長に江田三郎</p> <p>02.17 河上社会党委員長、新政暴法案撤回要求の談話</p> <p>02.24～25 党県連合第21回定期大会（遺族会館）会長/松永忠二、副会長/松本広・渡辺信夫、書記長/神成昇造</p> <p>07.01 第6回参議院選挙地方区、松永忠二（社）次点</p> <p>11.13 県連合第22回臨時大会（静岡・労働会館）</p> <p>11.26 党、石炭政策転換方針発表</p> <p>11.27 党第22回大会、江田ビジョン反対が決議され、江田書記長辞任。委員長に河上丈太郎、書記長に成田知己を選出 市・町・村議選挙 （1月・中伊豆町、菊川町）</p>	<p>01.11 護憲連合、憲法調査会に改憲審議中止申入れ</p> <p>02.19 総評、新政暴法反対闘争を指令</p> <p>03.08 ILO結社の自由委員会、日本が87号条約を批准しないことを遺憾とする報告書採択</p> <p>03.12 東京で日韓会談開始</p> <p>04.14 日本婦人会議結成大会（全電通会館）</p> <p>04.26 全日本総同盟組合会議（同盟会議）結成</p> <p>07.01 第6回参議院選挙（社会37、自民69、公政連（創価学会）9、民社4、共産3、同志会2、無所属3）</p> <p>07.09 米、超高空で核実験</p> <p>07.11 創価学会、政治団体公明会を結成</p> <p>07.22 ソ連、核実験再開発表</p> <p>08.01 日米安全保障委員会開催、秘密裡に「日韓間軍事協調案」を作成</p> <p>08.24～28 総評第19回定期大会、第1次組織方針案大綱決定</p> <p>08.06 原水禁大会最終日、社会党・総評代表が米ソ核実験抗議問題で総退場</p> <p>10.06 炭労、7万人整理案に抗議し24Hスト</p> <p>10.13 石炭鉱業調査団、石炭鉱業の安定策について政府に答申（7万人の整理を含む合理化推進）</p> <p>10.22 ケネディ米大統領、キューバのソ連ミサイル基地建設に海上封鎖声明</p> <p>10.25 反安保国民会議、日韓会談粉碎統一行動</p> <p>12.03 総評・社会党など「原水爆禁止と平和のための国民大会」開催、「いかなる国の核実験にも反対」を決議</p> <p>12.05 原水爆禁止連絡会に改称</p> <p>12.08 総評・炭労、非常事態宣言、炭労スト（20日解決）</p>

1963 (S38)	<p>03.01 被災9周年3.1ビキニデー全国集会（焼津）日本原水協分裂</p> <p>03.02 静岡県婦人会議結成大会（静岡市）</p> <p>05.01 第34回メーデー（県下22地区31,543人参加）</p> <p>06.05 安保条約廃棄・日韓会談反対ILO87号条約批准・国内法改悪反対抗議統一集会</p> <p>07.07 東富士基地反対県民大集会（御殿場）</p> <p>07.12 静岡県、工業整備特別地域指定を発表</p> <p>07.19～30 沖縄返還国民大行進</p> <p>08.25 全労静岡地方会議解散、静岡県労働総同盟組合会議結成</p> <p>09.26 県評第13回定期大会（静岡県民会館）</p> <p>09.28～10.03 安保反対県民会議、東富士駐留米軍の清水港使用に反対して、連日県議会に請願陳情行動を展開</p> <p>09.29 清水港米軍使用反対集会（清水）</p> <p>10.06 県勤労者協議会連合会結成大会</p> <p>10.12 県評第14回臨時大会</p> <p>12.14 東駿河湾地区へのコンビナート進出計画発表</p> <p>12.15 三島、石油コンビナート対策市民懇談会発足</p>
1964 (S39)	<p>01.25 「石油コンビナート三島市民協議会」発足</p> <p>02.01 春闘要求貫徹・県庁内管理規則反対静岡県総決起大会</p> <p>02.09 三島市民協、バス2台で四日市視察</p> <p>02.16 三島市民協四日市視察報告と講演会</p> <p>02.25 4カ月にわたる日本レーベルの組織防衛闘争収拾</p> <p>03.01 3.1ビキニデー焼津集会、墓前祭と法要に分裂</p> <p>03.05 沼津コンビナート反対市民協議会結成</p> <p>03.07 沼津市民協公害視察報告会</p> <p>03.10 「コンビナート期成同盟」結成</p> <p>03.12 2市1町住民反対協、知事・県議会に陳情</p> <p>03.15 「石油コンビナート進出反対沼津市清水町三島市連絡協議会」結成</p> <p>03.19 県庁内管理規則反対・春闘要求貫徹総決起大会</p>

<p>01.ー 第4回県知事選挙、佐藤虎次郎（推薦・次点）</p> <p>03.14～15 党県本部第23回定期大会（静岡・遺族会館） 県支部連合を県本部、会長を執行委員長に変更する規約改正を決定 委員長/松永忠二、書記長/相川久吉</p> <p>04.16 第16回静岡県議選、党20人擁立、18人当選</p> <p>07.10 党、沖縄問題特別委員会を設置</p> <p>08.02 党、原潜寄港に関する公開質問状を政府に提出</p> <p>08.05 党・総評など、原水禁運動の再建を声明</p> <p>09.19 党8大政策発表</p> <p>10.13 党県本部第24回臨時大会（静岡・労政会館）</p> <p>11.21 第30回衆議院選挙（静岡）、5人が立候補、勝沢芳雄・勝間田清一・久保田豊・長谷川保の4人が当選</p> <p>12.16 党県連合三島支部「石油コンビナート進出反対」声明</p>	<p>01.16 日韓会談粉碎・平和友好労働団体合同会議</p> <p>01.24 日韓会談粉碎国民大会開催</p> <p>01.29 日本政府、米原潜寄港に原則的同意</p> <p>02.01 防衛庁幕僚研究員の38年度統合防衛図上研究実施（後に「三矢研究」として暴露される）</p> <p>02.05 日ソ貿易協定調印</p> <p>02.06 原水爆禁止運動連絡会議、原潜寄港反対を政府に申入れ</p> <p>02.15 春闘共闘委、「ヨーロッパなみの賃金」要求</p> <p>02.20 日・韓会談粉碎で10万人の国会デモ</p> <p>02.20 日本、ガット11条国への移行を理事会に通告</p> <p>03.01 ビキニ・デー焼津全国集会で原水協再分裂</p> <p>03.11 政府、ILO87号条約批准案提出</p> <p>06.16 横須賀で米原子力潜水艦寄港反対5万人集会</p> <p>07.01 衆院本会議、失対法案強行可決</p> <p>07.06 石炭法案成立</p> <p>07.25～29 総評第25回定期大会、『新週刊』問題で紛糾</p> <p>08.05 社会党・総評など、原水禁運動の再建を声明。翌6日第3回原水禁世界大会分裂。9日の長崎大会は流会</p> <p>08.05 米英ソ、部分核実験停止協定調印</p> <p>08.18 第1次原子力潜水艦寄港阻止横須賀集会</p> <p>09.01 第2次原潜寄港阻止横須賀・佐世保大集会</p> <p>09.12 松川事件、全員無罪確定</p> <p>10.28 三菱三重工の合併調印（64年6月1日発足）</p> <p>11.09 三井・三川鉱大爆発（死者458名、重軽傷・CO中毒患者約800名）</p> <p>11.21 第30回衆議院選挙（社会144、自民283、民社23、共産5、無所属12）</p> <p>11.22 ケネディ米大統領暗殺</p> <p>12.21 教科書無償措置法公布</p> <p>12.26 最高裁、砂川事件の再上告棄却</p>
<p>01.23 党県本部、石油コンビナート対策会議（委員長松永忠二）を設置</p> <p>02.03 社青同第4回大会、改憲阻止、反合理化の方針決定</p> <p>02.11 党県本部第2回石油コンビナート対策会議</p> <p>02.20 党県本部、第3回石油コンビナート対策会議</p> <p>02.22 党第23回大会、委員長に河上丈太郎、書記長に成田知己</p> <p>02.27 党県本部、第4回石油コンビナート対策会議</p> <p>03.13 党県本部、石油コンビナート反対声明</p> <p>04.24～25 党県本部第25回定期大会（静岡・労政会館） 委員長/松永忠二、書記長/相川久吉、書記次長/</p>	<p>01.30 憲法擁護・核武装阻止・平和と軍縮のための日本大会</p> <p>03.05 池田首相、自衛隊の平和利用での国連軍参加は合憲と発表</p> <p>04.07 被爆三県の原水協、「原水爆禁止運動正常化のための訴え」を発表</p> <p>04.09 日本共産党、4.17スト反対声明</p> <p>04.10 公労協共闘要、4.17スト突入指令</p> <p>04.16 池田首相と総評太田議長・岩井事務局長会談、公労協、闘争延期指令</p> <p>04.28 沖縄デー、27度線上の海上集会</p> <p>04.28 日本、OECDに正式加盟</p>

	<p>03.27 原水爆被災三県連絡会議結成</p> <p>03.25 2市1町反対連絡協議会第1波東京陳情</p> <p>03.26 三島市民協市役所前で反対市民集会</p> <p>03.27 沼津漁協連漁民大会</p> <p>03.27 最賃制全国統一行動、県下26単組11,026人参加</p> <p>05.01 第35回メーデー（県下30カ所、53,027人）</p> <p>05.01 沼津・三島地区メーデーでコンビナート反対決議、沼工全校生徒による「鯉のぼり観測」連休中心に10日間実施</p> <p>05.23 三島長谷川市長富士石油の進出拒否</p> <p>06.05 護憲行進本県入り</p> <p>06.07 憲法擁護県民連合結成（静岡市公会堂）</p> <p>06.18 三島市議会定例議会コンビナート反対決議</p> <p>06.一 黒川調査団「公害は避けられる」と中間口頭報告</p> <p>06.30 清水町議会コンビナート反対決議を再確認</p> <p>08.01 2市1町住民協代表村松調査団、黒川調査団と対決</p> <p>08.12 沼津市民協沼津市議会に2,000名動員</p> <p>09.13 石油コンビナート進出反対沼津市民総決起大会に25,000人</p> <p>09.23 原水禁焼津集会</p> <p>10.15 県評第15回定期大会（静岡県民会館）議長/青木勉治（全通）、事務局長/笠井貢（全日通・65年9月まで）</p> <p>10.28 住友化学が清水町への進出見合わせ表明</p> <p>10.29 清水町議会、住友化学進出拒否請願採択</p> <p>11.25 原潜寄港阻止・反動県政粉砕静岡地区大会</p> <p>11.28 静岡県母親大会（静岡）</p>
1965 (S40)	<p>01.06 県「東駿河湾工業整備特別地域の基本計画案」発表、コンビナート計画を除外</p> <p>03.01 原水禁、3.1ビキニデー集会（静岡市公会堂）</p> <p>03.05 県民の生活と生命を守る大行進、03.17総決起大会（静岡）</p> <p>04.08 日韓会談反対・春闘を勝ちぬく静岡地区青年決起集会</p> <p>04.15 春闘体制確立・静岡県交通危機突破・国鉄業務の民主化静岡県大会</p> <p>05.01 第36回メーデー（県下33カ所57,654人参加）</p> <p>05.03 憲法擁護市民の集い（県民会館）</p> <p>05.16 県護憲第2回総会</p> <p>05.19 安保破棄・ベトナム侵略戦争反対・日「韓」会談粉砕静岡県集会</p> <p>06.09 ベトナム戦争反対地区決起集会（県下11カ所）</p> <p>06.29 県反戦青年委員会結成大会</p> <p>09.21 日韓条約批准阻止・ベトナム侵略反対・経済危機突破静岡県集会（県庁前）</p> <p>10.06 リトル・ジョン発射演習反対、日韓条約批准阻止県民集会（県庁前）</p> <p>10.10 県婦人会議総会・田中寿美子講演会（清水市公会堂）</p> <p>10.12 人事院勧告の完全実施・生活と平和を守る総決起大会（浜松）</p> <p>11.01 県評第16回定期大会（静鉄健保会館）</p> <p>11.09 日韓条約批准阻止・佐藤内閣打倒地区集会</p> <p>11.11～13 日韓条約批准阻止・国会解散・内閣打倒地区集会、県下9カ所で開催</p> <p>11.24 浜松北基地 F86 ジェット戦闘機離陸に失敗し山林に墜落</p>

	<p>村上倍夫</p> <p>07.04 下田町長選挙、竹河信義（無・推）落選</p> <p>06.24 党県本部、石油コンビナート対策会議</p> <p>08.24 党県本部、石油コンビナート対策会議</p> <p>08.27 清水市長選に革新統一候補で谷川徳治立候補（落選）</p> <p>08.28 党県本部、石油コンビナート対策会議・現地調査</p> <p>09.17 党「5大政策大綱」発表</p> <p>11.21 党社会主義理論委員会報告第2部「日本における社会主義への道」最終草案発表</p> <p>12.04 党第24回大会、理論委員会報告を承認、委員長・書記長共に留任</p> <p>市・町・村議選挙 （4月・浜北市、7月・下田町、8月・大浜町、10月・天竜市・天城湯ヶ島町）</p>	<p>05.15 衆議院、部分的核実験停止条約を承認（5.26批准成立）</p> <p>05.21 原水爆被災3県連絡会議全国支持委員会結成</p> <p>06.17 参院法務委、自民党が新政暴法の採決強行（20日成立）</p> <p>07.13 共産党、4.17スト反対を自己批判</p> <p>07.20～24 総評第26回定期大会、全電通が太田議長の春闘指導を批判</p> <p>08.03 被爆3県連絡会議主催、原水爆禁止広島・長崎大会</p> <p>08.04 米、北ベトナム爆撃を開始</p> <p>08.10 ベトナム戦争反対集会（社・共・総評）</p> <p>08.27 政府、米原子力潜水艦の寄港を承認</p> <p>09.27 米原潜寄港反対東日本集会（横須賀）、西日本集会（佐世保）</p> <p>10.10～ 東京オリンピック</p> <p>10.16 中国、初の原爆実験に成功</p> <p>11.07 原潜寄港阻止横須賀集会</p> <p>11.09 第1次佐藤内閣成立</p> <p>11.12 米原潜シードラゴン号佐世保に入港</p> <p>11.13 米原潜の佐世保入港で現地の反対デモ激化</p> <p>11.17 公明党結成大会（委員長/原島宏治）</p> <p>11.19 第1回護憲国民大会（神奈川県・横浜市）</p> <p>11.21 沖縄返還要求国民大会</p> <p>12.02 第7回原水禁代表者会議、「原水爆禁止日本国民会議」結成を決定</p>
	<p>01.16 三島市長に長谷川泰三（地区労推薦）再選</p> <p>01.31 党県本部第26回定期大会（静岡・教育会館）委員長/勝沢芳雄、副委員長/鈴木誠之助・渡辺芳男、書記長/湯山利、書記次長/村上倍夫</p> <p>02.09 党、「春闘方針」と「職場の党建設」指令</p> <p>03.04 党「三矢研究特別委」設置</p> <p>03.13 社会党政権の政策を訴える国民議会（静岡市）</p> <p>04.21 党、衆院大蔵委員会で「吹原産業融資問題」追求、4.23吹原弘宣社長逮捕</p> <p>05.06 党第25回臨時大会、委員長に佐々木更三、副委員長に河野密、書記長に成田知巳</p> <p>07.04 第7回参議院選挙地方区、松永忠二（社）当選</p> <p>07.11 沼津市長選挙、田上博（無・推）落選</p> <p>07.21 党「ベトナム侵略反対、日韓条約批准阻止、経済危機打開」推進本部設置</p> <p>08.01 党、「当面する経済危機打開の基本方針」まとめる</p> <p>08.20 清水市長選挙に佐藤虎次郎（地区労推）当選</p> <p>09.26 掛川市長選挙、中山幸吉（無・推）当選</p>	<p>01.10 ILO調査団ドライバー委員長ら来日</p> <p>02.01 原水爆禁止日本国民会議結成</p> <p>02.01 原潜阻止抗議集会、社共が統一して開催</p> <p>02.03 原潜寄港に抗議する西日本大集会</p> <p>02.07 米軍、北ベトナムのドンホイ爆撃（北爆開始）</p> <p>02.10 社会党岡田代議士、三矢作戦計画を暴露迫及</p> <p>02.14 朝日訴訟を勝ち抜く大行進、岡山出発</p> <p>02.20 日韓基本条約仮調印</p> <p>04.14 日韓・ベトナム・三矢中央集会</p> <p>05.17 参院本会議でILO条約案件成立</p> <p>06.22 日韓基本条約調印</p> <p>06.22 日韓条約反対で総評・全学連など抗議集会</p> <p>07.04 第7回参議院選挙（社会36、自民70、公明11、民社4、共産3、無所属1）</p> <p>07.14 韓国国会、日韓条約批准案を与党単独で一括可決</p> <p>07.31～08.04 総評第28回定期大会、社会党支持強化とベトナム反戦等の方針決定</p> <p>08.一 原水爆禁止・被爆者救援・核武装阻止・軍備全廃</p>

1966 (S41)	<p>02.07 生活を守る県民会議結成（静岡市）</p> <p>02.26～28 物価メーデー（県下10地区で開催）</p> <p>03.01 被災12周年3.1ビキニ全国集会</p> <p>03.29 春闘第2次統一行動、県下5カ所で地区集会（最賃制確立要求）</p> <p>05.01 第37回メーデー（県下37カ所）</p> <p>05.23 青年連鎖集会「反戦映画の集い」</p> <p>05.29 ベトナム侵略戦争反対・東富士ミサイル基地化反対・平和憲法を守る集会（御殿場・桜公園）</p> <p>05.31 ボリショイ・バレエ公演（静岡・駿府会館）</p> <p>06.01 米原潜寄港阻止横須賀行動（横須賀）</p> <p>06.10 ILO関係国内法改正阻止決起集会、県下3地区で開催</p> <p>06.12～24 ベトナム反戦・非核武装宣言・被爆救援国民大行進（神奈川から引継ぎ愛知に引継ぐ）</p> <p>07.03 第1回県評「主婦の会」総会および内職大会</p> <p>09.29 県評第17回定期大会（静岡県民会館）議長/青木勉治（全通）、事務局長/杉沢三男（国労）</p> <p>10.11 朝日訴訟行進県内入り</p> <p>10.21 10.21統一スト、高教組・県職・浜松・掛川市職参加</p> <p>11.23 第12回母親大会</p> <p>11.26 物価メーデー（28日まで県内14カ所で開催）</p> <p>12.23 県および県教委、10.21スト参加者の処分発表</p> <p>●この年、清水市で日軽金電解工場反対闘争起こる（1967年撤回勝ち取る）</p>

<p>10.24 久保田豊逝去、31日県本部葬</p> <p>11.02 党結党20周年記念</p> <p>11.07 党県連合「社会党結党20周年レセプション」（静岡・日興会館）、記念講演会・テレビコワ夫妻（駿府会館）</p> <p>11.30 社会・公明両党、小選挙区反対で共闘確認</p> <p>市・町・村議選挙 （1月・三島市、4月・芝川町、7月・三ヶ日町、9月・本川根町、11月・金谷町）</p>	<p>を訴える広島・長崎大会（被爆三県連主催）</p> <p>08.19 佐藤首相、戦後首相として初めて沖縄訪問</p> <p>10.04 部落解放同盟第20回全国大会、同和対策審議会答申具体化と国民運動方針を決定</p> <p>10.12 日韓条約批准阻止で10万人デモ</p> <p>11.02～04 第2回護憲国民大会（長野県・長野市）</p> <p>11.06 衆院日韓特別委、強行採決</p> <p>11.19 閣議、戦後初の赤字国債発行決定</p> <p>12.01 物価値上げ反対中央集会</p> <p>12.11 参議院本会議、自民・民社両党で日韓条約採決</p>
<p>01.04 党、政権獲得時の諸政策「明日への期待」発表</p> <p>01.19 党第27回定期大会、委員長に佐々木更三、書記長に成田知巳</p> <p>02.09 党、朝鮮民主主義人民共和国との国交促進など当面の外交方針決定</p> <p>03.14 党、沖縄防衛問題で13項目の資料提出、統一見解発表</p> <p>03.20～21 党県本部第27回定期大会（静岡・産業会館）委員長/勝沢芳雄、副委員長/鈴木誠之助・渡辺芳男、書記長/湯山利、書記次長/村上倍夫、全連安西事件無罪判決要求決議</p> <p>03.24 党、中国代表団入国許可を代理申請</p> <p>05.02 党外交防衛委員会、社会党の長期的な安全保障政策発表</p> <p>06.07 党外交委員会、安保構想案を発表</p> <p>06.17 党の安全保障政策は「非武装中立と平和共存を目指して」と題する第一次試案まとめる</p> <p>08.18～20 党県本部地方学校（夏期講座）</p> <p>09.09 党組織綱領委員会、「組織綱領第1次草案」発表</p> <p>09.27 党、参院で共和製糖への不正融資問題追及</p> <p>10.12 社会・公明両党書記長会談、政府追及4連合結成を申合わせ</p> <p>10.24 静岡地方議員団会議結成・自治研集会開催</p> <p>11.06 党、徳島で国民議会</p> <p>11.16～18 党県本部党学校（東・146、中・240、西・52名参加）</p> <p>12.04 党県本部第28回臨時大会（静岡・中央公民館）</p> <p>12.06 党第28回定期大会、委員長に佐々木更三、書記長に成田知巳</p> <p>市・町・村議選挙 （1月・菊川町・中伊豆町、2月・伊東市</p>	<p>02.01 中国「文化大革命」始まる</p> <p>02.18 鉄鋼労連、IMF・JCに正式加盟</p> <p>02.27 第1回物価メーデー</p> <p>03.11 インドネシアでクーデター、スカルノ失脚・共産党非合法化</p> <p>03.26 総評、労働運動の長期路線を発表</p> <p>03.26 総評・全林野、林政民主化共闘会議結成</p> <p>04.05 防衛庁、第3次防原案まとめる</p> <p>05.13 米機、135波の最大の北爆</p> <p>05.30 米原潜スヌーク号横須賀に入港</p> <p>05.30 原潜寄港阻止横須賀大集会、学生と警官38人負傷</p> <p>06.13 公務員制度審議会、ILO棚上げ部分の取り扱いで答申案を職種総会で議決</p> <p>06.14 ILO87号条約発効</p> <p>06.29 米軍、ハノイ・ハイフォン爆撃</p> <p>07.01 総評主催、ハノイ・ハイフォン爆撃抗議緊急中央集会</p> <p>07.02 仏、南太平洋ムルロア環礁で核実験開始</p> <p>07.31～08.01 総評第31回定期大会、議長/堀井利勝（私鉄総連・70年8月まで）、ベトナム反戦スト実施方針決定</p> <p>08.18 北京で「文化大革命勝利祝賀」紅衛兵100万人集会</p> <p>08.26 政府、石炭産業の長期的安定対策を決定</p> <p>09.05 原潜、横須賀・佐世保同時入港で反対デモ激化</p> <p>09.07 米原潜寄港阻止横須賀行動（横須賀）</p> <p>09.20 総評、ベトナム反戦で世界主要労組に提唱</p> <p>10.21 ベトナム侵略戦争反対統一スト</p> <p>10.26 最高裁、東京中郵判決</p> <p>11.― 第3回護憲大会（京都府・京都市）</p> <p>11.27 物価メーデー</p> <p>11.29 国連総会本会議、中国加盟否決</p> <p>12.17 総評加盟の29単産が民間単産会議を結成</p> <p>12.20 東京地裁、結婚退職制は違憲と判決</p>

1967 (S42)	<p>02.07 全通安西事件、最高裁で勝利判決勝ち取る</p> <p>03.01 原水禁被災13周年3.1ビキニデー全国集会（県民会館）</p> <p>05.01 第38回メーデー</p> <p>05.10 春闘勝利・自衛隊適格者名簿反対決起集会</p> <p>05.29 憲法20周年記念大行進県内入り</p> <p>07.05 産経新聞が「浜岡に原発（中部電力浜岡原子力発電所）」報道</p> <p>07.10 県評第18回臨時大会</p> <p>07.31 社会党・県評が浜岡原発問題で協議</p> <p>08.11 「浜岡原発設置反対漁民大会」（相良町公会堂）</p> <p>08.17 「浜岡原発反対共闘会議」（県評・社会党・小笠地区労・同勤労協で構成）</p> <p>08.26 原発講演会・榛南漁協原発反対協議会、講師・安野聡愈名古屋大学教授</p> <p>09.10 原発を考える講演会（浜岡）</p> <p>09.21 県評第19回定期大会（静岡県民会館）議長/青木薪次（国労・74年9月まで）、事務局長/安間俊三（自治労・73年10月まで）</p> <p>09.24 原発を考える講演会（浜岡町文化センター）講師・服部学立教大学教授</p> <p>09.28 浜岡町議会全員協議会、中電の原子力発電建設申し入れを受諾</p> <p>10.02 県評、反動県政反対・物価値上げ阻止・生活安定の県議会請願統一行動実施</p> <p>10.03 浜岡原発設置反対共闘会議結成（市民有志・漁協・浜岡原発反対静岡県共闘会議など）</p> <p>10.20 ベトナム反戦総決起集会（三島・大仁・伊東・掛川）</p> <p>10.21 10.21国際反戦デー統一行動、静岡・浜松など14地区で集会</p> <p>10.29 農民活動家会議（伊豆長岡）</p> <p>11.10 浜岡原発設置反対共闘会議中電に浜岡原発建設計画撤回を申し入れ</p> <p>11.- 富士地区労、公害研究会を開き富士川火力建設阻止で住民運動展開を決める</p>
1968 (S43)	<p>01.31～05.12 浜岡原発設置反対共闘会議が毎日曜日佐倉地区に戸別訪問</p> <p>01.～ 映画「ドレイ工場」上映</p>

<p>01.29 第5回県知事選、遠藤虎松（県評推せん）落選、竹山裕太郎（自民）当選</p> <p>01.29 第31回衆議院選挙（静岡）、5人が立候補、勝沢芳雄・勝間田清一・渡辺芳男・斉藤正男の4人が当選</p> <p>04.15 第17回静岡県議選、党24人擁立、14人当選</p> <p>06.07 党、東京都特別区の区長を公選制にする地方自治法改正案を国会に提出</p> <p>06.10 党、国会周辺デモに関する首相の異議申立てに抗議声明</p> <p>06.18 党県本部第29回定期大会（静岡・遺族会館）委員長/松永忠二、副委員長/鈴木誠之助・青木勉治、書記長/渡辺彦太郎、書記次長/酒井英司</p> <p>08.03 党県本部原発調査団（県議7人・三重・大阪）</p> <p>08.05 健保法の処理をめぐり佐々木委員長、成田書記長が辞意表明</p> <p>08.19 党第29回臨時大会、委員長に勝間田清一、書記長に山本幸一</p> <p>08.19 党県本部、浜岡原発現地調査</p> <p>09.01 党県本部、浜岡町原発反対オルグ開始</p> <p>09.04 党県本部、清水日軽金公害対策打合わせ会議</p> <p>09.11 社会・民社・公明の3党、小選挙区比例代表制反対で国会共闘確認</p> <p>09.23 勝間田委員長、大阪で「沖縄返還運動を1970年の安保条約廃棄闘争の中心にすえて取り組む」と表明</p> <p>09.24 党県本部、原発問題演説会（浜岡町文化センター）</p> <p>10.03 党静岡県議団、代表質問で浜岡原発問題で県知事追及</p> <p>10.25 党、日中国交回復・ベトナム反戦・沖縄返還を三位一体で推進する基本方針を決定</p> <p>11.08 「社会党をよくする会」結成（静岡）</p> <p>11.09 党県本部、浜岡町原発設置反対現地闘争事務所設置</p> <p>11.15 党県本部事務所・現在地にプレハブで移転</p> <p>市・町・村議選挙</p> <p>（静岡市、浜松市、清水市、熱海市、沼津市、三島市、富士市、掛川市、島田市、磐田市35人、修善寺町、函南町、伊豆長岡町、戸田村、小山町、庵原町、吉田町、岡部町、蒲原町、川根町、引佐町、福田町、竜洋町、森町、新居町、浜名町、舞阪町55人）</p>	<p>01.01 全通宝樹委員長、労働戦線統一を提言</p> <p>01.29 第31回衆議院選挙（社会140、自民277、民社30、公明25、共産5、無所属9）</p> <p>02.11 初の「建国記念日」、総評反対声明</p> <p>02.27～28 総評第33回臨時大会、戦線統一問題で太田・宝樹が激論、春闘方針等決定</p> <p>03.13 政府、国防会議で第3次防衛計画を決定</p> <p>03.31 国鉄当局、5万人合理化案提示</p> <p>03.16 「明るい革新新政をつくる会」発足</p> <p>03.28 沖縄祖国復帰協第12回定期総会で安保廃棄・核基地撤去など基本目標を決定</p> <p>04.13 沖縄祖国復帰大行進、那覇市を出発</p> <p>04.15 東京都知事に美濃部亮吉当選、革新都政誕生</p> <p>05.03 憲法20周年で護憲連合など記念集会開く</p> <p>05.24 最高裁、「朝日訴訟」に上告人の死亡によって終了・継承は認めないと判決</p> <p>05.27 原水禁沖縄協議会総会で「いかなる国の核実験にも反対」を確認、人民党・同党系労組など6団体を除籍</p> <p>06.06 アラブ連合軍、スエズ運河を閉鎖、米と断交</p> <p>07.01 欧州共同体（EC）発足</p> <p>07.14 三池のCO患者家族、坑底に座り込む</p> <p>07.19～22 総評第34回定期大会、議長/堀井利勝（私鉄総連）、事務局長/岩井章（国労）、戦線統一の基本姿勢打ち出す（原口4原則）</p> <p>08.03 公害対策基本法公布（企業の無過失責任は欠落）</p> <p>08.23 総評、10.21反戦統一行動を全世界に呼びかけ</p> <p>09.01 四日市で、初の大気汚染公害訴訟</p> <p>09.05 政府、原子力船の母港建設予定地にむつ市を決定</p> <p>09.15 成田空港粉砕総決起集会（三里塚）</p> <p>10.10 成田新空港の用地立入り強制測量開始、反対派座り込み</p> <p>11.01 琉球立法院、沖縄施政権返還要求の決議可決</p> <p>11.02 那覇で沖縄即時無条件返還要求県民大会</p> <p>11.- 第4回護憲大会（宮城県・仙台市）</p> <p>11.12 佐藤首相訪米（16日に日米共同コミュニケ発表）</p> <p>12.11 佐藤首相、核兵器を持たず、つくらず、持ち込ませずの「非核三原則」を言及</p> <p>12.19 東京地裁、パートの一方的解雇できぬと判決</p>
01.01 党、「日本における社会主義の道と1970年闘争（中期路線）」中間報告案を発表	01.09 アラブ石油輸出国機構（OAPEC）結成
	01.17～21 佐世保で原子力空母寄港反対抗議集会とデ

	<p>02.21 金嬉老事件起こる</p> <p>02.25 物価メーデー</p> <p>03.01 原水禁、ビキニ被災14周年全国大会（静岡市）</p> <p>03.08 県評、10.21処分反対抗議で県議会に動員</p> <p>03.20 榛原郡南部漁協組、浜岡原発反対の海上デモ、海上デモに呼応し、浜岡町浅根海岸で浜岡原発設置反対共闘会議が反対集会</p> <p>03.22 東京電力、富士川火力発電建設を富士市に正式申し入れ</p> <p>03.26 春闘第2次行動、3単産がスト、清水・富士地区で集会</p> <p>04.05 東富士演習場地域農民再建連盟代表、防衛庁長官に実力阻止通告</p> <p>04.07 東富士演習場全面返還要求県民大集会</p> <p>04.～ 沖縄返還要求国民大行進</p> <p>04.23 富士市公害対策市民協議会発足</p> <p>04.26 静岡県農民会議結成</p> <p>05.01 第39回メーデー（県下34カ所、46,854人参加）</p> <p>06.19～20 東富士演習場使用反対抗議集会（今沢海岸）</p> <p>07.20 浜岡原子力発電所設置反対住民大会(浜岡町佐倉)、漁民約600人参加</p> <p>09.10 富士市公害対策市民協議会は富士市に公開質問状提出</p> <p>10.11 県評第20回定期大会（静岡・婦人会館）</p> <p>10.17 原発講演会（浜岡原発反対会議）</p> <p>10.20 ミサイル持込み反対・沖縄返還要求統一大会（今沢・静浜・浜松）</p> <p>10.21 10.21反戦県総決起集会</p> <p>11.－ 富士市議会火力特別委員会、20項目の条件を東電に提出</p> <p>11.17 物価メーデー</p> <p>11.24 第14回県母親大会（富士市第2小）</p> <p>12.16 ベトナム歌舞団静岡公演</p>
1969 (S44)	<p>01.26 浜松基地ナイキJ・高射隊新設反対の1.26県民大集会</p> <p>02.15 富士市議会に富士川火力反対の住民押しかけ流会</p> <p>02.23 物価メーデー</p> <p>02.23 東電と富士市が20項目の条件で合意、調印</p> <p>02.23 浜岡原発設置反対総決起大会（浜岡中学西側広場）</p> <p>02.28～3.1 3.1ビキニ全国大会（焼津市民センター）</p> <p>03.06 富士公害国会調査団（富士・富士川・富士宮）安井吉典、角屋堅次郎、渡辺芳雄、松永忠二</p> <p>03.25～26 東電火力進出阻止の統一行動展開</p> <p>03.28 富士市議会本会議に、住民2000人が議場前広場に結集</p> <p>03.29 富士市議会、機動隊を導入し深夜の議会開催、負傷者多数</p>

	<p>01.24 党第30回定期大会</p> <p>02.28 檜崎弥之助代議士、防衛庁のABU計画を暴露</p> <p>03.09 社会・共産・公明の3党、沖縄のB52撤去共同決議案を国会へ上程</p> <p>05.27 党県本部第30回定期大会（静岡・労政会館）委員長/松永忠二、副委員長/鈴木誠之助・青木勉治、書記長/渡辺彦太郎、書記次長/酒井英司</p> <p>05.29 党、都市再建綱領草案を発表</p> <p>06.01 党、反安保実行委結成を決定</p> <p>06.11 山本書記長、宮本共産党書記長との会談で、原水禁運動の統一の話し合い申入れを受けとる。14日これに対し原水禁国民会議で「いかなる国の核実験にも反対するとの基本的対立が解決しない限り組織統一はありえない」との鈴木総務部長見解を発表</p> <p>06.24 党が民社・共産・公明に対し佐藤内閣打倒の野党連合を呼びかけ</p> <p>07.07 第8回参議院選挙地方区、青木勉治（社）次点</p> <p>07.10 党、参議院選後初の中執委で敗因の究明と再建策の全党的推進を決定</p> <p>07.31 勝間田委員長、参議院選敗北責任で辞意表明</p> <p>08.14 山本書記長辞任</p> <p>09.09 党県本部第31回臨時大会（静岡・労政会館）</p> <p>09.11 党第31回定期大会、党改革案と当面の活動方針を一部修正のうえ可決したが、新執行部選出で紛糾し、14日午前7時休会</p> <p>09.25 党県本部、富士公害対策委員会</p> <p>10.04 党第31回大会再開、委員長に成田知巳、書記長に江田三郎</p> <p>10.15 党、国民運動活動家討論集会</p> <p>11.13 党安保廃棄闘争委発足</p> <p>11.20 党、「1970年安保廃棄をめざす闘争方針」発表</p> <p>12.04 党県本部、浜岡原発問題で漁協幹部と懇談会</p> <p>12.14 党県本部、浜岡原発の国会議員団現地調査</p> <p>12.20 党・総評中心に、反安保全国実行委結成</p>	<p>モ</p> <p>01.19 原子力空母エンタープライズ、佐世保へ入港</p> <p>02.01 小笠原諸島、東京都に帰属決定、琉球政府主席の公選決定</p> <p>02.06 沖縄の即時無条件返還要求那覇集会</p> <p>02.24 米軍の北爆、ハノイの港湾施設にまで拡大</p> <p>03.10 成田空港反対集会、全学連デモ警官隊と衝突</p> <p>03.16 米軍、南ベトナムのソンミで大虐殺</p> <p>04.01 王子野戦病院開設反対闘争激しく展開</p> <p>04.05 小笠原諸島返還協定調印</p> <p>04.28 第16回沖縄返還デー、沖縄では祖国復帰要求県民総決起大会、10数万人が参加</p> <p>06.02 九大工学部構内に米軍板付基地のRF4ファントム戦闘偵察機が墜落、翌3日教官・学生が抗議集会</p> <p>07.07 第8回参議院選挙（社会28、自民69、公明13、民社7、共産4、無所属5）</p> <p>07.23 沖縄原水協、米海軍の阻止を突破、那覇軍港に入り、放射能調査用海水泥採取を強行</p> <p>08.12～16 総評第36回定期大会、秋季闘争・沖縄3大選挙闘争方針決定</p> <p>08.20 ソ連・東欧軍がチェコに侵入</p> <p>09.06 中国全土に「革命委」成立、新権力機構が完成</p> <p>09.26 厚生省、水俣病がチッソ水俣工場の有機水銀中毒であると断定</p> <p>10.21 反戦統一行動デー、総評系17単産でスト</p> <p>10.31 ジョンソン米大統領、北爆の全面停止を発表</p> <p>11.－ 第5回護憲大会（福井県・福井市）</p> <p>11.10 沖縄主席選挙で革新統一候補・屋良朝苗当選</p> <p>11.17 物価メーデー</p> <p>11.19 沖縄・嘉手納村民大会、基地撤去を決議</p> <p>11.19 沖縄基地でB52戦略爆撃機爆発</p> <p>12.07 沖縄で「いのちを守る県民共闘会議」結成</p> <p>12.14 B52撤去要求決起大会のデモ嘉手納基地包囲</p> <p>12.19 原潜寄港阻止西日本集会（佐世保）</p>
	<p>01.24 党第32回臨時大会</p> <p>01.25 三島市長に長谷川泰三（地区労推薦）3選</p> <p>02.15～16 党県本部第32回定期大会（静岡・労政会館）委員長/松永忠二、副委員長/鈴木誠之助・植松義忠、書記長/鈴木重郎</p> <p>03.06 党県本部、富士公害国会調査団（富士市）</p> <p>04.12 党県本部、富士公害反対闘争不当弾圧国会調査団（県警本部・富士川・富士署）中谷哲也衆議院議員（弁護士）県内国会議員、県会議員</p> <p>04.22 レーニン生誕100年記念・映画と講演（静岡・県民</p>	<p>01.15 米原潜横須賀寄港に1万人が抗議デモ</p> <p>01.18 東大封鎖解除に機動隊が出動、19日安田講堂も落城</p> <p>01.23 反安保実行委、第1次全国統一行動</p> <p>02.04 「B52撤去要求沖縄県民大会」</p> <p>02.05 イタリアで年金ゼネスト</p> <p>02.23 物価メーデー</p> <p>03.13 総評第37回臨時大会、春闘・沖縄返還・70年安保闘争方針を決定</p> <p>03.30 3.30三里塚空港事業認定粉砕全国闘争集会（三里</p>

	<p>04.14～22 沖縄即時無条件返還国民大行進（県内）</p> <p>04.23 富士川火力建設阻止富士地区市民連合会大会</p> <p>04.26 静岡県解放戦士の碑除幕式（静岡市沓谷市宮愛宕霊園）</p> <p>04.28 4.28沖縄デー、下田・三島・静岡で集会</p> <p>05.01 第40回メーデー（県下32カ所、52,849人参加）</p> <p>05.18 アスパック粉砕現地総決起大会（伊東・観光会館）</p> <p>06.01 アスパック粉砕青年集会（伊東）</p> <p>06.08 「アスパック粉砕全国集会」伊東観光会館・安針公園に1万人参加</p> <p>07.20 公害追放・富士川火力阻止のための「命と暮らしをまもる市民集会（吉原公園）</p> <p>09.16 総評、富士市を皮切りに「命と健康を守る1,000カ所討論集会」開始</p> <p>09.19 全国基地連鎖集会（御殿場）</p> <p>10.01 県評第21回定期大会静岡・婦人会館）</p> <p>10.～ 浜岡原発設置反対共闘会議が講演会（相良・浜岡）</p> <p>10.20 東富士・今沢基地完全撤去決起集会（今沢海岸）</p> <p>10.20 農民座り込みで演習を阻止（東富士演習場）</p> <p>10.21 10.21反戦デー、16地区で集会／9組合がスト</p> <p>10.23 県労働安全センター発足</p> <p>10.26 自衛隊・米海兵隊実践演習反対東富士県民集会（御殿場）</p> <p>11.13 首相訪米抗議行動、58組合スト</p> <p>12.05～ 各漁協、浜岡原発受け入れを条件付同意、漁業補償交渉へ</p> <p>12.14 浜岡原発反対決起集会、自動車パレード（浜岡町池新田～相良漁港）</p>
1970 (S45)	<p>03.01 被災16周年3.1ビキニ全国集会</p> <p>03.28 安保廃棄・沖縄返還静岡県集会（静岡）</p> <p>03.29 由比などの漁船90隻が「駿河湾を汚水から守れと」海上デモ</p> <p>04.28 日米共同声明糾弾・沖縄全面返還・春藤勝利・安保終了通告要求・4.28静岡県統一集会（駿府公園・他県内20カ所）</p> <p>05.01 第41回メーデー</p> <p>05.23 反安保全国統一行動</p> <p>06.14 「日米安保条約廃棄・沖縄全面返還要求静岡県民集会」反安保静岡県実行委員会主催</p> <p>06.19 県公害連、原子炉安全審査会と交渉（第1回）</p> <p>06.20 富士地区23の製紙会社が汚水自家浄化装置設置を非公式に決定</p> <p>06.23 安保条約廃棄通告要求県民宣言大会（駿府公園）他県内21カ所</p> <p>07.11 田子の浦港のヘドロを中央埠頭に移す作業開始</p> <p>07.22 田子の浦港、製紙カスのヘドロで埋まり市民協など18団体が告発</p> <p>08.09 田子の浦でヘドロ追放の住民抗議集会（4,000人と漁船400隻参加）、製紙4社と知事の告発決定</p> <p>08.11 富士市民協、製紙会社と知事を告発</p> <p>08.24 公害追放静岡県民会議設置</p> <p>09.21 中電が清水市議会に新清水火力発電計画を提出</p> <p>09.30 県評第22回定期大会（静岡・婦人会館）</p>

	<p>会館ホール）</p> <p>04.23 党本部に約70名の右翼が乱入</p> <p>05.21 党、「住民の公害白書」発表</p> <p>06.24 党、総評に対し反戦青年委の「育成強化」の回答書を手渡す</p> <p>07.01 社・共両党、大学管理法反対で一日共闘</p> <p>07.28 清水市長に佐藤虎次郎（地区労推薦）再選</p> <p>08.21 党・総評・沖縄平和経済開発会議を結成</p> <p>08.29 党第45回中央委員会、沖縄返還闘争方針・中執補充人事を決定</p> <p>09.24 党・総評が反戦青年委を改組し「反安保・反戦青年中央協議会」を設置で意見一致</p> <p>10.16 党、ソ連共産党代表団との会談</p> <p>11.15 党、70年闘争勝利党員総決起大会開く</p> <p>12.03 党、「人間優先・憲法完全実施の70年代計画」を発表</p> <p>12.27 第32回衆議院選挙、5人が立候補、勝沢芳雄・勝間田清一・斉藤正男の3人が当選</p> <p>市・町・村議選挙 （4月・金谷町補選・中伊豆町長・芝川町、7月・三ヶ日町、9月・本川根、11月・金谷町）</p>	<p>塚・芝山連合空港反対同盟主催）</p> <p>04.13 全国サラリーマン同盟結成</p> <p>04.28 沖縄デー、全国各地で集会とデモ</p> <p>06.03 愛知外相、ロジャース米国務長官との第1回会談で安保条約の自動継続を提案</p> <p>06.08 アスパック粉砕で総決起大会（反安保実行委主催）</p> <p>06.10 南ベトナム臨時革命政権樹立を発表</p> <p>06.15 反戦・反安保・沖縄闘争勝利統一集会（6.15実行委主催・29都道府県で開催）</p> <p>07.20～24 総評第38回定期大会、70年安保ゼネスト闘争方針・全国反戦青年委員会の凍結決定</p> <p>08.02 健保修正案、参議院で可決・成立</p> <p>08.22 札幌地裁、長沼ナイキ基地訴訟で反対派農民の申立て認める判決10.8米で大規模な反戦デモ、シカゴで流血の衝突</p> <p>09.10 総評、反戦青年委に対して最終態度を決定</p> <p>10.21 国際反戦デー</p> <p>11.一 第6回護憲大会（東京都）</p> <p>11.13 総評、中連が首相訪米抗議の統一スト</p> <p>11.16 佐藤訪米抗議で反安保実行委・沖縄連が共催で佐藤訪米抗議集会・デモ</p> <p>11.22 佐藤・ニクソン会談で沖縄の72年返還決まる</p> <p>11.26 全国各地で日米共同声明反対の集会とデモ</p> <p>12.27 第32回衆議院選挙（社会90、自民288、公明47、民社31、共産14、無所属16）</p>
	<p>01.14 大井川町長選挙、渋谷昇次（無）当選</p> <p>01.19 富士市長選挙、渡辺彦太郎（革・無）初当選</p> <p>01.28 党再建大会準備小委、再建論議のための中間報告を策定</p> <p>02.04 党、69年秋の党員再登録運動によって党員数が30,056人に減少と発表</p> <p>02.05 党第47回拡大中央委員会（党再建論議）</p> <p>02.21 福島義一翁追悼式</p> <p>03.23 江田書記長、党大会準備小委に「新江田ビジョン」をまとめた小論文を提出</p> <p>04.12 党県本部第33回臨時大会（静岡・労済会館）</p> <p>04.20 党第33回定期大会、反戦派の抗議行動で混乱し機動隊が出動（22日、運動方針を可決、執行部全員留任を決めて閉会）</p> <p>04.22 レーニン生誕100年記念集会（静岡）</p> <p>05.07 鈴木茂三郎元委員長死去、77歳</p> <p>05.16～17 党県本部第34回定期大会（三保・松前記念館）委員長/松永忠二、副委員長/植松義忠、書記長/渡辺芳男</p>	<p>01.24 総評の民間単産会議、「総評に対する提言」を発表</p> <p>02.13 那覇で安保破棄・基地撤去・沖縄の即時無条件全面返還国民大会</p> <p>03.06 総評第39回臨時大会、15大要求・春闘方針決定、70年安保はスト中軸の統一行動確認</p> <p>03.20 国鉄、生産性向上の「マル生運動」開始</p> <p>03.31 八幡・富士両製鉄が合併し新日本製鉄が誕生</p> <p>03.31 赤軍派学生による日航機よど号のハイ・ジャック事件発生</p> <p>05.10 家内労働法公布（即日施行）</p> <p>05.29 総評拡大評議員会、労働戦線統一に関する“4原則”を最終確認</p> <p>06.13 反安保闘争、全国各地で本格化</p> <p>06.22 日米安保条約自動継続で政府声明</p> <p>06.23 安保条約自動延長に反対し180万人が統一行動、中央集会に22万人、深夜まで集会・デモ</p> <p>07.11 「家永教科書裁判」勝訴</p> <p>08.03 被爆25周年原水禁世界大会、広島での国際会議で</p>

	<p>10.17 航空自衛隊訓練再開反対・基地撤去県民集会（浜松）</p> <p>10.21 国際反戦デー、県下13カ所で集会とデモ</p> <p>10.26 東富士の米軍海兵隊・自衛隊治安弾圧訓練抗議集会（今沢海岸）</p> <p>11.07 国・原子炉安全専門審査会が、浜岡1号炉の設置認可</p> <p>11.07 住民、ヘドロ問題で知事・大手製紙会社を告訴</p> <p>11.07 公害対策静岡県連絡会議結成</p> <p>11.15 「青い空と海を返せ」公害追放東海4県大集会（田子の浦港）</p> <p>11.18 富士市長がヘドロの富士川河川敷投棄の県の計画に同意表明</p> <p>11.20 公害追放、中電新清水火力発電建設反対抗議集会（清水市役所前）</p> <p>11.27 県公害連、原子炉安全審査会と交渉（第2回）</p> <p>11.28 静岡県母親大会（三島市）</p> <p>11.29 全国統一行動による「公害メーデー」静岡・清水など5カ所</p> <p>12.28 公害対策静岡県連絡会議、県と富士市にヘドロの富士川河川敷投棄計画中止を申し入れ</p> <p>12.29 岳南排水路の終末処理場の建設費（80億円）国・市・企業の4者が20億円づつ負担し73年3月までに建設を決定</p>
1971 (S46)	<p>01.02 浜岡第1回気流調査風船上げ（以降第2回2.14、第3回3.7、第4回3.26、第5回5.23実施）</p> <p>01.22 米軍戦車突入事件（1.15県平和委抗議団に米軍戦車突入）に県平和委が抗議集会・デモ</p> <p>03.01 被災17周年3.1ビキニ全国集会</p> <p>03.10 県公害連、原子炉安全審査会と交渉（第3回）</p> <p>03.10 沼津・石油基地化の千本浜埋立て反対住民集会</p> <p>03.10 日軽金のフッ素公害で農民、工場へデモ</p> <p>04.04 沼津・千本浜石油基地化に反対住民が期成同盟結成</p> <p>04.13 富士公害抗議集会</p> <p>05.01 第42回メーデー</p> <p>05.24 浜岡原発1号炉起工式</p> <p>05.19 県公害連、『公害黒書』発行</p> <p>05.28 駿河湾公害反対・竹山県政責任追及県民集会</p> <p>06.22 安保廃棄・沖縄返還協定粉砕静岡県青年婦人総決起集会</p> <p>08.08 東駿河湾住民大会</p> <p>08.14 沖縄婦人を囲む会（県評会館）</p> <p>08.29 東駿河湾の空と海を守る沿岸住民大会（田子の浦港）</p> <p>09.17 岳南排水路終末処理場建設反対決起集会（富士市役所前）</p> <p>09.30 日中友好協会静岡県本部団結大会（混迷組織の正常化）</p> <p>10.01 日中国交回復即時実現県民集会</p> <p>10.17 航空自衛隊訓練再開反対・浜松基地撤去県民集会</p> <p>10.21 沖縄協定反対統一行動</p> <p>10.29 県評第23回定期大会（静岡・県評会館）</p> <p>11.21 県スモンの会発足</p> <p>11.24 県、小笠原国際貨物空港建設構想発表</p> <p>11.27 中教審反対県民集会（県教育会館）</p> <p>12.01 沖縄強行採決抗議県民集会</p>

	<p>06.25 成田委員長名で「日中国交回復運動の呼びかけ」のアピールを発表</p> <p>07.09 第4次訪ソ・東欧使節団出発</p> <p>08.一 党県本部議員団、富士公害実態調査（富士）</p> <p>09.02 党、第二次訪朝団帰国、共同声明を発表</p> <p>09.14 成田委員長を団長に北ベトナム訪問</p> <p>09.28～29 全国公害問題活動者会議（富士市・日吉会館）</p> <p>11.01 党第5次訪中団、北京で共同声明調印</p> <p>11.08 党県本部第35回臨時大会</p> <p>11.14 党県本部、富士市公害現地調査（富士市）</p> <p>11.15 党県本部、公害問題討論集会（富士市教育会館）</p> <p>11.30 党第34回定期大会、委員長に成田知己、書記長に石橋政嗣</p> <p>12.19 明るい民主県政をつくる会結成大会（静岡市・町・村議選挙 （1月・中伊豆町・菊川町、4月・城東町・藤枝市）</p>	<p>開幕</p> <p>08.09～13 総評第40回定期大会、議長/市川誠（全駐労・76年7月まで）、事務局長/大木正吾（全電通・76年7月まで）、国民要求など生活闘争重視の方針決定</p> <p>09.07 厚生省、整腸剤キノホルム（スモン原因）の販売・使用停止を通達</p> <p>10.25 チリで上下両院合同会議、圧倒的多数で次期大統領にアジェンデを選出</p> <p>11.一 第7回護憲大会（大分県・大分市）</p> <p>11.16 沖縄国政参加選挙の開票の結果衆議院は革新3、自民1、参議院でも革新首位、自民2位</p> <p>11.29 反公害メーデー、全国150会場82万人参加</p> <p>12.11 日経連、生産性基準原理に基づき、ガイドポストを設ける、賃金抑制のため経済団体が団結して労働攻勢と闘うことを決定</p> <p>12.18 公害関係14法案成立</p> <p>12.20 沖縄コザ市で住民、米軍基地に乱入 ●この年公害反対の市民運動、全国で激化</p>
	<p>01.27 第7回県知事選挙、松本広（革・無）を推薦、次点、竹山再選</p> <p>02.16 党・総評を中心とする「日中国交回復国民会議」の結成総会</p> <p>03.19 党、「医療基本法要綱草案」を発表</p> <p>04.11 第18回静岡県議選、党県本部17人擁立、10人当選</p> <p>06.01 社公民3党書記長、参院選で大分・島根・栃木3県で3党協力を確認</p> <p>06.17 党、沖縄返還協定調印抗議で各地で抗議集会</p> <p>06.27 第9回参議院選挙地方区、松永忠二（社）当選</p> <p>07.23 社会党の現代革新研究会準備会（江田派）が「革新研」として発足</p> <p>07.31～8.1 党県本部第36定期大会（湯ヶ島町・ホテル狩野川）委員長/松永忠二、副委員長/植松義忠、書記長/千頭和鍊太郎</p> <p>09.15 党・総評が「健康で安心できる老後をつくる大集会」開く</p> <p>10.02 社・公・民3党、国対委員長会談で沖縄国会での共闘を確認</p> <p>11.22 党、米軍岩国基地に核兵器やBC（化学）兵器があるとの資料を公表し、政府に質問状提出</p> <p>12.22 社・共一日共闘最後の統一中央集会（参加15,000人）</p>	<p>02.10 沖縄全軍労がスト、ピケ隊と米軍乱闘</p> <p>02.24 中曽根防衛庁長官、衆議院で沖縄返還後6カ月以内に陸海空自衛隊3,200名、1年後6,000名を配備すると表明</p> <p>03.06 成田空港の第1次強制代執行</p> <p>04.11 統一地方選挙、大阪で黒田革新府政誕生</p> <p>04.28 沖縄デー、全国で80万人が参加、集会とデモ</p> <p>06.17 沖縄協定に反対し、全国296カ所で集会とデモ</p> <p>06.17 沖縄返還協定、ワシントン・東京で同時調印</p> <p>06.27 第9回参議院選挙（社会39、自民63、公明10、民社6、共産6、無所属6）</p> <p>07.31 総評第42回定期大会、全米懇活動を批判し統一4原則を再確認、社会党一党支持確認</p> <p>08.06 広島原爆26周年記念式典、初めて首相が参列</p> <p>08.15 ニクソン米大統領、ドル防衛措置発表</p> <p>09.15 第1回全国高齢者大集会「健康で安心できる老後をつくる大集会」開催</p> <p>10.21 国際反戦デー、全国650カ所、約150万人参加</p> <p>10.25 国連総会、中国の国連加盟を決定</p> <p>11.10 沖縄復帰協、沖縄協定批准反対でゼネスト</p> <p>11.一 第8回護憲大会（愛知県・名古屋市）</p> <p>11.17 衆院沖縄返還協定特別委で自民党が協定承認案件を強行採決</p> <p>11.24 沖縄返還協定承認案件、社・共欠席のまま衆院本会議で可決</p> <p>12.30 衆議院、自民党のみで沖縄関連4法案を可決成立</p>

	12.05 静岡県母親大会（清水市）田中寿美子講演会 12.18 公害対策静岡県連絡会議第1回総会
1972 (S47)	01.13 浜岡原発2号炉増設反対を知事に申し入れ 01.24 静清バイパス建設反対の住民、実力で静岡市議会の開会阻止 03.11 田子の浦港へドロ処理で県と県漁協が覚書調印 04.20 建保改悪反対・春闘勝利・県中部総決起集会 05.01 第43回メーデー 05.03 憲法記念日静岡県民集会（教育会館） 06.12 県公害課、駿河湾のPCB総合点検結果発表、汚染度は普通海域の100倍 06.23 軍国主義復活反対・安保廃棄県中央集会 07.16 反安保・自衛隊の沖縄配備反対・浜松基地撤去集会（浜松市役所前） 08.27 駿河湾を返せ公害追放静岡県民大集会(吉原駅南口広場) 09.03～ 乳幼児医療費無料化条例推進会議（県東・中・西ブロック集会） 09.06～7 今沢海岸で米軍演習阻止抗議集会 09.25 乳幼児医療費無料化条例署名告示 10.17 県評第24回定期大会（静岡・県評会館） 10.21 国際反戦デー、県下12カ所で集会とデモ 11.06 乳幼児医療費無料化条例署名集約 11.12 反安保・自衛隊の沖縄配備反対・浜松基地撤去東海ブロック集会（浜松市役所前） 12.15 全造船金指分会に第2組合、組織闘争はじまる（1975年1月22日勝利解決） 12.23 乳幼児医療費無料化条例本請求知事提出
1973 (S48)	01.16 乳幼児医療費無料化条例案、臨時県議会で全野党は賛成したが、自民党の多数議席で否決 01.17～18 今沢海岸米軍上陸阻止行動 02.10 スト権奪還統一スト 02.26 県評第24回臨時大会 03.02 スト権奪還県中央集会 03.11 年金・物価値上げ反対県内統一行動 03.11 働く婦人の県集会(富士市)

01.23 党県本部第37回臨時大会（静岡・つつじ会館） 01.26 党第35回定期大会、「社・公・民連合政権構想」を否定 02.20 党県本部第38回臨時大会（労政会館） 03.01 社・公両党など5団体、日中国交回復実現国民集会を共催 03.02 富士宮市長選、植松義忠（革・無）初当選 03.05 党県本部第39回臨時大会（静岡・労済会館） 03.15 社・共・総評など12団体、沖縄返還協定批准書交換抗議集会開催 04.22～23 党県本部第40回定期大会（浜松・松本旅館） 委員長/松永忠二、副委員長/植松義忠、書記長/千頭和鎌太郎 05.15 社・共・総評などの基地つき沖縄返還抗議の統一行動に全国で202,000人参加 05.21 橋本富貴良追悼の集い、(5.12逝去) 05.22 党、来日中の東独社会主義統一党代表団と共同声明に調印 05.30 党国会議員団、浜松など県内6郵便局調査 06.25 下田市長選挙、佐野利道（無・推）落選 07.14 党第3次訪朝団 07.22 勝間田・藤原国会在職25年記念祝賀会(静岡・日興会館) 10.09 党、「4次防は社会主義国に敵対するもの」と党声明 10.24 党・革新団体、米戦闘車両搬出強行再開に反対して相模補給廠前・横浜ノースピア前などで機動隊と衝突 12.10 第33回衆議院選挙（静岡）、4人立候補、勝沢芳雄、勝間田清一、斉藤正男の3人が当選 12.10 参議院選挙地方区補選、青木薪次（社）次点 12.27 全造船金指分会への会社の支配介入に、県本部調査団派遣 市・町・村議選挙 (10月・天竜市)	01.03 日米繊維協定締結 02.21 ニクソン米大統領、北京を訪問し毛沢東主席と会見後周恩来首相と会談（27日、上海で米中共同コミュニケ発表） 03.12 物価メーデー 03.27 衆院予算委で沖縄返還協定に関する外務省の極秘電文暴露される 04.03 外務省の機密漏えい事件で蓮見事務官と西山記者逮捕 04.07 野党議員・文化人ら「国民の知る権利を守る会」結成 05.12 沖縄の米民政府が解散 05.15 日米沖縄返還協定発効、沖縄県本土復帰 05.21 総評、労働戦線統一について統一7原則発表 06.11 田中角栄「日本列島改造論」発表 06.26 沖縄県知事選、屋良朝苗現知事が圧勝、県会議員選挙は革新が半数を獲得 07.07 第1次田中内閣成立 08.04 横浜の村雨橋でベトナム向け米戦車搬送阻止のピケ隊座り込み、2昼夜対峙し追い返す 08.07～11 総評第44回定期大会、労働戦線統一で4原則と全的統一を強調した7方針を確認 08.26 反安保実行委、米軍・自衛隊基地の総点検監視運動を盛り上げる活動方針決定 09.29 日中国交樹立、共同声明発表 11.一 第9回護憲大会（岩手県・盛岡市） 11.09 総評・中立労連、初の年金メーデー65,000人参加 11.15 国民総背番号制に反対しプライバシーを守る中央会議結成 11.21 首都圏革新市長会、米軍基地居住自衛隊員の住民登録受付拒否を提唱 11.21 東京高裁、メーデー事件に騒乱罪成立せずの判決 12.10 第33回衆議院選挙（社会118、自民271、共産38、公明29、民社19、諸派2、無所属14）	
01.20 三島市長に長谷川泰三（革・無・地区労推薦）4選 01.24 党、ベトナム和平問題で党声明 01.28 党、国民連合政権樹立の統一綱領草案を発表 02.04 党県本部第41回臨時大会（静岡・労済会館） 02.04 御殿場市長選挙に島津宗祐（無・推）立候補、落選	01.20 日中国交回復国民会議、日中友好国民運動連絡会議に改組 01.27 ベトナム和平協定正式調印 03.11 年金・物価メーデー 03.13 高崎線上尾駅で乗客約1万人が順法闘争に怒り暴徒化し高崎線が約10時間不通となる（上尾事件）	

	<p>03.22 金指造船に運輸省・社会党・共産党合同調査団派遣 04.17 農業危機突破農民大集会（全国初の農民春闘・静岡市公会堂） 05.01 第44回メーデー 05.07 県下スモン重症患者9人、国と製薬会社に賠償請求訴訟起こす 05.15 沖縄集会（県中央集会をはじめ県下11カ所） 05.16 小選挙区制粉碎県民共闘会議結成 05.20 小選挙区制反対・自衛隊沖縄配備反対・安保廃棄・基地撤去5・20浜松集会 06.01 国鉄運賃・健保・反動諸法案阻止・小選挙区制完全粉碎・田中内閣打倒静岡中央集会（静岡） 06.22 安保粉碎・第4次防粉碎・基地撤去・静岡県青年婦人決起集会（静岡市） 07.03 県下にはじめて光化学スモッグ発生 07.08 袋井市議会、小笠山空港建設反対を決議 09.16 大杉栄虐殺50周年墓前祭（静岡市） 09.18 国民の交通を確立する全国大行動県中央集会 10.ー ミッドウエー艦載機訓練基地反対決起集会（大井川町） 10.09 清水市の東亜燃料が通産省に設備増設を申請 10.19 中電浜岡原発2号炉受け入れを地元安全対策協が大筋合意 10.21 国際反戦デー全国統一行動静岡集会（社・共・公・県評・平和委） 10.22 県評第25回定期大会（静岡・県評会館）議長/青木薪次（国労）、事務局長/堀田昭夫（全通・76年9月まで） 12.18 「公害に反対する清水市民の会」結成 12.22 東亜燃料、清水市に増設計画提出</p>
1974 (S49)	<p>01.13 静岡県母親大会 03.01 被災20周年3.1ビキニ全国集会 03.03 物価メーデー 03.05 インフレから福祉を守る県民集会（国民春闘共闘会議） 03.31 インフレ阻止・春闘勝利1万人集会（静岡・浜松・沼津・藤枝） 04.23 中電浜岡原発2号炉起工式 05.01 第45回メーデー 05.12 東燃増設に反対する住民の会結成／東燃増設に反対するぜんそく患者の会結成 05.14 県が田子の浦へドロ処理終結宣言 05.15～ 東燃増設で自主講座開催（清水4回） 05.19 県高齢者退職者の会結成総会 05.30 地裁、へドロ住民訴訟で原告の全面敗訴判決 06.01 浜松市憲法を守る会（代表・溝口正）、市に対し神社への補助金は憲法違反と住民監査請求 07.07 七夕集中豪雨、県下全域に大被害、死者44人 08.01 韓国の暗黒裁判に抗議する県民の集い（県評会館） 08.13 中電浜岡原発、1号機の試運転開始 08.18 東燃増設に反対する住民の会がデモ（清水） 09.06～08 狭山裁判映画「黒い雨」上映（静岡・島田・浜松） 09.06 東燃増設反対市民協議会結成（清水） 09.25 県評第26回定期大会（静岡県民会館）議長/勝又武一（県教組・77年9月まで）、事務局長/堀田</p>

<p>02.06 党第36回定期大会、成田委員長が共産党の態度を厳しく批判 03.29 社・共・公・民4野党、生活関係物資の買い占め・売り惜しみ規制措置法案を共同提案 04.07～8 党県本部第42回定期大会（静岡・県評会館ホール）委員長/斉藤正男、副委員長/湯山利・早川定一、書記長/千頭和錬太郎 05.12 社・共・公・革新団体による小選挙区制粉碎中央連絡会議を結成 05.15 社・共・公・革新団体、小選挙区制粉碎の5.15全国統一行動実施（18日第2次全国統一行動、19日緊急中央集会） 06.24 沼津市長に、井手敏彦（革・無）初当選 07.06 党、「原水禁運動に対する共産党の転換について」の党声明を発表 07.27 清水市長選に今村高五郎（無・推）立候補、落選 10.20 党、「国民統一綱領」発表 12.04 党、アラブ連盟加盟7カ国訪問に出発 12.08 野党4党、政府の48年度補正予算案の共同組替案を提出 12.23 富士市長に渡辺彦太郎（革・無）再選 市・町・村議選挙 （4月・大東町・芝川町、9月・本川根町、11月・金谷町）</p>	<p>03.20 水俣病訴訟、熊本地裁で患者・遺族側が全面的勝訴 03.29 米軍のベトナム撤兵完了 04.17 初の年金統一スト 07.23 フランス、南太平洋のムルロア環礁で核実験強行 07.30～8.3 総評第46回定期大会、春闘分担金未納で代議員資格停止問題で鉄鋼労連が出席ボイコット 08.08 韓国新民党前議員金大中がKCIAの手で東京より誘拐されソウルに軟禁される 09.11 チリ軍事反革命、アジェンデ大統領を倒し全土制圧 09.18 衆議院本会議、国鉄運賃値上げ・健保・年金3法案可決成立 09.21 日本とベトナム民主共和国、国交樹立 09.23 参議院本会議、防衛2法可決成立 09.25 参議院本会議、筑波大学法案可決成立 09.30 反安保実行委、米空母ミッドウエーの横須賀母港化反対横須賀大集会開催（10.5、7日にも開催） 10.06 第4次中東戦争勃発 10.17 アラブ石油輸出国機構（OAPEC）閣僚会議、石油産出量5%削減を決定 11.～ 石油ショックで各地にトイレトペーパー・洗剤・砂糖の品不足・買いだめ騒ぎ起こる 11.ー 第10回護憲大会（鹿児島県・鹿児島市）</p>
<p>01.06 佐々木訪中友好使節団、北京に出発 01.25 社共公・革新団体、インフレ阻止国民共闘を結成 01.23 県本部第43回臨時大会（県評会館） 01.29 党第37回定期大会、74年度運動方針と全野党国民連合政権構想を決定 02.06 党は原水禁運動で共産党と会談 02.12 党、東燃（清水）増設問題特別委員会 03.06 党県本部中電・静岡ガス値上げ反対申し入れ 03.30～31 党県本部第44回定期大会（熱海・海浜ホテル）委員長/斉藤正男、副委員長/湯山利・早川定一、書記長/千頭和錬太郎 04.14 藤枝市長選挙、八木金平（無・推）23,519票落選 06.06 成田委員長・竹入公明党委員長、参院選選挙協力に関する政策協定に調印 06.16 社会党を勝たせる6.16一万人集会（静岡） 07.07 第10回参議院選挙地方区、青木薪次当選 県知事選は永原稔（社推薦）落選、山本敬三郎（自民）初当選、県議補選実施 07.24 伊東市長選挙、浜野栄一（無・推）落選 08.08 社・共・公3党委員長、作家小田実の呼びかけで</p>	<p>01.14 日米両国政府、沖縄米軍基地約30カ所を日本に返還することで合意 02.18 労働4団体主催、2.18インフレ粉碎・生活危機突破大集会 02.25～27 衆院予算委で物価集中審議、企業代表らを呼び便乗値上げ・ヤミ価格協定など追及 04.11 警察庁、日教組/高教組の1日ストに対し関係8百数十カ所を強制捜査 04.25 社・共・公・革新団体、日教組弾圧反対・教育反動化粉碎国民共闘会議を結成 05.13 総評、日教組への警察庁の強制捜査は団結権の侵害としてILOへ提訴を決定 07.07 第10回参議院選挙（社会28、自民62、公明14、共産13、民社5、諸派1、無所属7） 08.08 ニクソン米大統領辞任 08.19～24 総評第48回定期大会、国民春闘路線継承・発展、反インフレ共闘強化方針決定、特定政党の支持をめぐる議論 08.24 むつ湾漁民、原子力船出航に抗議し漁船デモ 08.30 三菱重工ビルで爆弾爆発（死者8人）</p>

	昭夫（全通） 10.01 消費者米価、国鉄運賃、郵政料金値上げ反対、インフレ阻止静岡県集会 10.03～ 市民協が東燃増設反対のピラ新聞折り込み（計6回） 10.21 国際反戦デー、県内14カ所で集会とデモ 10.21～26 国民の足を守る全国大行動（県内自治体申し入れ） 10.25 米第3海兵隊203 ^名 ・155 ^名 原子砲持ち込み抗議集会（今沢海岸） 11.10 東燃増設反対デモ（清水市役所前）11.17も開催 11.14 清水地区労、東燃増設反対を決定 11.17 田中内閣打倒・核持ち込み糾弾・フォード来日反対・インフレ阻止・秋季年末闘争勝利静岡県中央集会（他県内6カ所） 11.24 東燃増設反対デモ（清水市役所前）3,000人参加
1975 (S50)	01.14 東燃増設反対デモ（清水市役所前） 01.14 公害映画「水俣」上映会（清水） 01.19 東燃増設反対デモ（清水市役所前） 01.24 東燃増設反対で清水市長交渉（清水市役所） 03.01 県原水禁運動統一促進準備会「広島・長崎被爆30周年、ビキニ水爆被災21周年記念、3.1被爆国民の広場」開く 03.05 清水市に東燃増設反対請願署名提出（計60,762筆）東燃増設反対デモ 03.08 国際婦人デー・婦人の労働権を確立する婦人集会 03.20 清水市議会が10対37で東燃増設反対署名を否決 05.01 第46回メーデー 06.27 県林政共闘、白ろう病実態調査を県に申入れ 07.一 県内の雇用保険受給者22,951人で史上最高を記録 07.11 原水禁統一促進シンポジウム 08.07 進むインフレに「県民の暮らしを守る条例」制定を求め生活闘争委員会を設置 09.03～ 4日間市民公害講座（清水） 09.24 第1回県高齢者大集会 09.26 県評第28回定期大会（清水・市民会館） 09.27 富士地区労など南富士ゴルフ場建設実力阻止 10.05 「県民の暮らしを守る条例」の直接請求書を県知事に提出 10.07 地方財政確立県民会議結成 10.21 日米軍事分担一・米・日・韓核軍事同盟強化反対・安保破棄・スト権奪還・国民生活危機打開・三木内閣打倒10・21全国統一行動静岡県中央集会 11.11 「県民の暮らしを守る条例」の受任者による署名活動開始 11.23 「86春闘勝利静岡県民大集会」（反インフレ、雇用保障、スト権回復、公務員賃金確定、年末一時金獲得） 11.26～ 県内でも公労協のスト権スト（連続8日間） 12.一 主任制度反対全国統一行動 12.一 「県民の暮らしを守る条例」の直接請求に必要な署名は集約したが、11月県議会で県知事提案の「静岡県消費者保護条例」が可決成立したため、運動の中止を決定
1976	03.01 反核ビキニ・デー全国集会（焼津市）

	会合し、韓国問題での共闘行動に合意 09.04 党第4次訪朝代表団出発 09.21 党第5次訪ソ・東欧代表団出発 10.02 県知事にみかん対策申し入れ 10.06 社・共・公・革新団体、横須賀で空母ミッドウェーの母港化反対集会開く 10.20 党県本部第45回臨時大会（静岡・県教育会館） 12.15 党県本部第46回臨時大会（静岡・労済会館） 12.20 党第38回定期大会、成田委員長・石橋書記長を再選し、副委員長に赤松勇・江田三郎・飛鳥田一雄を選出 市・町・村議選挙 （1月・菊川町、4月・藤枝市、5月・東伊豆町補選、7月・伊東市補選、8月・磐田市補選、9月・春野町、10月・裾野市・河津町）	09.01 原子力船「むつ」、放射能漏れ事故、帰港不能となり海上漂流 09.10 米海軍の退役少将ラロック氏が米議会で、日本にも核積載艦が入港していると証言 10.10 米攻撃空母ミッドウェー、米海軍横須賀軍港へ入港 11.一 第11回護憲大会（大阪府・大阪市） 11.26 田中首相、金脈問題で辞任を表明 12.09 三木内閣成立
	02.08 大井川町長選挙、渋谷昇次（公認）6778票当選 04.03 党、原水禁運動統一のための話し合いを共産党へ申し入れ 04.13 第19回静岡県議選、党県連合21人擁立、11人当選 05.05 党第6次訪中団、北京着 05.29 党、三木内閣の革新自治体潰しを批判し、地方財政危機突破緊急方針を決定 06.14～15 党県本部第47回定期大会（浜松・アーバンホテル）委員長/青木薪次、副委員長/湯山利・杉浦正男、書記長/酒井邦夫 07.06 党朝鮮問題対策特別委の訪朝団出発 07.17 党中執委、「インドの核実験に抗議する決議」基調を決定 07.24 伊東市長選挙、浜野英一（無・推）落選 08.08 党県本部、給食のリジン使用中止で県教委に申し入れ 09.03 党訪朝団出発 09.08 県議団、リジン問題で県教育長に申し入れ 10.05 反インフレ・生活防衛県民大集会・「県民の暮らしを守る条例」学習会 11.02 党結党30周年記念祝賀会 12.07 党、スト権ストに関して共産党の「原則的支持」を批判 12.21 党、スト権ストで「目標達成はできなかったが、労働者階級の統一と団結は大きく前進した」との中間総括 市・町・村議選挙 （1月・龍山村、2月・焼津市）	01.16 IMF、金の公定価格廃止の共同声明 03.07 日本経済、戦後初のマイナス成長記録 04.03 関経連・関経協、全金大阪地本に「15%以下」の指示撤回約束、謝罪文出す 04.10 男女別賃金体系は違法と秋田地裁判決 04.13 第8回統一地方自治体選挙が行われ、革新側では、美濃部（東京）、長州（神奈川県）、などが勝利 04.14 総評、日経連の15%のガイドライン撤回を要求 04.30 ベトナム解放軍サイゴンに無血入城 05.07 政府、南ベトナム臨時革命政府を承認 06.09 地方公務員の争議行為一律禁止は違憲と、和歌山地裁が判決 06.26 原水禁系の社会党、原水協系の共産党、平和委員会等7団体代表、原水禁統一にむけて「原水禁問題懇談会」開く 07.21～24 総評第50回定期大会、春闘の通年化を提唱、社会党支持は変えず 07.27 「日本共産党と創価学会との合意についての協定」を発表 08.05 「原水禁世界大会被爆30周年広島大会」約1万人参加 08.07 東京都公害局、日本化学工業で六価クロム患者の発生を確認 10.一 倒産、全国で1,279件（史上最高） 10.31～11.02 憲法改悪反対・平和と民主主義を守る第12回国民大会（水戸市） 11.26 公労協スト権奪還スト突入（12.4中止）
	01.12 党訪中団、北京に到着	01.08 中国の周恩来死去

(S51)	<p>03.17 制度要求を中心にストライキに突入、県内8単産3,700人／ロッキード疑獄徹底糾明・自民党の金権腐敗政治糾弾3.17県民大集会（静岡市）</p> <p>03.17 浜岡原発営業運転開始</p> <p>03.ー 中小企業事業分野確保法即時実現業者大会</p> <p>03.30 スト権奪還要求大会（駿府公園）</p> <p>04.20 主任制度反対全国統一行動</p> <p>04.26 ロッキード汚職糾弾「統一集会」</p> <p>05.01 第47回メーデー</p> <p>05.03 静岡憲法を守る会（憲法擁護静岡地区連合）結成総会と憲法記念日講演会（静岡市）</p> <p>07.04 遠州灘火力を考える住民の集い</p> <p>07.23 電気料金反対民間公聴会・中部電力本社交渉（名古屋）</p> <p>07.29 電気料金値上げ反対行動民間公聴会（県評会館）</p> <p>09.19 ロッキード疑獄追及静岡県中央集会（やすらぎの塔前）</p> <p>09.29～30 県評第30回定期大会（静岡県民会館）事務局長/藤田克己（全電通・76年3月～78年9月まで）</p> <p>11.01 学校給食用パンのリジン添加中止を勝ちとる</p>
1977 (S52)	<p>03.01 核の被害を告発し、援護法の実現を期する3.1ピクニデー全国集会（焼津市）</p> <p>02.06 第1回母と女性教師の会静岡県集会（藤枝）</p> <p>03.10 1兆円減税闘争で全県一斉税務署交渉</p> <p>03.24 朝鮮の自主的平和統一を支持する県連帯委員会結成</p> <p>05.01 第48回メーデー</p> <p>05.03 静岡憲法を守る会第2回総会・憲法施行30周年講演会（静岡）</p> <p>05.03 教育をよくする県民大集会（清水）、同5.7（浜松）、同5.17（富士）</p> <p>07.29～08.09 被爆32周年原水禁世界大会</p> <p>09.05 原水禁統一促進会議（以降会議・学習会を継続して開催）</p> <p>09.29～30 県評第31回定期大会（静岡県民会館）議長/安間俊三（自治労・82年9月まで）</p> <p>10.04 浜岡原発3号炉で公開パネルディスカッション開催を県に申入れ</p> <p>10.15 富士・愛鷹・箱根山麓の乱開発に反対する統一行動</p>

<p>02.09 党ロッキード問題調査団、ワシントン着</p> <p>02.20 党・総評など、「ロッキード汚職追及闘争本部」設置</p> <p>02.29 党県本部第48回臨時大会（静岡・静米会館）</p> <p>03.06 党第39回定期大会</p> <p>04.18 党県本部第49回定期大会（静岡・ブラザーミシン会館）委員長/青木薪次、副委員長/湯山利・杉浦正男、書記長/酒井邦夫</p> <p>06.23 党第7次訪中団出発</p> <p>06.28 川奈ホテル不当労働行為で社会党調査団</p> <p>07.12 社・共・公・民4野党、ロッキード事件解明で政府自民党に申入れ</p> <p>07.16 党県本部、伊豆災害調査と被害者激励</p> <p>08.ー 党県本部、労組党員協・農村党員協総会</p> <p>08.20 成田委員長、「2段階政権構想」発表</p> <p>08.31 社・共両党書記（局）長会談、選挙統一戦線の具体的協議開始で合意</p> <p>11.28 社・公両党委員長、総選挙での「協力合意書」「政策協定」に調印</p> <p>12.05 第34回衆議院選挙（静岡）、5名が立候補、渡辺芳男・斉藤正男の2名が当選</p> <p>12.14 社・共両党書記（局）長・書記局次長会談、統一戦線協議継続で合意</p> <p>12.26 党県本部第50回臨時大会（静岡・ブラザーミシン会館）</p>	<p>01.13 文部省、3月から「主任制度化実施」の通達</p> <p>02.06 ロッキード事件発覚</p> <p>02.14 国鉄、スト権ストに対し202億円の賠償請求訴訟</p> <p>02.24 全林野、白ろう病被害で林野庁などを傷害罪での告訴を決定</p> <p>03.01 韓国の金大中ら、「民主救国宣言」を発表</p> <p>03.04 農民春闘決起集会（全日農など農民5団体）</p> <p>03.17 「ロッキード汚職糾弾・インフレ・失業反対・国民生活防衛76国民春闘総決起中央集会」（春闘共闘委主催）</p> <p>04.28 横田基地公害訴訟団夜間飛行禁止などの訴訟を提起</p> <p>05.04 熊本地検、チッソの元社長、元工場長を業務上過失致死傷罪で起訴</p> <p>05.22 部落解放同盟、狭山事件に抗議し全国1,500の小・中・高校で約10万人の児童・生徒が参加して同盟休校に入る</p> <p>05.28 米・ソ両国、平和核実験条約に調印</p> <p>06.06 全国公害被害者総行動デー</p> <p>06.24 新自由クラブ結成</p> <p>07.02 ベトナム社会主義共和国成立</p> <p>07.19～23 総評第53回定期大会、議長/榎枝元文（日教組・83年7月まで）、事務局長/富塚三夫（国労・83年7月まで）</p> <p>07.27 ロッキード事件で田中前首相逮捕</p> <p>07.28 中国で唐山地震、20万人以上犠牲に</p> <p>09.09 毛沢東主席死去</p> <p>10.12 江青ら「4人組」一派が逮捕される</p> <p>11.ー 第13回護憲大会（島根県・松江市）</p> <p>12.05 第34回衆議院総選挙（社会123、自民249、公明55、民社29、共産17、新自ク17、無所属21）</p> <p>12.24 福田赳夫内閣発足</p>
<p>01.19 党・総評、原水禁・原水協統一問題で3.1ピクニデーをメドに努力することを確認</p> <p>01.23 党県本部第51回臨時大会（静岡・ブラザーミシン会館）</p> <p>01.23 三島市長選挙、酒井郁造（無・推）落選</p> <p>02.08 党第40回定期大会</p> <p>03.26 江田三郎離党</p> <p>03.31 党、党改革委員会を設置</p> <p>04.10 党県本部第52回定期大会（静岡・県評会館ホール）委員長/斉藤正男、副委員長/渡辺春太郎・松永広次、書記長/堀田昭夫</p> <p>05.09 成田委員長、連合政権構想を発表</p>	<p>01.27 ロッキード事件初公判</p> <p>02.10 日米漁業協定調印</p> <p>02.14 国鉄、スト権ストに対し202億円の賠償請求訴訟</p> <p>02.23 全日農など農民5団体、農民春闘総決起大会</p> <p>03.01 米・ソ2大国が200海里漁業専管水域実施</p> <p>04.04 国鉄、5万人合理化をふくむ「国鉄経営改善計画」を提出</p> <p>04.24 革新自由連合発足</p> <p>05.26 米と韓国ソウル会議、米地上軍撤退で合意</p> <p>06.13 原水禁統一実行委員会</p> <p>07.01 領海法施行、日本領海は12海里</p>

	<p>10.21 ロッキード事件徹底糾明・金権腐敗自民党政打倒10.21全国統一行動県中央集会</p> <p>10.29 部落解放同盟対県交渉</p> <p>11.01～05 憲法改悪反対、平和と民主主義を守る第14回国民大会（地元静岡市駿府会館・伊豆長岡）</p> <p>11.01 国鉄問題公聴会（県評会館）</p> <p>11.14 県農民会議・知事に生産調整問題で要望書手交</p> <p>12.06 農民会議・対県交渉（生産調整問題中心）</p> <p>12.11 第2回母と女性教師の会静岡県集会(静岡)</p> <p>12.21 朝鮮総連浜松支部への右翼の暴力行為に県議団県警に申し入れ</p>
1978 (S53)	<p>01.11 裾野富士山サファリ反対で対県交渉</p> <p>01.14 高校入試制度シンポジウム</p> <p>02.25 「3.1ビキニ・デー中央集会」（静岡市・焼津市で統一実行委員会主催）</p> <p>03.05 主任手当支給を阻止し静岡の教区をよくする県民大会</p> <p>03.10 1兆円減税闘争の統一行動日として税務署交渉</p> <p>03.16 静岡県造船合理化対策会議を結成発足</p> <p>03.18 少年法改悪反対、少年非行を考える静岡県連絡会議を結成</p> <p>03.25 総評・社会党合同雇用調査団清水の造船会社調査</p> <p>04.01 米韓合同演習反対東富士集会</p> <p>04.21 全林野の白ろう病告発行動（街宣・デモ）</p> <p>05.01 第49回メーデー</p> <p>08.26 富士山ライオン・サファリ建設阻止住民集会</p> <p>09.06～07 ソ連農業代表来静・県内視察</p> <p>09.10 浜岡3号炉に反対する県民会議結成大会（浜岡）</p> <p>09.28～29 県評第32回定期大会（県庁西館）事務局長/金指明（全日通・83年9月まで）</p> <p>10.21 米・日・韓軍事一本化反対・安保条約廃棄・国民生活防衛・10.21全国統一行動静岡県中央集会</p> <p>11.20 解放戦士顕彰会・総会と追悼集会</p> <p>12.09 県中小商工団体連合会結成総会</p> <p>12.10 第3回母と女性教師の会静岡県集会</p> <p>12.12 「日中平和友好条約締結静岡県民祝賀会」（日興会館）</p> <p>12.19 有事立法粉碎県民共闘会議結成、79春闘共闘会議の結成総会</p>

05.14 党、「国民連合政権と社会党の任務」シンポジウム	07.10 第11回参議院選挙（社会27、自民63、公明14、民社6、共産5、新自ク3、諸派3、社市連1、革自連1、無所属5）
06.04 社・共両党、参議院選挙協定確認	08.03 原水禁統一実行委主催原水爆禁止世界大会国際会議
06.19 沼津市長選挙、井手敏彦（無・推）再選	08.05 原水爆禁止世界大会全体集会
07.10 第11回参議院選挙地方区、勝又武一当選	08.17～20 総評第55回定期大会、連合の時代に対応した反独占・反自民の方針修正
07.13 成田・石橋両氏、中執委で辞意表明	09.17 日本被団協代表理事会、「原水禁」「原水協」解体し統一組織結成の方針を確認
08.31 清水市長選挙、勝沢芳雄立候補、落選	09.27 横浜に米軍の戦闘機が墜落、母子3名死傷
09.18 党県本部第53回臨時大会（静岡・つつじ会館）	09.28 ダッカで日航機ハイジャック事件
09.26 党第41回定期大会、新執行部選出できず、12月続開大会の開催を決める	10.22 日本被団協、被爆者援護法制定をめざす秋の中央行動
09.27 檜崎弥之助・田英夫・泰豊、三議員が離党	11.01 カーター米大統領、ILOから脱退表明
10.ー 米の生産調整反対・農民と社会党の懇談会（静岡）	11.19 サダト・エジプト大統領、イスラエルを訪問
12.07 党統制委、檜崎弥之助・田英夫・泰豊を除名処分	11.21 PLO、サダト大統領を反逆者と非難
12.13 党第41回定期大会続開大会、委員長飛鳥田一雄・書記長多賀谷真稔	11.25 ハイジャック防止法成立
12.15 富士市長選に渡辺彦太郎立候補、三選	11.29 東京スモン訴訟の和解成立
12.17 社会主義インター首脳会議、「東京宣言」採択市・町・村議選挙 （7月・三ヶ日町、9月・長泉町・11月・金谷町、雄踏町）	12.23 原水禁統一実行委、新統一組織について引き続き検討することを確認
	12.31 カンボジア政府、ベトナムと外交関係を断絶
01.25 党県本部、静岡ガス値上げ問題で民間公聴会	01.30 ロッキード事件公判で大久保被告、橋本・佐藤・二階堂ら灰色高官名を明かす
02.12 富士山サファリ党県本部国会調査団視察	03.01 3.1ビキニデー国際共同行動デー（東京夢の島を中心に全国各地で行う）
02.21 朝鮮学校浜松への右翼の暴力について党県本部県議団、県警に申し入れ	03.26 社会民主連合結成
03.12 党県本部第54回臨時大会（静岡・県評会館ホール）	04.28 日本、ベトナム難民の定住を認める
03.14 党第42回定期大会、100万党建設の運動方針を決定	05.20 新東京国際空港開港
03.22 党第8次訪中団（団長・飛鳥田委員長）出発	05.23 第1回国連軍縮特別総会開幕
04.15 党県本部第55回定期大会（静岡・県教育会館）委員長/斉藤正男、副委員長/渡辺春太郎・松永広次、書記長/堀田昭夫	06.02 西山事件の上告を棄却、西山太吉記者の有罪が確定
04.20 党、「成田空港問題に対する党の態度」を決定	07.05 農林水産省が発足
05.11 党第5次訪朝団出発26日、共同声明発表	07.15～18 総評第57回定期大会、反独占・反自民の立場復活、OECD・TUAC加盟決定
06.18 県議補選（静岡・清水・三島）いずれも落選	08.12 日中平和友好条約調印
08.18 飛鳥田社会党委員長、円高差益還元・減税で全野党共闘を提唱	09.26 中国、ベトナムとの会談を一方向的に中断、大軍を国境地帯に集結開始
09.09 党・総評、有事立法粉碎全国共闘会議を結成	10.01 日ソ平和条約早期締結・全千島返還全国集会
09.13 党第55回中央委員会、「100万党建設の基本構想」を決定	10.22 鄧小平中国副首相来日
09.24 沼津市長選挙、庄司辰雄（無・推）当選	11.01～03 第15回護憲大会（熊本県・熊本市）
09.30 党、「教育改革と民主主義」をテーマにシンポジウム	11.03 ドミニカ国がイギリスより独立
	11.21 イスラエル、エジプトとの平和条約案承認
	11.27 第17回日米安保協議委員会「日米防衛協力のための指針（ガイドライン）」決定

1979 (S54)	<p>01.25 県民福祉向上についての申し入れ知事交渉</p> <p>02.11 元号法制化に反対する県民の集い</p> <p>03.01 3.1ビキニデー集会</p> <p>05.01 第50回メーデー</p> <p>05.03 静岡憲法を守る会第4回総会 憲法を守る静岡県民中央集会」</p> <p>05.24 原水爆禁止運動の統一をめざす静岡県民準備会の結成</p> <p>07.11 日本坂トンネル火災事故</p> <p>07.12 要求米価実現中央行動</p> <p>07.19 静岡地裁、スモン薬害訴訟に勝利判決</p> <p>08.04～09 原水禁世界大会広島 長崎大会</p> <p>09.23 原水禁統一をめざす静岡県民準備会による「ビキニ被災故久保山愛吉氏の墓参追悼の集い」</p> <p>10.27 高齢者県集会</p> <p>11.08～9 県評第33回定期大会（静岡市民文化会館）</p> <p>11.30 一般消費税に反対する静岡県連絡会議を結成（商工団体、婦人団体、福祉団体等30の団体）</p> <p>12.02 第4回母と女性教師の会静岡県集会</p> <p>12.16 ライオンサファリ反対大集会</p> <p>12.19 県公害連合成洗剤問題で三島市を視察</p> <p>12.一 福祉切捨て反対署名運動</p>
1980 (S55)	<p>02.24 静岡県労農研究集会</p> <p>03.01 3.1ビキニデー集会</p>

<p>11.14～15 党県本部、朝鮮女性同盟代表来静・交流活動</p> <p>11.20 浜北市長選挙、太田勝男（無・推）落選</p> <p>市・町・村議選挙 （1月・菊川町、9月・春野町、10月・河津町、裾野市）</p>	<p>11.28 大蔵省、一般消費税の80年1月導入を表明</p> <p>12.05 ソ連・アフガニスタン友好善隣協力条約調印</p> <p>12.07 第1次大平内閣発足</p> <p>12.22 韓国の朴政権、金大中の釈放を決定</p>
<p>01.13 党県本部第56回臨時大会（静岡・県評会館ホール）</p> <p>01.18 党第43回定期大会</p> <p>01.25 党中執委、日ソ漁業委員会設置決定</p> <p>02.01 社・共両党首会談、都知事選で太田氏を統一候補で合意</p> <p>03.08 党、中・越戦争について見解を発表</p> <p>03.09 成田知巳前委員長死去、66歳</p> <p>04.08 第20回静岡県議選、党は15名擁立、13名当選</p> <p>04.28 党県本部、茶凍霜害で藤枝・掛川で現地調査</p> <p>06.03 党県本部第57回定期大会（静岡・県評会館ホール）委員長/斉藤正男、副委員長/渡辺春太郎・松永広次、書記長/堀田昭夫</p> <p>07.～08 党県本部、100万党建設で県下総支部・支部・単産オルグ</p> <p>07.31 党“80年代の展望と革新の課題”で国民シンポジウム開催</p> <p>08.16 党県本部、ライオンサファリ国会調査団</p> <p>08.28 党、インフレ問題シンポジウム開催</p> <p>10.03 飛鳥田委員長“汚職一掃・反大衆増税の国民大連合”構想を発表</p> <p>10.07 第35回衆議院議員選挙（静岡）、4名が立候補、勝間田清一、斉藤正男の2名が当選</p> <p>11.一 党県本部県議団、県議会に合成洗剤で意見書</p> <p>11.12 党・公明党書記長会談、「政権協議委員会」設置で合意</p> <p>11.13 党訪米団出発</p> <p>12.05 飛鳥田委員長、「安保合意廃棄論」を強調</p> <p>12.09 党県本部第58回臨時大会（静岡・住生協会議室）委員長/勝又武一、副委員長/堀田昭夫・曾根頼・渡辺春太郎、書記長/千頭和錬太郎、書記次長/櫻井規順</p> <p>12.10 党、“80年代日本の社会主義”で公開討論集会</p> <p>12.12 党、農民団体会議呼びかけ</p> <p>12.13 社会・公明両党、連合政権基本政策につき会談</p> <p>市・町・村議選挙 （7月・細江町、8月・袋井市、9月・伊東市、11月・富士宮市、12月・大井川町）</p>	<p>01.01 米・中が国交樹立</p> <p>02.11 イラン革命</p> <p>02.17 カンボジアをめぐり中越戦争が勃発</p> <p>03.09 中立労連・新産別、全国労働組合総連合を結成</p> <p>03.26 エジプトとイスラエルが平和条約調印</p> <p>03.28 米スリーマイル島原子力発電所で放射能漏れ事故</p> <p>04.03 中国、中ソ友好同盟相互援助条約の廃棄を決定</p> <p>05.03 英首相にサッチャー就任</p> <p>05.09 原水禁全国委、独自の大会開催を決定</p> <p>06.06 元号法成立</p> <p>06.18 米ソ、SALTII条約調印</p> <p>07.24～27 総評第59回定期大会、民間先行の労線統一と社会党一党支持問題は1年間の検討後、見直すことを決定</p> <p>08.09 人事院、「国家公務員の定年制度」の見解をまとめる</p> <p>09.07 衆議院解散（増税・一般消費税解散）</p> <p>09.26 政府、3万7千人削減の行政改革を閣議決定</p> <p>10.01 パナマ運河、米国支配から米・パナマの運河委員会に委託</p> <p>10.06 ブレジネフ・ソ連共産党書記長、在欧ソ連軍の一部無条件撤兵を表明</p> <p>10.07 第35回衆議院総選挙（社会107、自民248、公明57、共産39、民社35、新自ク4、社民連2、無所属19）</p> <p>10.26 韓国の朴正熙大統領暗殺</p> <p>12.04～07 第16回護憲大会（沖縄県・那覇市）</p> <p>12.12 韓国で肅軍クーデター、全斗煥が軍の実権を掌握</p> <p>12.27 ソ連、アフガニスタンへ侵攻</p>
<p>01.08 党県本部、農民要求を県に提出</p> <p>01.10 党、公明党と連合政権構想合意</p>	<p>01.26 エジプトとイスラエルが国交樹立</p> <p>03.28 スリーマイル島事故1周年にあたり原発一時停</p>

	<p>03.10 減税（確定申告闘争）闘争、減税の日統一行動</p> <p>03.11 浜岡使用済み核燃料搬出反対監視活動（御前崎港）</p> <p>03.18 静岡県交通問題研究集会を開催</p> <p>04.06 二俣線廃止反対集会</p> <p>04.24 「護憲、反安保・沖縄を訴える全国連鎖集会・静岡集会」</p> <p>05.01 第51回メーデー</p> <p>07.25 浜岡原発第3号炉増設に反対する静岡県民会議が、通産省と原子力安全委員会に「公開ヒアリングについて」申入れ</p> <p>08.04～09 原水禁世界大会広島 長崎大会</p> <p>08.13 「金大中救出のための県各界代表者の会」結成後、国民・県民集会など開催</p> <p>08.16 静岡駅前の地下街でガス爆発、死傷者 200 人以上</p> <p>09.18 金大中氏（韓国）救出の要求県民中央集会（やすらぎの塔前）参加者2,000名</p> <p>09.23 原水禁運動の統一をめざす静岡県民準備会が「ビキニ被災9.23 故久保山愛吉氏の墓前祭」</p> <p>10.06 「改憲策動を粉碎する県民集会」</p> <p>10.16～17 県評第34回定期大会（静岡市民文化会館）</p> <p>10.21 国際反戦デー</p> <p>10.26 浜岡原発反対で浜岡町全戸訪問行動</p> <p>11.16 県解放戦士顕彰会墓前祭</p> <p>12.07 第5回母と女性教師の会静岡県集会</p>
1981 (S56)	<p>01.23 金大中救出静岡県集会</p> <p>01.27 浜岡原発公開ヒアリング反対第1次統一行動</p> <p>02.07 浜岡原発公開ヒアリング反対第2次統一行動</p> <p>02.16 浜岡原発第3号炉公開ヒアリングで対県交渉</p> <p>02.25 浜岡原発反対で気流調査</p> <p>03.01 3.1ビキニデー全国集会</p> <p>03.一 平和のための婦人集会</p> <p>03.18～19 浜岡原発3号炉公開ヒアリング反対大行動（県内をはじめ全国、東海ブロックから6,000</p>

<p>01.20 党県本部、電気・ガス民間公聴会</p> <p>02.02 党県本部第59回臨時大会（静岡・県評会館ホール）</p> <p>02.08 党第44回定期大会、社公連合構想とともに、党の基本路線は不変という補強意見を採択</p> <p>02.14 党県本部、静岡ガス料金値上げ反対民間公聴会</p> <p>02.19 党県本部、中部電力値上げ反対民間公聴会</p> <p>02.24 富士宮市長選・植松義忠(推薦)当選</p> <p>03.23 党県本部第60回定期大会（静岡・住生協会議室）委員長/勝又武一、副委員長/堀田昭夫・曾根頼・渡辺春太郎、書記長/千頭和錬太郎、書記次長/櫻井規順</p> <p>04.23 党県本部、電気・ガス料金の大幅値上げ阻止の要求行動、山本知事に交渉</p> <p>05.16 党、衆議院本会議に大平内閣不信任案提出、可決</p> <p>06.04 飛鳥田委員長、「国民共同の緊急・民主主義政府」を提唱</p> <p>06.22 衆参同時選挙 第36回衆院選（静岡）、3名が立候補、勝間田清一当選 第12回参院選地方区、青木薪次当選</p> <p>07.27 党県本部第61 回臨時大会（静岡・ブラザーマシン会館）</p> <p>08.17 静岡駅前ガス爆発事故 党県本部調査団（勝又青木 松永）</p> <p>09.03 駅前ガス爆発・党国会議員調査団（勝又 青木 他）</p> <p>09.05 党第 10 次訪中代表団出発</p> <p>09.～10 100万党建設で県下総支部 支部オルグ</p> <p>11.08 平民会議（大内力ら）結成</p> <p>11.24 党県本部第62 回臨時大会（静岡・県評会館ホール）</p> <p>12.01 党第45回定期大会 市・町・村議選挙 （1月・御殿場市、4月・浜北市、10月・天竜市、佐久間町）</p>	<p>止を求める全国集会</p> <p>04.17 中国、IMF に加盟</p> <p>05.19 衆議院解散（ハプニング解散）</p> <p>06.12 大平正芳首相急死、内閣総辞職</p> <p>06.22 第 36 回衆議院総選挙（社会 107、自民 284、公明 33、民社 32、共産 29、新自ク 12、社民連 3、無所属 7）</p> <p>06.22 第 12 回参議院選挙（社会 22、自民 69、公明 13、民社 6、共産 7、諸派 2、無所属 11）</p> <p>07.17 鈴木善幸内閣成立</p> <p>07.21～24 総評第 61 回定期大会、統一労組懇問題で激論</p> <p>08.15 政府、「徴兵制」は憲法違反の見解提示</p> <p>09.17 韓国軍法会議、金大中氏に死刑判決</p> <p>09.22 イラン・イラク戦争勃発</p> <p>11.02～04 第 17 回護憲大会（三重県・伊勢市）</p> <p>11.17 ポーランド「連帯」・総評、共同コミュニケ発表</p> <p>12.22 「人民日報」、毛主席は文化大革命で過ちと名指し批判</p>
<p>01.18 三島市長選挙、酒井郁造（無・推）立候補、落選</p> <p>02.14～15 党県本部第63回定期大会（伊豆長岡・富士見ハイツ）委員長/勝又武一、副委員長/堀田昭夫・曾根頼・渡辺春太郎、書記長/千頭和錬太郎、書記次長/櫻井規順</p> <p>03.07 「社会党を支持し強める会」設立総会</p> <p>03.12 党第 7 次訪朝団出発</p> <p>04.02 党中執委、行革問題につき「国民行革」と位置</p>	<p>01.25 毛沢東の妻江青に死刑判決</p> <p>03.02 中国残留日本人孤児初来日</p> <p>03.06 荒畑寒村死去、93 歳</p> <p>04.18 日本原電敦賀発電所で放射能漏れ事故</p> <p>04.21 原水禁など「日本原電糾弾！東京緊急行動」</p> <p>05.10 ポーランド「連帯」のワレサ議長来日</p> <p>05.10 仏大統領選挙でミッテラン当選</p> <p>07.10 第 2 臨調、「行財政改革に関する第 1 次答申」を</p>

	<p>名を上回る参加者)</p> <p>04.07 清水LNG基地問題学習会 (清水)</p> <p>05.01 第52回メーデー</p> <p>05.03 静岡憲法を守る会・憲法擁護街頭活動</p> <p>05.24 日米合同演習反対・北富士集会 (山梨)</p> <p>06.03 県西部護憲国民連合結成総会・記念講演会 (浜松市民会館)</p> <p>06.06 「改憲阻止全国総決起集会」1,500人参加</p> <p>07.18 清水LNG基地問題学習会 (清水中央公民館)</p> <p>08.04～09 原水禁世界大会広島・長崎大会</p> <p>08.09 清水港線廃止反対集会 (清水市役所前)</p> <p>08.15 平和のメッセージ流し (日本婦人会議静岡支部)</p> <p>08.ー 安保廃棄・核持ち込み糾弾静岡県民集会 (静岡)</p> <p>08.18～19 公害と教育全国集会・三島集会 (三島)</p> <p>09.01 清水地区労、清水LNG基地建設反対を決定</p> <p>09.09～10 県評第35回定期大会 (静岡市民文化会館)、事務局長/金指明 (全日通・83年9月まで)</p> <p>09.12 静岡県民教育要求大集会</p> <p>09.20 清水LNG基地問題学習会 (ホテルサンルート)</p> <p>10.06 平和を守る静岡県民集会 (「有事立法」粉砕静岡県民共闘会議主催) 講師・社会党山花貞夫前委員長</p> <p>10.08 援護法制定要求決起集会、デモ</p> <p>10.10 自由民権100年静岡集会</p> <p>11.13 県評結成30周年記念行事・静岡県労働運動史発刊</p> <p>11.16 第4回静岡県解放戦士の碑合葬追悼会を行う、合葬者数は85名</p> <p>12.06 第6回母と女性教師の会静岡県集会</p> <p>12.06 浜岡原発3号炉接地点許可に抗議する県民集会</p>
1982 (S57)	<p>02.06 憲法を守り核戦争に反対する静岡県婦人集会</p> <p>02.11 造船独占の横暴・軍事化に反対し、反合闘争勝利、造船・漁漁政策要求実現静岡大集会 (清水市民会館)</p> <p>02.14 日米合同陸上演習抗議、核安保体制打破県民統一行動と東富士日米陸上演習反対2.14全国集会 (御殿場・3,500名参加)</p> <p>03.01 3.1ピキニデー (焼津市)</p> <p>04.07 反核・平和護憲静岡県集会</p> <p>05.01 第53回メーデー</p> <p>05.～ 西部憲法擁護国民連合が映画「人間を反せ」を90回以上上映し6,000人が参加/清水護憲が映画「予言」を23会場で上映し1,082人が参加</p> <p>05.15 復帰10年沖縄闘争強化全国連鎖集会</p> <p>05.19 清水LNG基地問題連続学習会 (労働会館) 06.17、07.05開催</p> <p>06.03～ 静岡地区で未組織労働者の組織化に向けた連続学習会</p> <p>06.29 郵政事業を考える県民会議結成総会</p> <p>07.07 盧溝橋事件45周年を考える集い</p> <p>07.19 国鉄問題を考える静岡県民シンポジウム</p> <p>08.01 ポリショイ・サーカス公演</p> <p>08.04～09 原水禁世界大会広島・長崎大会</p> <p>08.06 核実験抗議座り込み行動 (青葉公園) 以降毎月6日もしくは9日実施・県原水禁</p> <p>09.09～10 県評第36回定期大会 (静岡市民文化会館) 議長/菊田昭 (県教組・89年12月まで)</p>

	<p>付ける</p> <p>06.18 党横田基地調査団、同基地視察</p> <p>07.02 勝間田社会主義理論センター所長渡吹</p> <p>07.22 党、オタワ・サミットの軍拡路線を批判</p> <p>09.18 飛鳥田委員長、現実拝跪の公明党を批判</p> <p>10.02～ 「国家機密保護法制定促進に関する請願」(自民党県議団提出) 反対請願提出と要請行動</p> <p>12.20 富士市長選挙、渡辺彦太郎 (無・推) 56,423票四選</p> <p>12.22 党委員長選挙、飛鳥田一雄委員長が当選市・町・村議選挙 (1月・大須賀町)</p>	<p>提出</p> <p>07.20～23 総評第63回定期大会、労線統一問題で統一労組懇4単産が修正案、執行部案とも採決せず結論持越し</p> <p>09.07 公明党、自衛隊合憲論に踏み切る</p> <p>10.06 エジプト・サダト大統領暗殺、14日ムバラク副大統領が後継大統領に就任</p> <p>10.16 北炭夕張新鉱でガス突出・坑内火災事故</p> <p>11.02～04 第18回護憲大会 (香川県・高松市)</p> <p>11.13 地公法改正案、国公、3公社退職金切下げ法成立</p> <p>11.30 米ソ、欧州戦域核制限交渉開始 (ジュネーブ)</p> <p>12.14 労戦統一準備会 (380万人) 発足</p>
	<p>01.30 党県本部第64回臨時大会 (静岡・県評会館ホール)</p> <p>02.04 党第46回定期大会、委員長に飛鳥田一雄・書記長に馬場昇</p> <p>02.17 1兆円減税全国統一行動スタート</p> <p>02.25 5野党、1兆円減税要求案を自民党へ提出</p> <p>03.09 党、公選法改正要綱まとめる</p> <p>03.22 党訪欧団出発</p> <p>03.28 党県本部第65回定期大会 (静岡・交通ビル) 委員長/青木薪次、書記長/千頭和鍊太郎</p> <p>05.14 党、「反核・軍縮・非核地帯設置のための東京国際会議」開催</p> <p>07.16 党、「国民のための行・財政改革をめざすシンポジウム」開催</p> <p>07.18 伊東市長選、芹沢昭三 (無・推) 当選</p> <p>07.19 党・国鉄再建問題シンポジウム</p> <p>08.29 熱海市長選挙、笹島亀三 (無・推) 落選</p> <p>09.12 沼津市長選、庄司義雄 (無・支持) 当選</p> <p>09.29 党、「日中国交回復10周年を祝福する」声明を発表</p>	<p>02.02 ジュネーブ軍縮委開催</p> <p>02.02～03 総評第65回臨時大会、統一準備会への参加促進、国鉄の分割・民営化対決、反戦・反核の運動強化など決定</p> <p>02.10 第2臨調、第2次答申を提出</p> <p>03.03 部落解放同盟、全国水平社60周年記念集会</p> <p>03.14 国土庁、初の「過疎白書」発表</p> <p>03.16 ブレジネフ・ソ連共産党書記長、欧州でのSS20配備凍結を発表</p> <p>03.21 平和のための広島行動、国連軍縮特別総会に向けた行動アピール、19万人参加、5.23東京行動、40万人参加</p> <p>03.31 総評・新産別・国鉄4組合共闘会議、「国鉄改革検討委員会」設置を決定</p> <p>04.02 フォークランド紛争勃発、06.14終結 (領有権はイギリスが獲得)</p> <p>06.06 イスラエル軍、レバノン侵略を開始</p> <p>07.09 参議院選挙全国区改正案、自民党が強行採決</p> <p>07.25～28 総評第66回定期大会、全民労協への全民間単産の参加を決定</p>

	<p>10.05 国民主導による民主的行革を静岡県集会</p> <p>10.21 「国際反戦デー」各地で集会</p> <p>10.～ 憲法改悪阻止、徴兵反対、非核3原則堅持、1千万署名行動</p> <p>11.08 教科書問題を考える市民集会（静岡地区）</p> <p>11.14 東富士日米陸上合同演習反対集会（御殿場）</p> <p>11.16 浜岡原発3号炉増設反対闘争（通産省より設置許可）</p> <p>11.26 浜岡原発使用済み燃料搬出反対行動（御前崎港）</p> <p>11.27 県労農会議研究集会</p> <p>12.05 第7回母と女性教師の会静岡県集会</p>
1983 (S58)	<p>01.26 反金権田中角栄即時辞職、中曽根糾弾静岡県集会</p> <p>03.01 3.1ビキニデー全国集会</p> <p>05.01 第54回メーデー</p> <p>07.19 「国鉄再建問題シンポジウム」</p> <p>08.04～09 被爆38周年原水禁世界大会広島・長崎大会</p> <p>08.15 この日を中心に清水、静岡、富士、掛川、焼津、浜松で「平和の集い」開催</p> <p>09.29～30 県評第37回定期大会（静岡市民文化会館）議長/菊田昭（県教組）、事務局長/横山安夫（国労・88年9月まで）</p> <p>10.01 ポリショイ氷上サーカス公演</p> <p>10.21 各地で国際反戦デー集会</p> <p>10.25～11.30 浜岡原発使用済み核燃料海外搬出反対の闘い</p> <p>11.13 ミッドウエー艦載機訓練反対浜松集会・バイクデモ、同・静浜集会</p> <p>11.14 東富士から平和の炎を、日米共同陸上実動演習反対11.14全国集会（御殿場市）</p> <p>11.22 平和のメッセージ流しに米カルフォルニアから返事</p> <p>11.27～28 第8回母と女性教師の会静岡県集会（熱海）</p> <p>12.06 核実験抗議座り込み行動通算16回（青葉公園・県原水禁）</p> <p>12.12 浜松自衛隊基地でのブルーインパルスジェット戦闘機民家墜落事故で抗議集会デモ（浜松市）</p>
1984 (S59)	<p>02.29～03.06 ビキニ環礁実験被災30周年3.1ビキニデー中央実行委員会、原水禁運動の統一をめざす静岡県民準備会・全国集会（静岡市、焼津市）</p> <p>04.05 県婦人会議、「反核・平和のメッセージ」を入れ太平洋に放流したビンの返書がロサンゼルスから届き、上京</p> <p>05.01 第55回メーデー</p> <p>05.17 健康保険制度改悪反対総決起集会</p>

<p>10.09 静岡社会党会館竣工落成式</p> <p>11.02 石橋社会党副委員長辞任</p> <p>11.10 党日中友好の翼訪中団出発</p> <p>12.12 党県本部第66回臨時大会（静岡・住生協会議室）</p> <p>12.15 党第47回定期大会、委員長に飛鳥田一雄・書記長に平林剛、「社会主義の構想」を決定</p> <p>市・町・村議選挙 （4月・藤枝市、7月・伊東市補選、8月・熱海市補選、9月・春野町）</p>	<p>09.09 長沼ナイキ事件の最高裁判所判決、原告の原告の申告棄却</p> <p>09.24 国鉄非常事態宣言を政府発表</p> <p>10.12 鈴木善幸首相退陣表明</p> <p>10.24 82年反核・軍縮・平和大阪行動、長崎の集い</p> <p>11.01～03 第19回護憲大会（北海道・札幌市）</p> <p>11.27 第1次中曽根内閣発足</p> <p>12.13 国連総会、核凍結を初決議</p> <p>12.14 全労協結成（堅山議長 41 単産・423 万人）</p> <p>12.21 行革白書を閣議決定</p>
<p>02.09 党平林書記長急死、61歳</p> <p>02.15 党田辺副委員長を書記長代行に決定</p> <p>03.10 党・総評、行革シンポジウムを開催</p> <p>04.10 第21回県議会議員選挙、党は14名擁立、11名当選</p> <p>05.15 社会主義理論センター「21世紀へー新しい改革の道」シンポジウム開催</p> <p>05.15 党県本部第67回臨時大会（静岡・県評会館ホール）</p> <p>06.一 83政治決戦勝利社会党講演会（飛鳥田委員長）</p> <p>06.26 第13回参議院選挙静岡地方区、菊田昭落選</p> <p>07.07 党飛鳥田委員長、辞意を表明</p> <p>07.31 党県本部第68回定期大会（静岡・静米会館）委員長/青木薪次、副委員長/曾根頼・渡辺春太郎・菊田昭、書記長/千頭和鍊太郎、書記次長/櫻井規順</p> <p>08.01 党委員長選挙の立候補受け、石橋政嗣が確定</p> <p>09.07 党第48回定期大会、委員長に石橋政嗣・書記長に田辺誠</p> <p>09.19 衆議院予算案、「非武装中立論」で社 自党首が論戦</p> <p>11.20 党、「暮らせる年金制度の実現をめざして」年金一元化計画案を発表</p> <p>11.23 党、「民主・公正・効率」を3原則の newRow案を発表</p> <p>12.18 第37回衆議院議員選挙（静岡）、3名立候補、松前仰・勝間田清一・元信堯の全員当選</p> <p>市・町・村議選挙 （2月・焼津市、7月・細江町、9月・袋井市・伊東市、御殿場市）</p>	<p>01.28 全野党、田中元首相への議員辞職勧告決議案の早期提出で合意</p> <p>02.01 老人保健法施行</p> <p>02.02 米・ソ戦略核兵器削減交渉（START）再開</p> <p>03.21 社会党・総評、佐世保でエンタープライズ寄港阻止闘争</p> <p>05.08 サラリーマン新党結成</p> <p>05.26 日本海中部地震(M7.7)</p> <p>06.10 国鉄再建監理委員会発足</p> <p>06.26 第13回参議院選挙（社会 22、自民 68、公明 14、共産 7、民社 6）</p> <p>07.25～28 総評第69回定期大会、議長/黒川武（私鉄総連）、事務局長/真柄栄吉（自治労・89年11月まで）</p> <p>08.02 国鉄再建監理委、中曽根首相に緊急提言</p> <p>08.12 防衛庁パトリオットミサイルの導入決定</p> <p>08.21 フィリピンのアキノ元上院議員暗殺</p> <p>09.01 ソ連戦闘機、大韓航空機をサハリン沖で撃墜、269人死亡</p> <p>11.01～03 第20回護憲大会（鳥取県・鳥取市）</p> <p>11.09 レーガン米大統領来日</p> <p>11.23 胡耀邦中国共産党総書記来日</p> <p>11.24 11.24 反核・軍縮・平和のための東京行動</p> <p>11.28 衆議院、野党提出の中曽根内閣不信任案を受け解散</p> <p>12.18 第37回衆議院総選挙（社会 112、自民 250、公明 58、民社 38、共産 26、新自 8、社民連 3、無所属 16）</p> <p>12.27 第2次中曽根内閣発足、新自由クラブとの連立</p>
<p>01.26 党中執委、「国鉄再建対策委員会」を設置</p> <p>02.27 党第48回定期続開大会、自衛隊の「違憲・法的存在」で論議</p> <p>03.25 党県本部第69回定期大会（静岡・県評会館ホール）委員長/青木薪次、書記長/千頭和鍊太郎、書記次長</p>	<p>01.18 三井三池鉱業所の有明坑内火災、一酸化炭素中毒で83人死亡</p> <p>01.25 政府、「行革に関する当面の実施方針」を決定</p> <p>03.27 政府、臨時教育審議会設置法案決定</p> <p>05.11 政府、男女雇用機会均等法案を閣議決定</p> <p>06.14～17 欧州諸共同体加盟国で欧州議会議員選挙の</p>

	<p>05.21 教育三法改悪反対、国民のための教育改革を！県民集会</p> <p>06.07 二俣線存続知事交渉</p> <p>06.14 浜岡原発使用済核燃料海外搬出反対の闘い 続行</p> <p>06.17 トマホーク配備反対6.17東富士抗議集会（東富士ダム2,000人）</p> <p>07.14 教育臨調粉碎・教育三法阻止県民大集会</p> <p>07.31 教育臨調と健保改悪に反対する県民集会</p> <p>08.06～9 被爆39周年原水禁世界大会広島・長崎大会</p> <p>08.15 第39回終戦記念日に「花を咲かせて平和を守ろう」集会</p> <p>08.27 国鉄分割・民営化2万5千人首切り反対静岡県総決起集会</p> <p>09.03 全斗煥韓国大統領訪日に反対する集会デモ（静岡市）</p> <p>09.23 被災30周年3.1ビキニデーを考える集い</p> <p>10.11～12 県評第38回定期大会（静岡市民文化会館）</p> <p>10.20 平和を守る84年10.20静岡県中央集会（焼津ー静浜基地）</p> <p>10.27 反原発静岡県共闘会議結成（浜岡原発3号炉建設反対共闘会議発展的解散）</p> <p>11.04 11.4航空祭反対・基地撤去県民大集会（浜松城公園）</p> <p>12.02 第9回母と女性教師の会静岡県集会</p>
1985 (S60)	<p>02.06 核実験抗議座りこみ通算31回（青葉公園・県原水禁）</p> <p>02.20 県農民会議第5回大会</p> <p>03.01 3.1ビキニデー焼津集会（2,000人参加）</p> <p>03.13 重税反対・営業と暮らしを守る市民集会（静岡）</p> <p>03.08 国保料・保育料値上げ反対行動</p> <p>03.23 さだまさしローカル線コンサート</p> <p>04.16 人事院勧告・仲裁裁定健全実施、85春闘総決起集会</p> <p>05.01 第56回メーデー</p> <p>06.07 国鉄分割民営化反対集会</p> <p>07.09 被爆40周年非核、平和行進静岡県実行委員会結成</p> <p>07.14 「静岡教育シンポジウム」</p> <p>07.20 白ろう病裁判支援、人権を守る集会</p> <p>08.04 国鉄分割民営化反対ブロック別集会（沼津・静岡・浜松）</p> <p>08.04～6 被爆40周年原水爆禁止世界大会広島大会（51名）、08.07～9 長崎大会（22名）</p> <p>08.15 「平和の花のタネまき」50,000袋、チラシ、風船などによる街頭宣伝</p> <p>09.26～27 県評第39回定期大会、県内の労働組合組織率は、84年末29.3%に減少</p> <p>11.04 浜松自衛隊ブルーインパルス飛行再開計画反対集会（4,000人参加）</p> <p>11.10 国鉄分割民営化反対静岡中央集会（静岡）</p> <p>11.13 家永教科書裁判提訴20周年記念講演会</p> <p>11.一 国家秘密法に反対する静岡市民集会</p> <p>12.01 第10回母と女性教師の会静岡県集会</p> <p>12.04 浜岡原発使用済核燃料海外搬出反対第14回行動（現地御前崎）</p> <p>12.06 核実験抗議座り込み通算37回（青葉公園・県原水禁主催）</p>
1986	<p>03.02 被爆者と共に核兵器緊急廃絶を求める86.3.1ビキニ集会を静岡市民文化会館で開催（約2,000</p>

<p>04.07 党訪米代表団出発</p> <p>05.31 党中執委、全斗煥韓国大統領の来日反対を決定</p> <p>07.01 下田市長選、池谷淳（無・推）当選</p> <p>07.03 社・公・民・連、男女雇用平等法案を国会提出</p> <p>08.10 党、国鉄再建監理委の緊急提言に「国鉄を解体に導く無責任な提言」と談話</p> <p>09.一 健保・教育・電電・国鉄の改革をくい止める党国会議員と市民の連帯を深める集会</p> <p>09.17 党訪朝代表団（団長・石橋委員長）出発</p> <p>10.05 党国鉄再建対策委、国鉄再建プログラムを発表</p> <p>10.16 党、防衛庁の有事法制研究第2次中間報告に「防衛庁の企図は国家総動員体制で、撤回を要求する」と談話発表</p> <p>10.26 党招待で中国共産党代表団（団長・喬石書記候補）来日</p> <p>11.01 党中執委、「綱領等に関する党基本問題検討委員会」を発足</p> <p>自治体議員選挙 （4月・浜北市・10月・天竜市・佐久間町）</p>	<p>投票</p> <p>06.24 反トマホーク行動デー、東京・明治公園などで開催</p> <p>07.17 政府、教育改革について「教育臨調」を発足する方針決定</p> <p>07.24～27 総評第71回定期大会、春闘再構築・反行革会議設置など決める</p> <p>08.21 フィリピン・マニラで、マルコス大統領に対する50万人の抗議デモ</p> <p>08.21 臨時教育審議会設置</p> <p>08.28 レーガン米大統領、グロムイコ・ソ連外相と会談</p> <p>09.06 全斗煥韓国大統領、来日</p> <p>10.31 インド、インディラ・ガンジー首相暗殺</p> <p>11.01～03 第21回護憲大会（山梨県・甲府市）</p> <p>12.19 英と中国が香港返還合意文書に調印</p> <p>12.20 衆議院本会議、電電公社改革三法案が成立</p> <p>12.21 国民年金改正法案が成立</p>
<p>01.12 田辺社会・矢野公明両党書記長、政権構想協議の場を設けるなどで合意</p> <p>01.13 党県本部第70回臨時大会（静岡・県評会館ホール）</p> <p>01.17 党第49回定期大会、ニュー社会党をめぐる議論</p> <p>01.20 三島市長選、土屋寿山（無・推）落選</p> <p>01.22 向坂逸郎顧問死去</p> <p>01.25 党、「政治倫理審査会」の基本的考え方を策定</p> <p>02.24 党県本部第71回定期大会（静岡・県評会館ホール）委員長/青木薪次、副委員長/菊田昭・松前仰・元信堯・藤田孝昂・曾根頼、書記長/千頭和鍊太郎、書記次長/櫻井規順</p> <p>03.25 党国鉄再建委、国鉄再建に具体案を発表</p> <p>05.20 党訪朝代表団出発</p> <p>06.11 党、新宣言案、党の性格を国民政党とし、幻術主義路線を採用</p> <p>06.26 党、第2回全国政策研究集会を開催</p> <p>07.21 清水市長選挙・帯金昭（無・推）落選</p> <p>09.一 党県本部・結党40周年セレモニー&パーティー</p> <p>09.11 党第64回中央委員会、「新宣言」中執案を決定</p> <p>09.14 党訪ソ・東独代表団出発</p> <p>11.02 党結党40周年記念式典を開催</p> <p>12.07 党県本部第72回臨時大会（静岡・県評会館ホール）</p> <p>12.00 富士市長選挙、渡辺彦太郎（無・推）5選</p>	<p>01.31 中曽根首相が防衛費 GNP比1%枠突破の可能性を言及</p> <p>02.16 イスラエル軍がレバノンからの撤退開始</p> <p>03.21 日本初のエイズ患者を認定</p> <p>03.21 平和のためのヒロシマ行動（53,000人参加）</p> <p>04.01 日本電信電話会社と日本たばこ産業会社、正式に発足</p> <p>05.17 男女雇用機会均等法成立</p> <p>05.17 三菱南大夕張鉱業所でガス爆発、62人が死亡</p> <p>07.15～18 総評第73回定期大会、議長/黒川武（私鉄総連）、事務局長/真柄栄吉（自治労）、80年代中に労働戦線の全的統一の合意形成を終えるなどの方針決定</p> <p>08.12 日本航空123便が御巣鷹山墜落、520名が死亡</p> <p>09.18 政府、「中期防衛力整備計画」決定</p> <p>10.11 政府、国鉄6分割・民営化を閣議決定</p> <p>10.21 10.21 国際反戦デー</p> <p>10.27 今こそ、反核・軍縮・平和だ！日本の政治を変える中央行動（上野公園）</p> <p>11.01 女性による反核・軍縮、非核地帯設置のための国際フォーラム</p> <p>11.04 国鉄分割民営化に反対して「全国ふるさと線まつり」（上野公園）</p> <p>11.一 第22回護憲大会（福島県・郡山市）</p> <p>11.29 過激派が国電同時多発ゲリラ</p>
01.16 党都道府県委員長会議、「新宣言」の満場一致決	01.28 米国・スペースシャトル「チャレンジャー」、打

(S61)	<p>名の参加)</p> <p>03.一 国鉄再建法学習会 (3.20西部、3.24東部、3.25中部)</p> <p>03.26 県農民会議第 6 回総会、「農業再建、農政の民主化、食糧の安定と安全供給」の要求「全林野労働者 15,000 名」要員削減合理化反対の闘い強化</p> <p>04.23 4.23教育臨調反対・国民合意の教育要求静岡県集会</p> <p>05.01 第57回メーデー</p> <p>05.03 憲法施行40周年記念講演会・意見広告</p> <p>06.29～30 米空母艦載機夜間訓練基地建設反対三宅島交流集会</p> <p>07.14 民主教育をすすめる県民連合が「教育シンポジウム」(全国 2 万カ所、本県は 400 カ所で開催)</p> <p>08.05 浜岡原発4号炉建設反対、公開ヒアリング開催抗議集会 (浜岡)</p> <p>08.06～09 被爆41周年原水禁大会に参加 (代表47名)</p> <p>08.15 平和を語る市民の集い (静岡)</p> <p>09.24 国鉄解体法案反対静岡県中央集会</p> <p>09.29～30 県評第40回定期大会 (静岡・県勤労者総合会館)、労働組合組織率は全国では28.2%、県内における組織率は25.9% (県評28.4%)</p> <p>10.11 国民の国鉄を守る静岡県実行委員会を結成</p> <p>11.18 浜岡原発使用済み燃料搬出反対行動 (御前崎港)</p> <p>11.27 大型間接税反対静岡県中央集会</p> <p>11.27 県労農市民会議定期総会</p> <p>11.30 第 11 回母と女性教師の会静岡県集会</p> <p>12.06 核実験抗議座り込み通算47回 (毎月6日もしくは9日実施、1年間で430名の参加)</p>
1987 (S62)	<p>02.21 売上税、マル優廃止粉碎のための税制改革について社会党に提言する県民懇話会</p> <p>02.25 国民の食糧を守り、農業を再建する静岡県中央集会</p> <p>03.01 3.1ビキニデー被災33周年全国集会 (静岡市・全国より500名参加)</p> <p>03.15 二俣線に代わる天竜浜名湖鉄道開業</p> <p>05.01 第58回メーデー</p> <p>05.03 憲法施行40周年記念講演会・意見広告</p> <p>05.22 コメの自由化反対、守ろう日本農業 5.22 県中央集会</p> <p>06.07 6.7 教育シンポジウム (民主教育をすすめる県民連合)</p> <p>06.09 浜岡原発使用済み燃料搬出反対行動 (御前崎港)</p> <p>06.16 反核・軍縮・平和のための全国連鎖行動静岡県集会</p> <p>08.04～09 被爆42周年原水禁世界大会広島、長崎大会、参加者47名</p> <p>08.14 米軍基地建設と闘っている三宅島の皆さんを励ます静岡市民の集い</p>

<p>定に努力で合意</p> <p>01.22 党大会 (続開大会)、「新宣言」採択</p> <p>03.09 党県本部第73回定期大会 (静岡・静米会館) 委員長/青木薪次、副委員長/菊田昭・松前仰・元信堯・藤田孝昂、曾根頼、書記長/千頭和錬太郎、書記次長/櫻井規順</p> <p>03.17 社・公・民・連の4野党、被爆者援護法案を共同提出</p> <p>03.20～ 国鉄再建法学習会 (東・中・西三カ所)</p> <p>05.23 社・公書記長会談、政権協議再開・選挙協力問題で話し合い合意</p> <p>07.06 衆参同日選挙 第38回衆議院選挙 (静岡)、3名が立候補、松前仰・前島秀行の2名が当選 第14回参議院選挙地方区、青木薪次当選</p> <p>07.20 伊東市長選、芹沢昭三 (無・推) 当選</p> <p>07.23 4 野党書記長会談、中曽根内閣の横暴を監視するための結束強化で合意</p> <p>07.25 石橋委員長、党の再生のための第 1 回国民懇談会で辞意表明</p> <p>09.06 党委員長選挙、土井たか子が当選</p> <p>09.08 党第50回定期大会、書記長に山口鶴男を選出</p> <p>09.14 沼津市長選、渡辺朗 (無・支持) 当選</p> <p>10.13～14 党全国書記長会議、土井委員長が市民運動との連携・87 年春の統一地方選で女性候補擁立などを強調</p> <p>10.28 4野党・5労働団体、政府税調の最終答申に抗議の緊急声明</p> <p>11.09一 浜北市長選、滝口貞雄 (無 推) 落選</p> <p>12.17 土井社会・矢野公明両党委員長、税制改革・防衛費問題で共同路線をとることで合意</p> <p>市・町・村議選挙 (4月・藤枝市、10月・裾野市)</p>	<p>上げ直後に爆発</p> <p>02.11 護憲連合、紀元節復活に反対し平和と民主主義を守る 2.11 中央集会</p> <p>02.25 アキノ大統領が就任</p> <p>04.01 男女雇用機会均等法施行</p> <p>04.26 ソ連のチェルノブイリ原子力発電所で大規模な爆発事故発生</p> <p>07.06 第 38 回衆議院総選挙 (議員定数 1 増、512、社会 85、自民 300、公明 56、民社 26、共産 26、新自ク 6、社民連 4、無所属 9)</p> <p>07.06 第 14 回参議院選挙 (比例代表区 50、社会 9、自民 22、公明 7、共産 5、民社 3、新自ク 1、第二院ク 1、サラ新 1、税金 1、選挙区 76、社会 11、自民 50、共産 4、公明 3、民社 2、無所属 6)</p> <p>07.15～18 総評第 75 回定期大会、国労問題などで議論、相次ぐ動労批判に動労退席</p> <p>07.22 第 3 次中曽根内閣発足</p> <p>08.04 原水禁、被爆 41 周年原水爆禁止・ヒロシマ行動結集集会</p> <p>08.15 社会党・護憲連合・総評など、「戦争犠牲者追悼・平和を誓う 8.15 集会」開催</p> <p>08.15 新自由クラブ解党</p> <p>09.22 安中公害訴訟の和解成立、東邦亜鉛が住民に 4 億 5000 万円を賠償</p> <p>10.09 労働 4 団体・全民労協、「減税実現・大型間接税導入阻止・老人保健法改悪反対中央集会」開催</p> <p>10.27 初の日米共同統合実動演習、北海道で実施</p> <p>11.01～03 第 23 回護憲大会 (福岡県 福岡市)</p> <p>11.15 伊豆大島の三原山が噴火、全島民島外避難</p> <p>12.01～02 全日農第26回定期全国大会</p> <p>12.30 87年予算で防衛費が1兆円を突破</p>
<p>01.18 党県本部第74回臨時大会 (静岡・静米会館)</p> <p>01.20 4 野党党首会談、中曽根内閣打倒・売上税粉碎方針を確認</p> <p>01.22～24 党 52 回定期全国大会、6 つの決議案と大会宣言決定</p> <p>01.27 社・公・民 3 党、首相演説を不満とし代表質問拒否を決定</p> <p>02.05～ 売上税・マル優廃止を許さないキャンペーン行動</p> <p>02.17 党・総評・中立労連、「中曽根政権の軍拡路線阻止中央集会」開催</p> <p>03.20 党、「50万人雇用創出プラン」との緊急政策を發</p>	<p>01.01 北京の天安門広場で学生数百人がデモ</p> <p>02.03 総評第 76 回臨時大会</p> <p>02.04 政府、売上税法案提出 (5 月廃案)</p> <p>02.11 護憲連合、「紀元節復活に反対し、平和と民主主義を守る中央集会」開催</p> <p>02.17 「中曽根政権の軍拡路線阻止中央集会」社会党・総評・中立労連主催</p> <p>04.01 国鉄が分割・民営化、JR グループ 7 社が発足</p> <p>04.21 売上税等粉碎闘争協、自民の衆院本会議強行開会に抗議声明発表</p> <p>05.03 護憲連合、憲法施行 40 周年国民集会開催</p> <p>05.03 朝日新聞社阪神支局襲撃事件 (赤報隊事件)</p>

	<p>08.15 反核・軍縮・地球を守る女たちの静岡県集会／核兵器をなくし平和をつくる三島市民の集い</p> <p>08.15 8.15敗戦41周年記念平和集会（浜松）</p> <p>09.22 林政共闘会議林野庁交渉</p> <p>10.01～02 県評第41回定期大会（静岡・県勤労者総合会館）</p> <p>10.19 島田事件赤堀さん第1回再審公判報告集会</p> <p>10.27 反核・反戦・平和を求める静岡中央集会</p> <p>11.10 東富士日米共同軍事演習抗議集会</p> <p>11.24 静岡空港対策連絡会議（12.4、12.22も開催）</p> <p>12.06 第12回母と女性教師の会静岡県集会</p> <p>12.06 核実験抗議の座り込み行動（毎月6日もしくは9日実施、1年で延べ250名の参加）</p> <p>12.18 藤枝市議会「非核平和都市宣言」議決</p> <p>12.23 浜岡原発周辺放射能被曝量調査（松葉サンプリング調査）</p>
1988 (S63)	<p>01.19 県農民会議第8回総会「日本農業再建、食と緑、くらしを守る」静岡県集会</p> <p>02.06 静岡空港問題討論集会</p> <p>02.26 県公害連で原発問題中電交渉</p> <p>03.01 ビキニ被災34周年アジア、太平洋の軍縮をめざす県中央集会</p> <p>03.19 熱海市議会平和都市宣言議決</p> <p>03.23 伊東市議会各兵器廃絶平和都市宣言議決</p> <p>05.01 第59回メーデー</p> <p>06.13 6.13ニューヨーク大行動に連帯する「静岡県の集い」約300名の参加</p> <p>06.19 下田ドック支援集会（下田港外が岡・5,000人全国動員）</p> <p>06.28 浜岡原発2号炉水漏れ事故で中電交渉</p> <p>07.09 消費税阻止・不公平税制是正のための県民公聴会</p> <p>07.25 林政共闘会議対政府交渉</p> <p>08.03 全山労振動病対策基準局交渉</p> <p>08.04～09 被爆43周年広島・長崎大会</p> <p>08.06 反核・軍縮地球を守る女たちの静岡県集会</p> <p>08.09 島田事件8.9結審報告集会</p> <p>08.15 県内各地で「戦争・憲法・平和を考える集い」開催</p>

	<p>表</p> <p>04.12 第22回静岡県議選、党は14名を擁立、13名当選</p> <p>04.13 4野党（社会・公明・民社・社民連）、売上税法案の撤回・中曽根首相の退陣を要求</p> <p>06.28 党県本部第75回定期大会（静岡・静米会館）委員長/青木薪次、副委員長/菊田昭・松前仰・元信堯・藤田孝昂・前島秀行 八木金平、書記長/千頭和錬太郎、書記次長/櫻井規順</p> <p>07.11 土井委員長・山口書記長、真柄総評事務局長と会談、「連合」発足後も従来通り連携強化で合意</p> <p>07.22～27 田辺前書記長ら、北朝鮮を訪問</p> <p>09.24～28 土井委員長、北朝鮮を訪問、26日金日成国家主席が富士山丸問題で協議を提案</p> <p>10.08 社・公・民3党書記長、首班指名のための臨時国会で土地問題の集中的審議で一致</p> <p>12.04 党委員長選挙、土井たか子再選</p> <p>12.11 県議団県知事に空港問題で申入れ</p> <p>12.20 社会党新しい出発のための県民懇話会市・町・村議選挙 （統一4月・静岡市・清水市・島田市・掛川市・富士市・富士宮市・沼津市・三島市・熱海市・下田市・浜松市・湖西市・磐田市・修善寺町・函南町・菟山町・小山町・蒲原町・福田町・豊田町・水窪町・森町・新居町・舞阪町・戸田村） （2月・焼津市、7月・南伊豆町・細江町、8月・袋井市、8月・伊東市、11月・大井川町） 市議選は社会党公認候補32名全員が当選、町村会議員選は14名の推せん候補が当選</p>	<p>05.10 帝銀事件平沢貞通死刑囚が獄死</p> <p>06.21 沖縄県労協、米軍嘉手納基地周辺を市民と25,000人で包囲デモ</p> <p>07.01 単一欧州議定書が発効</p> <p>07.11 世界の人口が50億人突破</p> <p>07.14～17 総評第77回定期大会、90年を目途に総評解散方針を決定</p> <p>07.20 国連安保理事会、イラン・イラク戦争の即時停戦要求決議案採択</p> <p>07.21 日・米SDI研究の取決め協定調印</p> <p>08.07 臨教審最終答申で国歌・国旗尊重提唱</p> <p>10.19 ニューヨーク株式市場が大暴落（ブラックマンデー）</p> <p>11.01～03 憲法施行40周年第24回護憲大会（兵庫県・神戸市）</p> <p>11.02 中国共産党総書記に趙紫陽首相を選出</p> <p>11.02 ゴルバチョフ・ソ連共産党書記長、スターリン批判・党史の大幅見直し表明</p> <p>11.06 竹下登内閣発足</p> <p>11.20 全日本民間労組連合会（民間連合）結成、同盟・中立労連など55単産540万人</p> <p>11.29 金賢姫による大韓航空機爆破事件</p> <p>12.08 米・ソ中距離核戦力全廃条約（INF全廃条約）に調印</p> <p>12.08 民間連合、「土地暴騰を怒る緊急集会」を開催</p> <p>12.21 堅山民間連合会長、竹下首相に会い税制改革の実現を要望</p>
	<p>01.01 土井委員長、年頭挨拶を発表「今年は核廃絶元年」強調</p> <p>01.13 党組織基本問題検討委、組織改革案まとめる</p> <p>02.05 山口書記長、自衛隊に関し表明発表</p> <p>02.07 党県本部第76回臨時大会（県評会館ホール）</p> <p>02.11 党、第53回定期大会開催</p> <p>04.29 党県本部第77回定期大会（静岡・勤労者総合会館）委員長/青木薪次、副委員長/菊田昭・松前仰・元信堯・藤田孝昂・前島秀行・八木金平、書記長/千頭和錬太郎</p> <p>05.02 党、憲法記念日に「憲法の理念が脅かされている」との談話発表</p> <p>05.06 党訪ソ団、ゴルバチョフ書記長と会談</p> <p>05.19 党、労働界の統一に備え、「行動方針案」を承認</p> <p>06.26 下田市長選挙、池谷淳（無・推）当選</p> <p>07.28 社・公両党、衆参予算委へ江副リクルート前社長の証人喚問を要求</p>	<p>01.01 ソ連、ゴルバチョフ書記長主導の下、ペレストロイカ開始</p> <p>03.03 「水俣病の全面解決を迫る全国大集会」、加害企業と国に即時全面救済求めるアピール採択</p> <p>03.13 青函トンネル開通、青函連絡船の運航終了</p> <p>03.16 「国民総背番号制に反対しプライバシーを守る中央会議」、「個人情報の保護に関する基本法案要綱」を発表</p> <p>04.01 改正労働基準法施行</p> <p>04.01 マル優制度廃止</p> <p>04.10 瀬戸大橋開通</p> <p>04.14 アフガニスタン和平協定調印</p> <p>04.24 「原発とめよう1万人行動」、東京で集会、銀座周辺をデモ</p> <p>05.15 アフガニスタンからのソ連軍の撤退開始</p> <p>05.29 米・ソ首脳会談、モスクワで開催</p> <p>06.09 民間連合、7月15日から8月15日までを「平</p>

	<p>08.19 浜岡原発2号炉で格納容器水漏れ事故で公害連が中電と交渉</p> <p>09.20 浜岡原発使用済み核燃料搬出抗議行動</p> <p>09.21 浜岡原発1号炉事故で中電申入れ</p> <p>09.29～30 県評第42回定期大会（静岡・県勤労者総合会館）、事務局長/石垣隆司（全通・89年12月まで）</p> <p>10.18 沖縄の「人間の鎖」行動に連帯し、岐阜自衛隊基地で東海ブロック行動</p> <p>10.30 消費税阻止静岡県中央集会</p> <p>12.06 12.6「日米合同軍事演習反対」東海ブロック集会（東富士）約1,000名の参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第3回国連軍縮特別総会（SSPIII）に向けて「静岡県行動する会」を発足 ●「山と緑を守り、森林荒廃を防ぐ県林政共闘会議」 ●「食料の安全・安定供給、日本の農業再建労農共闘」
1989 (S64・H01)	<p>03.30 県農民会議第9回定期大会</p> <p>04.26 朝鮮問題学習会（県評会館）</p> <p>05.01 第60回メーデー県中央集会（静岡市民文化会館前）</p> <p>05.03 憲法記念日行動（静岡市札の辻）</p> <p>07.31 島田事件えん罪無罪判決報告集会</p> <p>08.04～09 被爆44周年広島・長崎大会</p> <p>08.31 消費税粉砕 8.31 静岡県集会</p> <p>09.14 新「連合静岡」結成官民統一準備会</p> <p>09.26 消費税廃止全国キャラバン行動（静岡・青葉公園他）</p> <p>10.11 県公害連中電交渉（静岡市静米会館）</p> <p>10.12 空港対策連絡会議・県交渉（県庁）</p> <p>10.26 県評センター準備委員会発足</p> <p>10.27 県護憲連合定期総会（静岡・県評会館）</p> <p>11.12 臨教審関連法阻止、義務教育費国庫負担堅持静岡県集会</p> <p>11.16 つぶせ消費税緊急静岡県民集会</p> <p>11.20 第13回母と女性教師の会静岡県集会</p> <p>11.20～12.21 「緑の静岡県プラン」策定会議（静岡開拓連）</p> <p>12.09 食とみどりを守る静岡第6回総会（静岡・県評会館）・中央行動（静岡・青葉公園）</p> <p>12.11 静岡県評センター結成総会（県評会館）会長/菊田昭（県教組・93年12月まで）、事務局長/石垣隆司（全通・93年12月まで）、設立趣意、規約、会計、役員決定</p> <p>県評センターの運動課題①原水禁、②護憲、③県高退連、④日朝友好、⑤公害対策、⑥労農会議、⑦造船反合、⑧電気料値上げ反対、⑨県評東海ブロック、⑩中小・地区労、⑪行革・臨教審、⑫開放戦士顕彰会</p> <p>12.22 連合静岡統一大会（静岡・玉姫殿）会長/野口武利（全金連合・97年12月まで）、事務局長/鈴木晃（電機労連・93年10月まで）</p>

	<p>08.15 社・公・共の各野党・労働団体・市民団体、戦争犠牲者追悼集会で核兵器廃絶を訴える</p> <p>08.17 4野党（社・公・民・連）、10項目の不公平税制是正の共同案を発表</p> <p>12.23 党、竹下内閣不信任決議案提出</p> <p>市・町・村議選挙 （1月・御殿場市、4月・浜北市、10月・天竜市）</p>	<p>和運動月間」とし、独自の平和運動展開の方針確認</p> <p>06.18 護憲連合・社会党、石川県小松市で「反基地全国交流集会」を開催</p> <p>07.06 リクルートコスモス未公開株譲渡問題で江副浩正リクルート会長辞任</p> <p>07.26～29 総評第79回定期大会、89年秋の解散決定</p> <p>08.20 イラン・イラク戦争停戦</p> <p>10.01 ゴルバチョフ・ソ連共産党書記長、最高会議幹部会議長に就任</p> <p>10.30 「原発とめよう伊方集会」、参加者300人で“人間の鎖”行動</p> <p>11.01～03 第25回護憲大会（秋田県・秋田市）</p> <p>11.29 日・米両国政府、次期支援戦闘機（FSX）共同開発取決め調印</p> <p>12.02 パキスタンでブット首相就任、イスラム国家では初の女性元首</p> <p>12.07 ゴルバチョフ・ソ連書記長、国連総会でソ連軍50万人削減の軍縮演説</p> <p>12.24 消費税の導入を柱とした税制改革6法案が成立</p>
	<p>01.16 党県本部第78回臨時大会（静岡・クーポール会館）</p> <p>01.21 党、朝鮮労働党代表団招待</p> <p>01.23～25 党第54回党大会開催</p> <p>01.29 御殿場市長選挙、大庭健三（無・推）当選</p> <p>03.24 4野党（社・公・民・連）・連合、参院選に無所属統一候補者を擁立で合意</p> <p>04.04 党訪朝団、金日成主席と会談、日本政府の見解を評価し自民党訪朝団の受入れを表明</p> <p>04.07 4野党党首、内閣総辞職・衆議院解散要求・連合政権協議会の結成で合意</p> <p>06.23 党、中国との交流を凍結</p> <p>06.29 党、税制再改革プログラム発表</p> <p>07.23 第15回参議院選挙地方区、櫻井規順立候補、563,540票当選</p> <p>07.25 4野党書記長会談、臨時国会に消費税廃止法案を共同提案する方向を確認</p> <p>07.31 党、全国女性議員団結成</p> <p>08.09 参院、土井委員長を首相指名</p> <p>08.22 党全国書記長会議、安保自衛隊存続を了承</p> <p>08.23 社・公・民・連・連合参議院・連合、消費税廃止法案骨子・税制再改革基本法案大綱を決定</p> <p>09.24 党県本部第79回定期大会（静岡・県教育会館）委員長/青木新次、副委員長/松前仰・元信堯・前島秀行・八木金平・水野シズ、書記長/千頭和鍊太郎、</p>	<p>01.07 天皇死去、皇太子即位、元号「平成」を発表</p> <p>02.15 ソ連軍のアフガニスタン撤退が完了</p> <p>04.01 消費税施行、税率は3%</p> <p>04.09 反核燃の日全国集会（青森県・六ヶ所村）</p> <p>05.01 第60回中央メーデー、連合・総評系と共産党・統一労組懇系に分裂開催</p> <p>06.02 竹下登内閣総辞職</p> <p>06.03 宇野宗佑内閣発足</p> <p>06.04 中国の北京市で第2次天安門事件</p> <p>06.18 ミャンマー軍事政権が国名を「BURMA」から「MYANMAR」に改称</p> <p>06.一 ポーランドの自由選挙で「連帯」が上院過半数を占める</p> <p>07.23 第15回参議院選挙（比例代表区50＝社会20、自民15、公明6、共産4、民社2、税金1、第二院ク1、スポ平1、選挙区76＝社会26、自民21、連合11、公明4、民社1、共産1、税金1、第二院ク1、無所属10）</p> <p>07.24 宇野首相、退陣を表明</p> <p>08.10 第1次海部内閣発足</p> <p>09.01 三宅島NLP空港建設に反対する全島大会</p> <p>09.20～21 総評第81回定期大会、11月解散と国際自由労連加盟を決定</p> <p>09.22 総評センター設立総会（38単産参加）</p> <p>10.31～11.02 第26回護憲大会（高知県・高知市）</p>

1990 (H02)	<p>02.27 静岡県評第43回臨時大会、労線統一を確認決定</p> <p>03.01 アジア太平洋の軍縮をめざす3.1ビキニデー全国集会</p> <p>04.11 県労農会議幹事会、県労農会議を「食とみどりを守る静岡県民会議」として新たな出発、米の自由化反対で1,000万署名チラシ配布(12駅頭)</p> <p>04.24 県公害連中電交渉</p> <p>05.01 第61回静岡中央メーデー(静岡市民文化会館屋外ステージ)</p> <p>05.26 第15回丸正事件の再審を求める市民の集い</p> <p>06.09～06.12 原水禁運動平和行進(焼津弘徳院～愛知県新所原)参加者延べ550名</p> <p>06.26 「清水石炭火力建設対策連絡会」中電交渉</p> <p>08.04～09 被爆45周年広島・長崎大会50名参加</p> <p>08.15 敗戦45周年記念平和を求める行動(浜松)</p> <p>09.09 エア・フェスタ・ハママツ90基地航空祭の中止を求める市民の会発足総会(浜松)</p> <p>09.12 地区労代表者会議(①当分の間地区労は存続する、②地区労が解散する時期に連合地協に引き継がないかだがある場合社会党支持労組会議党を結成することを確認)</p> <p>10.30 「自衛隊海外派兵反対緊急集会」(駿府公園・やすらぎの塔前)参加者2,000名</p> <p>11.20 県評センター第2回定期総会(静岡・県評会館)日朝友好県民会議、日ソ親善協会、高退連、県公害連等各共闘と連携を深めて行動</p> <p>11.30 解雇撤回・JR復帰をめざす11.30県中央集会</p> <p>12.04 県公害連「清水石炭火力発電」中部電力交渉</p> <p>12.11 社会党支持労働組合会議結成総会(県評センター加盟17単産60,000人加盟)議長/伊藤正則(県教組・93年12月まで)、事務局/石垣隆司(全通・93年12月まで)</p> <p>12.18 第14回母と女性教師の会静岡県集会(静岡市)</p>
1991 (H03)	<p>01.19 みんなでつくる国鉄闘争・レールからのメッセージ静岡連鎖文化集会</p> <p>01.21 食とみどりを守る静岡県民会議第7回総会</p> <p>02.16 湾岸戦争即時終結県集会(駿府公園)</p> <p>03.01 被爆37周年3.1ビキニデー全国集会、久保山愛吉氏墓前祭、参加者100名、東海ブロック原水禁学校参加者80名</p> <p>03.20 国労キャラバン静岡県中央集会</p> <p>04.05 浜岡原発3号機事故で中部電力申入れ</p> <p>05.01 第62回メーデー</p>

	<p>書記次長/山下登</p> <p>10.24～25 党自治体議員団全国総会・研修会(山梨県石和町)</p> <p>11.17 田辺前書記長が訪中</p> <p>12.14 勝間田元委員長死去</p> <p>12.21 山口書記長、初の正式韓国訪問</p> <p>12.17 故勝間田清一氏告別式(東京・自宅)</p> <p>12.24 富士市長選、渡辺彦太郎(無・推)落選 市・町・村議選挙 (8月・雄踏町、10月・金谷町)</p>	<p>11.07 国鉄闘争支援中央結成共闘会議</p> <p>11.10 ベルリンの壁崩壊</p> <p>11.21 総評第82回臨時大会、組織解散を決定</p> <p>11.21 日本労働組合総連合会結成(連合)官民74単産・798万人、会長・山岸章</p> <p>11.21 全国労働組合総連合(全労連)27単産・40万人結成</p> <p>12.03 米・ソが冷戦の終結を宣言(マルタ会談)</p> <p>12.19 東西ドイツ首脳会談、東西の融和に合意</p>
	<p>01.20 故勝間田清一氏県本部葬(沼津学園体育館)</p> <p>02.09 党委員長選挙、土井たか子当選</p> <p>02.18 第39回衆議院選挙(静岡)、3名が立候補、松前仰・前島秀行・元信堯の全員当選</p> <p>03.31 党県本部第80回臨時大会(静岡・県教育会館)</p> <p>04.05 党大会、党規約前文から「社会主義革命の達成」削除を採択</p> <p>05.02 党土井委員長、西ドイツ・フランス訪問に出発</p> <p>05.13 党県本部第81回定期大会(静岡・日生静岡ビル)委員長/青木薪次、副委員長/松前仰・元信堯・前島秀行・八木金平・水野シズ、書記長/千頭和鍊太郎、書記次長/山下登</p> <p>06.27 第10回県知事選挙、斎藤滋与史(支持)当選</p> <p>07.20 党訪朝団、平壤空港に到着</p> <p>07.28 土井たか子ネットしずおか結成総会(労政会館)</p> <p>08.09 党、「強制連行問題特別委員会」設置</p> <p>09.18 党県本部、水害調査団派遣(三島市)</p> <p>10.03 党中東訪問団、イラク入り、サレハ国民議会議長と会談</p> <p>10.09 党訪朝団、金日成主席と会談</p> <p>10.18 党、「即位の礼」には出席、「大嘗祭」には出席しない方針を決定</p> <p>12.25 土井委員長、海部首相と党首会談</p> <p>12.25 党第3次イラク訪問団、イラクのラマダン第1副首相と会談 市・町・村議選挙 (1月・菊川町、4月・藤枝市)</p>	<p>01.18 本島等長崎市長、右翼に撃たれ重傷</p> <p>02.11 南アフリカ政府、黒人解放運動指導者ネルソン・マンデラを釈放</p> <p>02.18 第39回衆議院総選挙(社会136、自民275、公明45、共産16、民社14、社民連4、進歩1、無所属21)</p> <p>02.28 第2次海部内閣発足</p> <p>03.18 東ドイツで初の自由選挙</p> <p>04.08 反核燃の日全国集会(青森県・六ヶ所村)</p> <p>06.01 米・ソ、化学兵器廃棄条約に署名</p> <p>07.01 東ドイツと西ドイツが経済統合</p> <p>08.02 イラク軍、クウェートに侵攻</p> <p>09.05 韓国・北朝鮮、初の両国首相会談</p> <p>09.ー 連合、列島クリーンキャンペーン全国統一行動</p> <p>09.30 ソ連と韓国が国交樹立</p> <p>10.03 西・東両ドイツ、国家統一</p> <p>10.16 第119回臨時国会で、政府がPKO協力法案を提出、自衛隊の海外派遣盛り込む</p> <p>10.31～11.02 第27回護憲全国大会(石川県金沢市)</p> <p>11.07～09 労農会議全国会議交流集会</p> <p>11.18 沖縄知事選で大田昌秀琉球大名誉教授当選、12年ぶりの革新県政</p> <p>12.29 第2次海部改造内閣発足</p>
	<p>01.04 党、国連平和協力機構設置法案要旨を発表</p> <p>01.13 土井委員長、イラク訪問、フセイン大統領と会談</p> <p>01.23 中電が清水市に100kwの石炭火力発電2基を建設する計画に対し、党「中電清水火力発電対策委員会」設置/委員長・松前仰</p> <p>01.26 党県本部第82回臨時大会(静岡市民文化会館)</p> <p>01.30 党第56回定期全国大会開催</p>	<p>01.17 多国籍軍、イラク軍に空爆開始、湾岸戦争始まる</p> <p>02.09 関西電力美浜原発2号機で蒸気発生器細管が破損</p> <p>02.24 多国籍軍、イラク軍との地上戦突入</p> <p>02.27 イラクがクウェートを撤退、湾岸戦争終戦</p> <p>04.01 牛肉・オレンジ輸入自由化開始</p> <p>04.24 閣議、自衛隊のペルシヤ湾掃海艇派遣決める</p>

	<p>06.20 駿河銀行従組闘争勝利報告集会（静岡）</p> <p>07.01～6 反核平和行進三島～湖西 参加者延べ400名</p> <p>07.17 日ソ問題学習会</p> <p>08.04～06 被爆46周年世界大会広島大会31名、08.07～09長崎大会16名参加</p> <p>08.21 浜岡原発3号機事故で中部電力交渉</p> <p>09.23～10.1 日朝友好県民会議の訪朝（団員10名うちマスコミ2名）</p> <p>10.11 「日本と朝鮮の未来をつくるために」静岡集会</p> <p>10.24 憲法擁護静岡県民連合第12回総会（静岡・県評会館）</p> <p>11.08～21 「食とみどりを守る」活動、学習会、街頭宣伝、チラシ配布等</p> <p>11.12 「清水の 대기・環境を考える—火力計画の影響」講演会・講師西岡昭夫氏（三保公民館）</p> <p>11.14 JRの5年を検証し、国鉄闘争を勝利させる静岡県集会</p> <p>11.20 県評センター第3回定期総会（静岡・県評会館）／第2回社会党支持労組会議総会</p> <p>11.22 第2回政策研究会、知事への要請行動</p> <p>11.27 第16回母と女性教師の会静岡県集会</p> <p>11.27～29 中央労農市民会議全国活動者会議</p> <p>12.02 第8回林政民主化共闘会議総会、講演「森林の流域管理」加藤秋男氏</p> <p>12.08 「PKO法反対、憲法を生かす国際協力に実現をめざす12.8緊急集会」参加者1,300名</p> <p>12.11 食とみどりを守る静岡県民議第8回総会</p> <p>12.20～21 連合静岡第2回定期大会（清水・三保園ホテル）</p>
1992 (H04)	<p>02.09 中電石炭火力に反対する抗議集会・デモ（旧三保駅・三保地区連合自治会主催）1,500人</p> <p>02.10 三保地区連合自治会が中電火力反対を斉藤知事に申し入れ</p> <p>02.26 斉藤県知事が所信表明演説で「中電石炭火力建設反対」を表明</p> <p>02.28 3.1ビキニデー（静岡労政会館）</p> <p>02.29 久保山愛吉氏墓前祭 参加者延べ500名</p> <p>03.07～8 合成洗剤追放第18回全国大会（沼津市民文化センター）</p> <p>03.11 宮城島清水市長、中電石炭火力発電の建設棚上げ表明</p>

<p>03.07 党、結党45周年記念祝賀会を開催</p> <p>04.07 第23回静岡県議選、党公認13名・推薦2名を擁立、9名当選</p> <p>04.10 党・中電清水火力発電対策委員会</p> <p>04.11 党中執委、北方領土問題で全千島返還から4島返還に修正する党見解を正式決定</p> <p>04.17 土井委員長、ゴルバチョフ・ソ連大統領と会談</p> <p>04.27 党・中電清水火力発電対策委員会</p> <p>05.14 山口書記長、辞意を表明</p> <p>05.18 土井委員長、米国に出発</p> <p>05.18 党県本部中電清水火力発電対策委員会、中電と懇談</p> <p>06.15 党県本部第83回定期大会（静岡・静米会館）委員長/前島秀行、副委員長/長田央・三石久江・石垣隆司、書記長/寺田伊勢男、副書記長/山下登・奥川宏</p> <p>06.21 土井委員長、党3役会議で辞意表明</p> <p>07.23 委員長選、田辺副委員長が当選</p> <p>07.31 党臨時大会、田辺委員長ら新執行部決め閉幕</p> <p>08.04 焼津市長選挙、服部毅一（無・推）落選</p> <p>08.25 湖西市長選挙、白井富次郎（無・推）無投票</p> <p>09.15 党県本部、南伊豆水害調査団派遣（下田・河津）</p> <p>10.03 田辺委員長・大内民社党委員長、参院選挙協力問題で会談</p> <p>11.20 党委員長選、田辺誠委員長が再選</p> <p>11.20 党、PKO協力法案の対案として「国際平和協力活動等に関する法律要綱」まとめる</p> <p>12.15 党県本部第84回臨時大会（静岡・県教育会館）</p> <p>12.19 党第58回定期大会開幕</p> <p>12.26 田辺委員長、中国・カンボジア・タイ3カ国訪問決定</p> <p>市・町・村議選</p> <p>（統一4月・静岡市・清水市・島田市・掛川市・富士市・富士宮市・沼津市・三島市・熱海市・下田市・浜松市・湖西市・磐田市・修善寺町・函南町・菟山町・小山町・蒲原町・福田町・豊田町・水窪町・森町・新居町・舞阪町・戸田村）（7月・南伊豆・細江町、9月・袋井市・伊東市、11月・大井川町）</p>	<p>04.29 長良川ゲート—河口堰を止める 10万人アクション</p> <p>05.01 第62回メーデー、全国1,500カ所で開催</p> <p>05.16 モスクワで中・ソ国境協定調印</p> <p>05.22 インドのガンジー元首相爆弾テロで暗殺</p> <p>06.03 雲仙普賢岳で大火砕流発生、43人死亡</p> <p>06.17 南ア議会、人種登録法廃止可決、大統領がアパルトヘイト終結宣言</p> <p>06.30 文部省、来春からの小学校教科書の検定結果を公表、社会科の全教科書に「日の丸が国旗、君が代が国歌」と明記</p> <p>07.31 米・ソ首脳、戦略核を30%削減するSTARTに調印</p> <p>09.17 北朝鮮・韓国・バルト三国が国連加盟</p> <p>11.01～03 第28回護憲国民大会（岡山市・倉敷市・岡山市）</p> <p>11.05 宮沢喜一内閣発足</p> <p>11.20 日本高齢・退職者団体連合結成</p> <p>11.21～22 連合第2回定期大会開催</p> <p>12.06 太平洋戦争中に軍人・軍属・従軍慰安婦に強制徴用された韓国人とその遺族35人、補償金7億円を求め東京地裁に提訴</p> <p>12.11 欧州連合（EU）創設</p> <p>12.26 ソビエト連邦が消滅、11の国から成る独立国家共同体を設立</p>
<p>01.11 田辺委員長、李鵬首相・江沢民共産党総書記と会談</p> <p>01.14 田辺委員長、カンボジアフン・セン首相、シアヌーク殿下と会談</p> <p>02.16 社・公・民の3党首、政治腐敗防止の法改正や法案を3党共同案として合意</p> <p>03.15 党県本部第85回定期大会（静岡・県教育会館）委</p>	<p>01.31 大規模小売店舗法施行</p> <p>02.01 ブッシュ米・エリツイン・ロシア両大統領、初の首脳会談、共同宣言を発表</p> <p>02.07 マーストリヒト条約調印（バブル景気公式終結）</p> <p>02.19 南北朝鮮首脳会談、朝鮮半島の非核化宣言文書交換</p> <p>03.01 暴力団対策法、育児休業法施行</p>

	<p>05.01 第63回メーデー</p> <p>05.15 平和を考える静岡県集会・沖縄復帰20周年集会</p> <p>06.16 JR採用差別事件・中労委「和解案」拒否国労鳥栖闘争団激励静岡地区集会</p> <p>07.02 「金剛山チャリティーコンサート静岡公演」(静岡市民会館中ホール)</p> <p>07.03 7.3食の安全を考える静岡県集会(静岡・静米会館)</p> <p>08.04～06 被爆47周年世界大会広島大会27名参加、08.07～09長崎大会15名参加</p> <p>10.05 「自衛隊海外派遣抗議・佐川疑惑解明、政治腐敗防止を求める静岡県集会」(やすらぎの塔前) 1,000名参加</p> <p>10.27 憲法擁護静岡県民連合第13回総会(静岡・県教育会館)</p> <p>11.～ 「食とみどりを守る静岡県民会議」、署名・学習会、街頭宣伝、イベントの取り組み</p> <p>11.15 第17回母と女性教師の会静岡県集会</p> <p>11.18 県評センター第4回定期総会(静岡・勤労者総合会館)</p> <p>11.30 老人医療施設と特別養護施設を訪問し、高齢者福祉・医療の在り方について学習</p> <p>12.01 県社会党支持労組会議第3回定期総会</p> <p>12.一 「食とみどりを守る県民会議」「林政共闘会議」富士国有林視察、営林署、自治体交渉(関係自治体)</p> <p>12.07 食とみどりを守る県民会議第9回総会(静岡)</p> <p>12.08 「PKO法案」の廃案と憲法を生かす国際協力の実現を求める12.8緊急静岡集会(駿府公園)</p> <p>12.10 県安全センター第24回総会(静岡・鷹匠会館)</p> <p>12.11 連合静岡第3回定期大会(静岡・勤労者総合会館)</p>
1993 (H05)	<p>03.01 被爆39周年3.1ビキニデー全国集会(静岡市)</p> <p>03.08 低レベル廃棄物搬出反対の申し入れ(浜岡原発)</p> <p>03.24 県労農市民会議「食・みどりを守る県民会議講演会(静岡市)</p> <p>05.01 第64回メーデー</p> <p>05.03 5.3護憲静岡県中央行動、街頭宣伝行動(ティッシュ・チラシ配布)</p> <p>05.08 森林と環境を考える県民の集い</p> <p>05.14 護憲静岡中央集会(静岡・勤労者総合会館)</p> <p>06.01 「政治改革・比例代表選挙制度の実現、カンボジアのPKO派遣要員の撤収を求める静岡県中央集会」(駿府公園) 1,300名参加</p> <p>08.04～09 被爆48周年原水禁世界大会(広島・長崎) 32名参加</p> <p>09.21～22 東海ブロック護憲学校(伊豆長岡) 40名参加</p> <p>09.30 「静岡連帯する会」準備会結成(静岡・県評会館)</p> <p>10.02～03 原水禁「反プルトニウム」「止めようもんじゅ」全国集会(敦賀)</p> <p>10.04 日朝友好静岡県民会議第4回総会(静岡・あざれあ)</p> <p>10.14 連合静岡第4回定期大会(静岡・あざれあ) 事務局長/石井水穂(電機連合・97年10月まで)</p> <p>10.15～16 緑を守る県民会議「山を見る会」(天城山国有林)</p> <p>10.26 憲法擁護静岡県民連合第14回定期総会(静岡・県評会館)</p>

	<p>員長/前島秀行、副委員長/長田央・三石久江・石垣隆司、書記長/寺田伊勢男、副書記長/山下登、奥川宏</p> <p>04.16 田辺委員長、朝鮮民主主義人民共和国を訪問</p> <p>04.22 党、「国際平和協力業務及び国際援助業務の実施等に関する法案要綱」まとめる</p> <p>05.31 藤枝市長選挙、八木金平(推薦)当選</p> <p>06.15 社会・社民連両党、所属全代議士141人の議員辞職願を桜内衆議院議長に提出</p> <p>06.21 下田市長選挙、池谷淳(無・推)当選</p> <p>07.09 党、8兆円規模の「緊急経済対策の基本方針」発表</p> <p>07.26 第16回参議院選挙地方区、青木薪次当選(4期目) 433,381票</p> <p>08.24 田辺委員長、訪中し呉学謙副首相と会談</p> <p>09.06～14 党県本部訪朝団派遣</p> <p>09.13 党欧州代表団、ドイツ・ベルギー・フランス・イギリス4カ国訪問に出発</p> <p>10.22 党・社民連、衆院で統一会派を結成することで合意</p> <p>11.08～12.08 党県本部、県下市町村縦断佐川急便疑惑追及キャンペーン</p> <p>11.12 党、「金権腐敗政治に怒る国民集会」を開催</p> <p>12.09 社・公・民、佐川急便疑惑の徹底究明決議案を桜内衆議院議長に提出</p> <p>12.24 田辺委員長、辞意を表明</p> <p>市・町・村議選挙 (1月・御殿場市、4月・浜北市、10月・天竜市)</p>	<p>05.20 在日韓国・朝鮮人や永住外国人対策の指紋押なつ廃止の改正外登法が成立</p> <p>05.22 日本新党結成(代表細川護熙)</p> <p>06.02 国労全国代表者会議、中労委のJR採用差別問題「解決案は受諾できないとして、中労委に早急に命令を出すよう求める方針を確認</p> <p>06.11 衆院国際平和協力委で PKO 法案を強行可決(8.10 施行)</p> <p>07.26 第16回参議院選挙(比例代表区 50=社会 10、自民 19、公明 8、共産 4、日本新 4、民社 3、第二院ク 1、スポ平 1、選挙区 77=社会 12、自民 50、公明 6、共産 2、民社 1、諸派 2、無所属 4)</p> <p>08.24 韓国、中国と国交樹立</p> <p>09.12 公立学校で毎月第2土曜日を休業日とする月1回の学校週5日制スタート</p> <p>10.01 自衛隊の海外派遣に抗議し、佐川疑惑の徹底究明・政治腐敗防止を要求する 10・1 中央集会(日比谷野音)</p> <p>10.12 中国共産党第14回大会開幕、江沢民総書記が社会主義市場経済へ転換を提案</p> <p>10.18 止めよう「もんじゅ」全国集会(敦賀市)</p> <p>10.29 「社会党と連帯する労働組合会議」結成総会</p> <p>10.30 大蔵省、都市銀行の不良債権総額(9月末)は12.3兆円と発表</p> <p>11.02～04 第29回護憲国民大会(群馬県・水上観光会館)</p> <p>12.28 共産党、野坂参三名誉議長の除名処分を発表</p>
	<p>01.19 党臨時党大会、山花書記長の委員長就任を承認、赤松書記長らを選出</p> <p>01.24 三島市長選挙、白方圭一(無・推)落選</p> <p>02.01 下田ドックに党国会調査団</p> <p>02.16 党、第3次「シャドーキャビネット」を設置</p> <p>03.02 社・公両党、小選挙区比例代表併用制の導入などの政治改革関連法案の共同提案に合意</p> <p>03.06 松永忠二追悼集会(藤枝市体育館)</p> <p>03.28 党県本部第86回定期大会(静岡・ふしみやビル) 委員長/前島秀行、副委員長/長田央・三石久江・石垣隆司、書記長/寺田伊勢男、副書記長/奥川宏</p> <p>05.13 社会党、「93年宣言」(仮称)草案まとめる</p> <p>05.21 党PKO調査団が帰国</p> <p>05.29 党県本部「政治改革学習会」(静岡ふしみやビル)</p> <p>07.11 金谷町長選挙、孕石義朗(無・推)当選</p> <p>07.18 第40回衆議院選挙(静岡)、3名立候補、松前仰・</p>	<p>01.01 欧州共同体(EC)発足</p> <p>01.03 米・ロシア両大統領、第2次戦略兵器削減条約(STARTII)に調印</p> <p>01.20 米大統領に民主党ビル・クリントン就任</p> <p>03.06 元自民党副総裁の金丸信、脱税容疑で逮捕</p> <p>03.08 総評センター解散</p> <p>03.27 江沢民中国共産党総書記、国家主席に就任</p> <p>05.26 日本の森林・林業を考え、再建を訴える国民大会</p> <p>06.18 宮沢内閣不信任案が可決、衆議院解散(嘘つき解散、政治改革解散)</p> <p>06.21 新党さきがけ結成(代表武村正義)</p> <p>06.23 新進党結成(党首羽田孜)</p> <p>07.12 北海道南西沖地震、奥尻島で死者176人</p> <p>07.18 第40回衆議院議員総選挙(社会 70、自民 223、新生 55、公明 51、日本新 35、民社 15、共産 15、さきがけ 13、社民連 4、無所属 30)</p>

	<p>11.10～12 県労農市民会議「食とみどり、水を守る」チラシ配布、街頭宣伝</p> <p>11.11 静岡県平和・国民運動センター結成、会長/菊田昭（県教組・98年12月まで）、事務局長/石垣隆司（専従・97年12月まで）、運動構成は、原水禁静岡県民会議、憲法擁護静岡県民連合、県退職者高齢者の会、日朝友好静岡県民会議、公害対策静岡県連絡会議、食とみどり・水を守る労農市民会議、みどりを守る県民会議、静岡県造船反共闘会議、部落解放共闘会議、静岡県解放戦士顕彰会、東海ブロック県評センター連絡会議</p> <p>11.21 第18回母と女性教師の会静岡県集会</p> <p>11.30 高齢者福祉・医療の在り方について学習</p> <p>12.01 社会党支持労組会議第4回（解散）総会、</p> <p>12.01 「連帯する静岡県労働組合会議」（静岡県労働組合）結成、議長/太田賀津雄（全通・95年12月まで）、事務局長/石垣隆司（専従・97年12月まで）、党はこれにオブザーバーとして参加（静岡・県勤労者総合会館）</p> <p>12.07 食とみどりを守る県民会議第10回総会（静岡）</p> <p>12.15 県評センター解散記念集会（静岡・ターミナルホテル）</p>
1994 (H06)	<p>03.01 被災40周年3.1ビキニデー（県勤労者総合会館）</p> <p>04.22 AWACS 浜松基地配備に反対する市民の連絡会結成（浜松）</p> <p>05.01 第65回メーデー</p> <p>05.03 憲法擁護静岡県民連合街頭宣伝活動（静岡・呉服町）</p> <p>05.17 「どうするコメ・農林業再建・食と環境を守る東海ブロック集会」（浜松市）</p> <p>05.18 シンポジウム「緑豊かな森林づくりをめざして」（あざれあ）</p> <p>06.18 AWACS 浜松基地配備に反対する市民集会（浜松）</p> <p>07.29 原水爆禁止静岡県民会議1994年度総会（静岡・県評会館）</p> <p>08.04～09 被爆48周年原水禁世界大会（広島・長崎）</p> <p>10.08 AWACS 浜松基地配備に反対する市民集会（浜松）</p> <p>10.14 憲法擁護静岡県民連合第15回定期総会（静岡・県評会館）</p> <p>10.30 シンポジウム「清流の自然・流域の産業と暮らし」（掛川市）</p> <p>11.07 「平和と暮らしを守る静岡県民集会」（静岡市）講師・前田康博</p> <p>11.18 WACS 浜松基地配備に反対する署名提出（44,915筆）</p> <p>11.20 第19回母と女性教師の会静岡県集会</p> <p>11.25～26 連合静岡第5回定期大会（舘山寺・エンパイア）</p> <p>11.29 連帯する労組会議第2回定期総会（静岡・県評会館）地域組織は、3月～10月にかけて静岡地区、榛北地区、磐田地域、掛川・小笠、熱海市で結成</p> <p>11.29 静岡県平和・国民運動センター第2回定期総会（静岡・県評会館）</p> <p>11.30 連帯する県労働組合、社会党県本部と定期協議</p>

	<p>前島秀行の2名が当選</p> <p>07.26 清水市長選挙、宮城島弘正（無・支持）当選</p> <p>08.01 県知事選挙、石川嘉延（無・推）当選</p> <p>08.04 党、シャドーキャビネット解散</p> <p>08.06 土井たか子元社会党委員長、初の女性衆院議長就任</p> <p>08.09 細川内閣の党関係入閣者は伊藤茂運輸相・五十嵐広三建設相・上原康助北海道・沖繩開発庁長官兼国土庁長官・佐藤観樹自治相・久保田真苗経企庁長官・山花貞夫特命相（政治改革担当）</p> <p>08.12 山花委員長辞意表明、久保亘氏が委員長代行</p> <p>09.12 掛川市長選挙、榛村純一（無・推）当選</p> <p>09.19 党県本部第87回臨時大会（クーポール会館）</p> <p>09.19 長泉町長選挙、柏木忠夫（無・推）当選</p> <p>09.20 委員長選、村山富市国会対策委員長が当選</p> <p>09.27 葦山町長選挙、渡辺文三（無・推）当選</p> <p>10.04 袋井市長選挙、豊田舜次（無・推）当選</p> <p>10.14 岩垂寿喜男・国弘正雄・社民連の田英夫・無所属の岡崎宏美氏ら衆参両院議員10人が、護憲を掲げる「リベラル会」の発足決める</p> <p>12.06 湖西市長選挙、山下昌寛（無・推）当選</p> <p>12.21 党「デモクラッツ」、結成総会</p> <p>市・町・村議選挙 （9月・長泉町・雄踏町・葦山町補選、10月・金谷町）</p>	<p>08.04 河野洋平官房長官が、河野談話を発表</p> <p>08.09 細川護熙内閣発足（日本新党代表）</p> <p>08.10 細川首相、「先の戦争は侵略戦争」と明言</p> <p>10.02 「プルトニウム利用を許さない全国集会」原水禁主催（敦賀）</p> <p>10.03 「止めよう“もんじゅ”全国集会」（敦賀）</p> <p>10.07～08 連合第3回定期大会</p> <p>11.02～04 第30回護憲全国大会（徳島県・徳島市）</p> <p>11.06 細川首相、韓国訪問、金泳三大統領と対談</p> <p>11.08 東京高裁、第3次横田基地騒音公害訴訟で夜間飛行停止の和解案提示</p> <p>11.10 「米など農産物の市場開放阻止、食料自給と安全を求める11.10緊急国民集会」（上野水上音楽堂）</p> <p>12.14 日本政府、各国からの米輸入を決定（1993年米騒動）</p>
	<p>02.04 党、細川首相発表の国民福祉税創設の受入れを拒否</p> <p>03.26～27 党県本部第88回定期大会（伊豆長岡・富士見ハイツ）委員長/前島秀行、副委員長/酒井邦夫・太田賀津雄・松岡紋子、書記長/寺田伊勢男、副書記長/山下登・奥川宏</p> <p>04.24 党県本部「政経セミナー」（静岡ターミナルホテル）</p> <p>04.26 村山委員長、連立政権からの離脱を表明</p> <p>05.29 党中央委員会、羽田内閣の自主的総辞職による第3次連立政権構想を了承</p> <p>06.24 党、連立与党との政権協議を打ち切り</p> <p>06.27 村山委員長・河野自民党総裁、緊急会談</p> <p>06.27 党・新党さきがけ、ハト派政権構想で合意</p> <p>06.30 村山委員長連立政権の首相就任</p> <p>08.01 党都道府県代表者会議、村山連立政権発足の経緯の書記長報告を了承</p> <p>08.30 党、軍縮プログラム「平和への挑戦」（草案）まとめる</p> <p>08.31 党有志議員、「新民主連合」結成</p>	<p>01.29 政治改革4法成立</p> <p>04.20 「自由党」結成</p> <p>04.08 細川護熙首相、辞任を表明</p> <p>04.25 新生党、公明党、社会党など連立政権</p> <p>04.26 南アフリカ黒人政党のマンデラ大統領就任</p> <p>04.28 羽田孜連立内閣、社会党抜きで発足</p> <p>06.25 羽田孜内閣、総辞職</p> <p>06.27 オウム真理教、松本サリン事件発生</p> <p>06.29 衆参両院本会議、村山社会党委員長を後継首相に指名</p> <p>06.30 村山内閣発足</p> <p>07.08 金日成北朝鮮主席死去</p> <p>07.20 村山首相、衆院代表質問答弁で「自衛隊は憲法の範囲内と認識」と表明</p> <p>07.23 村山首相、訪韓し金泳三大統領と会談</p> <p>08.24 村山首相、東南アジア4カ国歴訪、従軍慰安婦問題で「おわびと反省」を表明</p> <p>08.29 ロシア軍、旧東ドイツとバルト諸国から撤退</p> <p>08.31 村山首相、戦後50周年に向け談話発表</p> <p>10.06 連合第17回中央委員会、会長に芦田会長代行を</p>

	<p>12.04 中電浜岡原発1号炉で放射能漏事故</p> <p>12.07 食とみどりを守る静岡県民会議第11回総会（静岡・県評会館）</p>
<p>1995 (H07)</p>	<p>02.16～17 緑を守る県民会議・山を見る会（沼津営林署館内）</p> <p>03.01 被災41周年3.1ビキニデー</p> <p>05.03 5.3護憲中央行動（静岡市で署名活動）</p> <p>05.17 「平和とくらしを守る静岡県民集会」（静岡市）</p> <p>07.28 原水爆禁止静岡県民会議1995年度総会（静岡・県評会館）</p> <p>08.04～09 被爆50周年原水禁世界大会（広島・長崎）</p> <p>09.01 フランス・中国の核実験反対静岡県集会（駿府公園）</p> <p>09.19 食料の安全と環境を考える東海ブロック集会（岐阜勤労福祉センター）</p> <p>09.25 民主リベラル新党結成推進労組会議（静岡・日興会館）</p> <p>10.06～08 「戦後50年を考える市民平和フォーラム」</p> <p>6日記念講演・講師和田春樹</p> <p>7日南京大虐殺に関する資料とパネル展・ジャズコンサート</p> <p>8日マラソントーク「私の8月15日」</p> <p>10.24 憲法擁護静岡県民連合第14回定期総会（静岡・県評会館）</p> <p>10.27 連合静岡第6回定期大会（静岡・総合福祉会館）</p> <p>10.31 日朝友好静岡県民会議第6回総会（静岡・労政会館）</p> <p>11.12 緑を守る県民会議・ブナ原生林を訪ねる「自然観察会」（函南町）</p> <p>11.19 第20回母と女性教師の会静岡県集会</p> <p>11.30 連帯する静岡労働組合会議第3回総会、議長/杉山昭（自治労・97年12月まで）、事務局長/石垣隆司（専従）</p> <p>11.30 静岡県平和・国民運動センター第3回定期総会（静岡・県評会館）</p> <p>12.04 食とみどりを守る静岡県民会議第12回総会（県評会館）／「食量・農業・農村基本法についての学習会」（静岡・県教育会館）</p>

<p>09.02 党臨時大会、「当面の政局に望むわが党の基本姿勢」を承認</p> <p>11.28 村山首相、久保社会党書記長と新党問題で協議</p> <p>12.06 党、「95年宣言」草案まとめる</p> <p>12.18 党都道府県代表者会議、早期の臨時党大会開催を求める党務報告を了承</p> <p>市・町・村議選挙</p> <p>（1月・菊川町、4月藤枝市）</p>	<p>選出</p> <p>10.21 米朝高官協議、軽水炉転換など包括合意調印</p> <p>10.31 李鵬中国首相、韓国を初訪問、金泳三大統領と会談</p> <p>11.01～3 第31回護憲全国大会（岩手県・盛岡市）</p> <p>11.14 村山首相・クリントン米大統領・金泳三韓国大統領、ジャカルタで緊急会談</p> <p>11.15～16 緑の国民会議第20回総会（長野県上田町）</p> <p>11.21 衆院小選挙区区割り法成立</p> <p>11.25 税制改革関連法成立</p> <p>12.07 元従軍慰安婦への「女性」のための「アジア平和友好基金」設立で合意</p> <p>12.09 原爆被爆者援護法成立</p> <p>12.10 新進党結成（党首海部俊樹・代表幹事小沢一郎）</p> <p>12.25 衆議院の小選挙区比例代表並立制による選挙制度施行</p> <p>12.27 国労と国鉄清算事業団、202億円損害賠償訴訟和解成立</p>
<p>02.13 新たな政治選択をめざす85年政治フォーラム（焼津グランドホテル）</p> <p>04.09 第24回県議員選挙、公認6推薦3、公認3、推薦3当選</p> <p>07.23 第17回参議院選挙、静岡選挙区櫻井規順、次点</p> <p>09.15 党県本部、総支部・支部・支持団体代表者会議（労政会館）</p> <p>09.21 党第63回臨時大会（党本部）</p> <p>11.20 党久保書記長、新党づくりの見解発表</p> <p>11.23 山口鶴男元総務長官ら「新党構想」に反対表明</p> <p>11.23 党県本部第89回臨時大会（静岡・クーポール）</p> <p>12.12 党都道府県代表者会議で、久保書記長が1月新党結成を不退転の決意で臨むと表明</p> <p>12.15 党中央執行委員会が96年1月の新党結成大会を先送りすると決定</p> <p>12.21 党、住宅金融専門会社（住専）処理問題で調査チーム結成</p> <p>12.22 山花貞夫・海江田万里氏らが「市民リーグ」を旗揚げ</p> <p>市・町・村議選挙</p> <p>（4月統一、静岡市・掛川市・熱海市・富士市・三島市・富士宮市・下田市・浜松市・磐田市・清水市・島田市・菟山町・函南町・修善寺町・小山町・豊田町・水窪町・新居町・戸田村、7月・細江町・南伊豆町、9月・袋井・伊東市）</p>	<p>01.01 世界貿易機関（WTO）発足</p> <p>01.17 阪神・淡路大震災発生</p> <p>03.20 地下鉄サリン事件発生、13人が死亡、5,510人が重軽傷</p> <p>07.10 ミャンマー軍事政権がアウンサンスーチーの自宅軟禁解除</p> <p>07.23 第17回参議院議員選挙投票（社民16、自民46、新進40、公明、さきがけ3、共産8、民主改革1、二院ク1、平和市民1、無所属9）</p> <p>08.15 村山首相、アジア諸国に植民地支配と侵略を謝罪</p> <p>09.02 「核のない地球を！ストップ核実験1万人集会」（東京）</p> <p>09.04 沖縄で母子3人が米兵隊員車にはねられ死亡、同日沖縄米兵少女暴行事件発生</p> <p>09.05 フランス、南太平洋で核実験強行</p> <p>10.05～06 連合第4回定期大会、会長・芦田甚之助</p> <p>10.17 「米兵による少女暴行事件を糾弾し日米地位協定改正を求める市民集会」（東京）</p> <p>10.21 沖縄米兵少女暴行事件に抗議する沖縄県民総決起大会開催</p> <p>11.01 新食糧法施行、米の販売が原則自由化</p> <p>11.01～03 第32回護憲全国大会（富山市・総合体育センター）</p> <p>12.08 高速増殖原型炉「もんじゅ」のナトリウム漏洩事故発生</p> <p>12.11 新潟水俣病患者団体と昭和電工が和解成立</p>

1996 (H08)	<p>02.05 浜松市に「AWACS 及び空中給油機に関する申入れ」(浜松)</p> <p>03.01 被災 42 周年 3.1 ビキニデー (静岡・勤労者総合会館)</p> <p>05.25 米軍基地の機能強化・拡大に反対する東富士集会 (御殿場・西沢解放地)</p> <p>06.13 食とみどりを守る東海ブロック集会 (静岡・労働会館)</p> <p>05.26 藤枝市長選、八木金平 (無・推) 当選</p> <p>06.23 下田市長選、池谷淳 (無・推) 当選</p> <p>07.29 原水爆禁止静岡県民会議総会 (静岡・労働会館)</p> <p>07.26 「山を見る会」食とみどりを守る静岡県民会議主催 (千頭国有林) / 運輸省・静岡空港の設置認可</p> <p>08.04～09 原水禁世界大会広島・長崎大会</p> <p>08.ー 21 世紀の郵便局を考えるシンポジウム</p> <p>09.26 袋井市長選、豊田舜次 (無・推) 当選</p> <p>10.08～09 連合静岡第 7 回定期大会 (伊東・伊東市観光会館)</p> <p>10.20 第 41 回衆議院選挙、初の小選挙区制度、1 区松永広次・5 区前島秀行・7 区菊池薫が立候補したが選挙区ではいずれも落選、前島秀行は比例で当選</p> <p>11.10 沼津市長選、斉藤衛 (無・推) 当選</p> <p>11.25～27 食とみどりを守る全国交流会 (浜松・館山寺)</p> <p>12.06 食とみどりを守る静岡県民会議第 13 回総会 (静岡・労働会館)</p>
1997 (H09)	<p>01.20 日朝友好静岡県民会議第 13 回総会 (静岡・労働会館)</p> <p>02.08 米海兵隊 104 号線越え実弾砲撃訓練反対集会 (御殿場)</p> <p>02.28 被災 43 周年 3.1 ビキニデー (静岡・労政会館)</p> <p>03.26 連帯する静岡県労働組合会議第 4 回定期総会</p>

<p>01.05 村山富市委員長、首相退陣を表明</p> <p>01.14 党委員長選挙で村山委員長再選</p> <p>01.14 党県本部第 90 回臨時大会 (静岡・クーポール)</p> <p>01.19 党第 64 回定期大会 / 党名変更し社会民主党 (社民党) に、党首・村山富市、幹事長・佐藤観樹</p> <p>02.22 社民党「NTT の分離分割」に反対の見解</p> <p>03.02 党県本部第 91 回臨時大会 (静岡・クーポール)</p> <p>03.09 社会民主党第 1 回定期大会</p> <p>03.23 社会民主党静岡県連合第 1 回定期大会 (静岡・クーポール) 代表/前島秀行、副代表/酒井邦夫・太田賀津雄・松岡紋子、幹事長/寺田伊勢男、副幹事長/山下登・内野茂</p> <p>04.08 社民党・新党さきがけによる新党結成は困難と判断</p> <p>04.17 新党結成静岡県準備会 (ルネッサ稲取)</p> <p>05.26 藤枝市長選、八木金平 (無・推) 当選</p> <p>06.20 社民党、次期総選挙との対応で「労組との運命共同体の時代は終焉しつつある」との認識</p> <p>06.23 下田市長選、池谷淳 (無・推) 当選</p> <p>07.13 社民党と市民の交流する集い・村山富一前首相 (三島)</p> <p>07.13 「社民党とともに公的介護保険制度を考える県民の集い・講師樋口恵子東京家政大学教授 (静岡)</p> <p>09.10 「日本社会党史」発売</p> <p>09.23 全国代表者会議で党が大勢として新党に移行することを断念し、衆院選を社民党で闘い、立候補予定者が民主党に参加することを拒まないと決定</p> <p>09.26 袋井市長選、豊田舜次 (無・推) 当選</p> <p>10.20 第 41 回衆議院選挙、初の小選挙区制度、1 区松永広次・5 区前島秀行・7 区菊池薫が立候補したが選挙区ではいずれも落選、前島秀行は比例で当選</p> <p>11.10 沼津市長選、斉藤衛 (無・推) 当選</p> <p>11.28 党県連合、社民党と連帯する労組会議との三役会議 (あなごや)</p> <p>12.22 党第 2 回臨時大会 / 党首・土井たか子、幹事長 / 伊藤茂</p> <p>市・町議選挙 (4 月・浜北市、10 月・天竜市)</p>	<p>01.01 矢田部理参議院議員ら 5 人が「新社会党・平和連合」を結成</p> <p>01.05 村山富市首相、退陣を表明</p> <p>01.11 橋本龍太郎内閣発足</p> <p>02.03 地域の政党・政治団体 (J ネット) が発足</p> <p>02.16 菅直人厚相、薬害エイズ事件で血友病患者に直接謝罪</p> <p>03.02 新社会党第 1 回定期大会、矢田部理委員長、山口哲夫書記長選出</p> <p>03.15 政府エイズ薬害訴訟の和解案受け入れ</p> <p>04.01 「らい予防法の廃止に関する法律」施行</p> <p>05.23 「民主リベラル新党結成推進会議」鳩山・船田新党構想支援確認</p> <p>06.08 中国が核実験</p> <p>06.18 住宅金融専門会社 (住専) 処理法案・金融 4 法案成立</p> <p>08.14 橋本首相が、従軍慰安婦問題でフィリピンに謝罪</p> <p>09.10 国連総会で包括的核実験禁止条約 (CTBT) が採択</p> <p>09.19 「社民党と連帯する労組会議」と「民主リベラル新党結成労組会議」が民主党を軸に空白区で社民党・新党さきがけを支持と決定</p> <p>09.26 母体保護法が施行</p> <p>09.28 民主党結成 (代表人菅直人・鳩山由紀夫)</p> <p>10.20 第 41 回衆議院議員総選挙、小選挙区比例代表並立制による初の選挙 (社民 15、民主 52、自民 239、新進 156、公明、日本新 35、共産 26、民主改革 1、無所属 9)</p> <p>11.05 第 2 次橋本内閣発足</p> <p>11.ー 第 33 回護憲全国大会 (北海道・札幌市)</p>
<p>01.26 三島市長選、石井茂 (無・推) 当選</p> <p>03.09～12 土井党首を団長に訪中団派遣</p> <p>03.09 民主党静岡設立総会 (クーポール)</p> <p>04.13 党県連合第 2 回臨時大会 (静岡・クーポール)</p>	<p>01.02 ナホトカ号重油流出事故</p> <p>01.21 連合 2 兆円特別減税の継続と医療費負担増凍結を求め「怒りの緊急集会」日比谷野音</p> <p>03.11 東海村放射能漏れ事故、作業員が被爆</p>

	<p>03.26 静岡県平和・国民運動センター第4回定期総会</p> <p>04.27 「さわやかネット・しずおか」を結成（社民党、自治体議員団、連帯する県労働組合会議、電機連合、金属機械、福祉団体、女性団体、勤労者協議会などに働きかけ、新党準備会で組織）</p> <p>05.25 米軍基地の機能強化・拡大に反対する東富士集会</p> <p>07.30 原水爆禁止静岡県民会議 1997年総会（静岡・労働会館）</p> <p>08.04～09 原水禁世界大会広島・長崎大会</p> <p>09.05 自衛隊浜松基地司令に「配備反対と空中給油機導入計画撤回」を申入れ（浜松）</p> <p>09.25 「公的介護保険を考えるフォーラム」（クーポール）</p> <p>10.23～24 連合静岡第8回定期大会（伊東・伊東市観光会館）会長/石井水穂（電機連合・2005年10月まで）、事務局長/鈴木和明（金属機械・2003年10月まで）</p> <p>12.02 連帯する静岡県労働組合会議第5回定期総会（静岡・労働会館）名称を「民主リベラル静岡県労働組合会議」に改称、議長/市川邦雄（自治労・99年12月まで）、事務局長/太田賀津雄（専従・99年12月まで）</p> <p>12.02 静岡県平和・国民運動センター第5回定期総会（静岡・労働会館）</p> <p>11.19 日朝友好静岡県民会議第8回総会（静岡・労働会館）</p> <p>12.11 憲法フォーラム決起集会「歌と憲法を語る夕べ」講師・前田哲男</p> <p>12.12 食とみどりを守る静岡県民会議第14回定期総会（静岡・労政会館）</p>
1998 (H10)	<p>02.08 在沖縄米海兵隊実弾砲撃演習東富士移転に抗議する県民集会（御殿場）</p> <p>02.27 被災44周年3.1ビキニデー</p> <p>03.09 「航空自衛隊浜松基地へのAWACS配備反対」申し入れ（浜松基地司令・浜松市）</p> <p>03.15 「AWACSはいらない！市民の集い」（浜松）</p> <p>06.04 民主的公開ヒアリング開催を求める要請行動（浜岡町）</p> <p>07.22 食とみどりを考える会幹事会、食とみどり・水を守る静岡労農市民会議に組織変更を確認</p> <p>07.30 原水爆禁止静岡県民会議 1998年総会（静岡・労働会館）</p> <p>08.04～09 原水禁世界大会広島・長崎大会</p> <p>10.16 連合静岡第9回定期大会（浜松・アクトシティー浜松）</p> <p>11.21 異議あり新ガイドライン！米艦船の清水港入港に反対する県民集会（清水マリナーパーク）</p> <p>12.04 食とみどりを守る静岡県民会議第15回定期総会／食とみどり・水を守る静岡労農市民会議 1998年総会（静岡・クーポール会館）</p> <p>12.06 「戦争と平和を考える12月集会」（浜松）</p> <p>12.21 民主リベラル労組会議第6回定期総会（静岡・労働会館）／静岡県平和・国民運動センター第6回定期総会（静岡・労働会館）議長/市川邦雄（自治労・2003年12月まで）、事務局長/太田賀津雄（専従・2009年12月まで）</p>

	<p>04.11 党・労組OB有志の集い、がんばれ社民党OBGの会設立へ</p> <p>04.19 党第3回定期大会、当面与党として社民党らしい政策の実現を図る方針決定</p> <p>04.27 党県連合、自治体議員団、連帯する県労働組合会議、電機連合、金属機械、福祉団体、女性団体、勤労者協議会などに働きかけ、新党準備会組織「さわやかネット・しずおか」を結成</p> <p>06.22 党県連合第3回定期大会（静岡・クーポール）</p> <p>07.06 県知事選、石川嘉延（無・推）当選</p> <p>08.01 党、全国政策研究集会、地方組織から与党離脱とガイドライン見直しについて与党協議参加反対の意見相次ぐ</p> <p>08.21 社会主義インター副議長に土井党首推薦</p> <p>09.一 掛川市長選、榛村純一（無・推）当選</p> <p>10.06 おたかさん全国トークin浜松（浜松市勤労会館）</p> <p>10.27 党政審全体会議で与党3党の景気協議会に提案する「当面の景気対策」決定</p> <p>12.一 富士市長選、鈴木清見（無・推）当選 市・町議選挙 (9月・長泉町)</p>	<p>03.30 三井三池鉱山閉山</p> <p>04.01 消費税、3%から5%へ引き上げ</p> <p>04.02 最高裁、愛媛靖国神社玉串訴訟で違憲判決</p> <p>04.19 連合、構成組織・地方代表者合同会議で政党との関係を「産別自決」から「統一対応」に変更</p> <p>05.01 英総選挙で労働党勝利、ブレア首相就任</p> <p>07.01 香港、英から中国に返還</p> <p>07.30 「連帯する会」解散総会後「民主リベラル労組会議」を結成</p> <p>08.29 最高裁、第3次家永訴訟に判決</p> <p>09.18 対人地雷全面禁止条約を政府間会議で採択</p> <p>09.23 日米政府、有事を想定した日米防衛協力のための指針（新ガイドライン）決定</p> <p>10.08 金正日朝鮮労働党総書記に就任</p> <p>10.02～03 連合第5回定期大会、初の会長選挙で鷲尾悦也を選出</p> <p>10.26 「ストッププルトニウム全国集会」（東京・芝公園）</p> <p>11.03～05 第34回護憲全国大会（大分県・別府市）</p> <p>11.20 「異議あり新ガイドライン・有事立法いらぬ全国集会」（日比谷野音）</p> <p>12.17 介護保険法制定</p>
	<p>01.11 党改革を議論する「刷新委員会」初会合</p> <p>01.17 党県連合第4回臨時大会（静岡・クーポール）</p> <p>01.一 裾野市長選、大橋俊二（無・推）当選</p> <p>01.24 党第4回全国大会、橋本政権への閣外協力に一定の成果と総括</p> <p>02.27 土井党首、民主リベラル労組会議の後藤会長に「参院選は比例区は単独で、選挙区は非自民統一候補擁立に協力」と表明</p> <p>04.09 党県連合第5回定期大会（クーポール）代表/前島秀行、副代表/酒井邦夫・松岡紋子・櫻井規順、幹事長/寺田伊勢男、副幹事長/山下登・内野茂</p> <p>04.19 党県連合、参議院選挙闘争本部結成大会</p> <p>05.30 全国代表者・幹事長会議／橋本内閣に対する閣外協力解消</p> <p>06.22 青木薪次参院議員、離党届提出</p> <p>07.12 第18回参議院選挙、海野徹（無・推）当選</p> <p>07.12 伊東市長選挙、鈴木藤一郎（無・推）当選</p> <p>07.26 党全国代表者・幹事長会議／参院選は敗北と総括し臨時大会開催を決める</p> <p>08.02 静岡市長選挙、小嶋善吉（無・推）当選</p> <p>08.30 党第5回臨時大会で次期総選挙で反自民の選挙協力を進めることを決定</p> <p>09.06 熱海市長選挙、川口市雄（無・推）当選</p>	<p>01.07 民主党など野党6党、「民主友愛太陽国民会議（民友連）」結成を決定（約100人）</p> <p>02.20 イタリアで米偵察機、ロープウェー・ケーブルを切断、乗客20人死亡</p> <p>02.25 韓国金大中が大統領に就任</p> <p>03.03 連合鷲尾会長、社民党土井党首に「民友連による新党結成や統一名簿に参加」を要請</p> <p>04.27 民主党結成（代表菅直人）</p> <p>04.24 自民党が新しい日米ガイドラインに「周辺事態法」（仮称）を盛り込む事に反対を表明</p> <p>05.02 欧州連合（EU）首脳会議、99年1月単一通貨（ユーロ）への統合決定（11カ国2億9千万人参加）</p> <p>05.11 インド、地下核実験</p> <p>05.28 パキスタン、2度の核実験</p> <p>04.28 閣議、新ガイドラインに伴う周辺事態法案など3法案決定</p> <p>06.22 金融監督庁発足</p> <p>07.12 第18回参議院議員選挙投票（社民5、民主27、自民44、新進40、公明9、共産15、自由6、無所属20）</p> <p>07.30 小淵恵三内閣発足</p> <p>08.07 ケニアとタンザニアの米大使館で同時爆弾テロ</p>

1999 (H11)	<p>01.21 「異議あり新ガイドライン！米駆逐艦の清水港入港に反対する県民集会」 800 人参加 新ガイドラインの廃案を求める 100 万人署名活動を展開、新ガイドライン反対講師団学校を 開催</p> <p>01.26 日朝友好静岡県民会議総会</p> <p>02.20 連合静岡労働相談ダイヤル開設</p> <p>03.01 被災 45 周年 3.1 ビキニデー</p> <p>06.05 連合静岡・雇用・生活危機突破静岡県中央集会（静岡・青葉公園）</p> <p>06.13 「在沖縄海兵隊の県道 104 号越え実弾射撃訓練」抗議集会（御殿場・西沢解放地）</p> <p>06.24 民主リベラル労組会議の動向（中央は、平和フォーラムになり、原水禁、護憲、食とみどり・ 水を守る運動、部落開放同盟が所属、政党は加盟なし、個人は OK、静岡は「静岡県平和・国 民運動センター」で原水禁・護憲を取り組み、「友愛会」は解散したが「友愛クラブ」として 残す、民社協会も残す（太田事務局長談）</p> <p>07.30 原水爆禁止静岡県民会議 1999 年総会（静岡・労働会館）</p> <p>08.04～09 原水禁世界大会広島・長崎大会</p> <p>09.07 民主リベラル労組会議第 5 回幹事会で、平和フォーラム（仮称）設立など協議</p> <p>10.22 連合静岡第 10 回定期大会（静岡・ホテルアソシア）会長/石井水穂（電機連合）、事務局長/鈴 木和明（JAM 静岡）</p> <p>11.11 日朝友好静岡県民会議総会</p> <p>12.15 食とみどり・水を守る静岡労農市民会議 1999 年総会（静岡・労働会館）</p> <p>12.20 民主リベラル労組会議第 7 回定期（解散）総会</p> <p>12.20 静岡県平和・国民運動センター第 7 回定期総会</p>
2000 (H12)	<p>03.01 被災 46 周年 3.1 ビキニデー（静岡・県勤労者総合会館）</p> <p>05.03 憲法擁護静岡県民連合憲法擁護街頭行動（青葉イベント広場）</p> <p>08.04～09 原水禁世界大会広島・長崎大会</p> <p>09.06 沖縄 104 号線越え実弾砲撃演習反対行動</p> <p>10.17 日朝友好静岡県民会議第 11 回総会</p>

09.08 党、金融再生問題で基本方針発表	発生
11.19 土井党首訪独し、ボンでシュレッダー首相と会 談 市・町議選挙 (10月・河津町)	<p>10.07 金大中韓国大統領来日</p> <p>10.- 連合、労基法改革阻止国会ウオーキング1万人ア ピール</p> <p>10.27 ドイツ、社民党シュナイダー政権発足</p> <p>11.25 中国江沢民国家主席来日</p> <p>11.- 第35回護憲全国大会（神奈川県・横浜市）</p>
02.06 「社民党全国キャラバンin富士」（「市民と語る 介護保険制度」講師・土井たか子） 第2部「土井党首は訴える」集会	01.01 欧州連合、単一通貨ユーロ導入
02.13 党、新ガイドライン学習会	01.14 自公連立による小渕第1次改造内閣発足
03.- 党県連合、社会民主主義とともに・市民の地域政 策プログラム（市民の地域政策プログラム策定 委員会）発行	03.01 対人地雷全面禁止条約発効
04.11 第25回県会議員選挙、7名の候補者が無所属で立 候補、全員当選	04.14 ユーゴスラビアでNATO軍誤爆、死者70人
04.16 県議会新会派結成総会	05.11 労働者派遣法・商業安定法改革に反対し、中小 労組が衆院会館前に坐り込み
04.17 富士宮市長選挙、渡辺紀（無・推）当選	05.21 民主・リベラル労組会議解散総会
04.25 浜松市長選挙、北脇保之（推薦）当選	05.24 周辺事態法・防衛指針法（日米新ガイドライン 法）成立
04.26 新ガイドラインに対する院内集会	06.23 男女共同参画社会基本法成立
06.06 全国幹事長会議	08.09 国旗・国歌法成立
08.01 焼津市長選挙、望月誠（無・推）落選	08.12 組織犯罪対策三法（通信傍受・処罰・規制）
09.27 土井党首を団長に訪中団出発	08.17 トルコ大地震発生、犠牲者10,000人以上
09.29 党、国会報告会（袋井総合センター）	09.30 東海村の「JCO」で臨界事故発生、作業員49人 被爆
10.01 訪中団、中国建国50周年記念行事出席	10.05 第2次小渕内閣発足
11.02 社会主義インター・パリ大会で土井党首が副議 長に就任	10.12 改正住民基本台帳法成立
11.28 党県連合、先進的な党活動を学ぶ学習会（浜松 牛山会館）	10.14～15 連合第6回定期大会・結成10周年式典
11.30 「がんばれ社民党OB・OGの会」設立	10.22 「フォーラム平和・人権・環境（略称・平和フォー ラム）」設立 設立趣旨（要旨） 「地球規模で考え、地域から行動する。私たち は、21世紀を展望して、反核・平和・人権・環境、 そして食料問題などの運動を有機的に結合し、 広く市民にも開かれた運動の「公共財」として、 全国ネットワーク組織「フォーラム平和・人権・ 環境」を設立する」
12.01 村山元首相を団長に超党派の訪朝団出発 市・町議選挙 (4月統一、清水市・浜松市・富士市・沼津市・三 島市・静岡市・掛川市・富士宮市・函南町・小山町・ 水窪町・韮山町、7月・細江町、9月・袋井市・伊東 市)	11.- 第36回護憲全国大会（沖縄県・那覇市）
	11.17～19 食とみどり・水を守る全国集会（神戸市）
	12.20 マカオ、ポルトガルから中国に返還
	12.31 ロシア・エリツィン大統領辞任、代行プーチン首 相
	12.31 パナマ運河アメリカからパナマに返還
02.10 前島秀行県連合代表急逝、13日合同葬	03.01～2 フォーラム平和・人権・環境全国活動者会議 (静岡・勤労者総合会館)
02.23 国会で初めての党首討論で土井党首、連立与党 の国会運営質す	03.26 ロシア大統領にウラジミール・プーチン当選
02.26 党第6回全国大会「頑固に平和・元気に福祉―総 選挙勝利、ひらこう21世紀―」	04.01 介護保険制度スタート
	04.05 森喜朗内閣発足

	<p>10.20 連合静岡第 11 回定期大会 (静岡・ホテルセンチュリー)</p> <p>10.24 憲法擁護静岡県民連合第 21 回定期総会 (静岡・労働会館)</p> <p>11.01 カーティスウィルバー清水港入港反対集会 (三保海水浴場)</p> <p>11.10 連合静岡「生活改善・示そう力を」静岡行動 (駿府公園・やすらぎの塔前)</p> <p>11.17 静岡県平和・国民運動センター第 8 回定期総会</p> <p>11.17 県安全センター9 回定期総会 (静岡ステーションホテル)</p> <p>12.15 食とみどり・水を守る静岡労農市民会議 2000 年総会 (静岡・労働会館)</p>
2001 (H13)	<p>01.29 空中給油機の浜松基地配備反対の申し入れ</p> <p>03.01 被災 47 周年 3.1 ビキニデー全国集会</p> <p>04.26 「語ろう憲法・生かそうくらしに in 静岡」(主催・憲法フォーラム実行委・勤労者総合会館)</p> <p>04~05 改憲発言や歴史教科書問題を取り上げ宣伝車 4 台で県内街頭宣伝活動</p> <p>05.26『世直し!怒りの全国 1000 万人総行動・雇用と生活危機突破! 5.26 総決起集会』(連合静岡主催・青葉公園)</p> <p>06.22 「スーホーの白い馬」上映会 (磐田ゆやホール)</p> <p>07.一 浜岡原発 5 号炉圧力容器搬入反対行動</p> <p>07.31 原水爆禁止静岡県民会議 2001 年度総会 (静岡・労働会館)</p> <p>08.04~09 被爆 56 周年原水禁世界大会広島大会・長崎大会</p> <p>08.28~31 横須賀港母港の米戦艦ジョン S マッケン清水港入港に、知事・市長に反対表明と対応の要請</p> <p>09.09 「在沖縄米海兵隊県道 104 号越え実弾砲撃演習東富士移転抗議集会」(御殿場・市民会館)</p> <p>09.17 全国部落解放同盟静岡県交渉</p> <p>10.04 日朝友好静岡県民会議第 12 回総会</p> <p>10.10 「テロ・米報復軍事行動と自衛隊の海外派遣ノ即時中止を求める県民集会」(静岡)</p> <p>10.19 連合静岡第 12 回定期大会 (静岡・ホテルセンチュリー)</p> <p>10.25 憲法擁護県民連合の第 22 回定期総会、代表委員に酒井邦夫県連合代表・市川邦夫県平和センター会長</p> <p>11.07 中電浜岡原発 1 号機で原子炉建屋内に放射能を帯びた水蒸気漏れの事故</p> <p>11.09 中部電力に事故に対し抗議・申し入れ</p> <p>11.17 連合静岡「緊急雇用対策実現総決起集会」(駿府公園)</p> <p>11.28 静岡県平和・国民運動センター第 9 回定期総会 (静岡・労働会館)</p> <p>11.28 食とみどり・水を守る学習会</p> <p>12.13 食とみどり・水を守る静岡労農市民会議 2001 年定期総会 (静岡・労働会館)</p>

<p>03.12 勝間田清一を偲ぶ会 (沼津キャッスルホテル)</p> <p>03.21 党、民主・共産とともに、今夏施行予定の「通信傍受 (盗聴) 法」の廃止法案を参院に提出</p> <p>05.28 藤枝市長選挙、秋山一男 (無・推) 落選</p> <p>06.02 「がんばれ社民党しずおかの会」結成総会・会長 安間俊三 (労政会館)</p> <p>06.25 第 42 回衆議院選挙、静岡 5 区に菊池薫が立候補したが落選</p> <p>06.25 下田市長選挙、原秀三郎 (無・推) 落選</p> <p>07.29 党第 6 回全国大会 (続会)</p> <p>09.03 党県連合第 6 回定期大会 (静岡・クーポール)</p> <p>10.08 袋井市長選、豊田舜次 (無・推) 当選</p> <p>10.22 沼津市長選、斉藤衛 (無・推) 当選</p> <p>11.05 湖西市長選、山本昌寛 (無・推) 当選</p> <p>市・町議選挙 (2 月・浜北市)</p>	<p>05.15 5.15 沖縄平和行進 (沖縄)</p> <p>05.24 ストーカー規制法成立</p> <p>06.13 金大中韓国大統領、北朝鮮を訪問し「南北共同宣言」に両首脳が署名</p> <p>06.25 第 42 回衆議院議員総選挙、(社民 19、民主 127、自民 233、公明 31、自由 22、共産 20、保守 7、無所属の会 5、自由連合 1、無所属 15)</p> <p>07.20 沖縄嘉手納基地包囲行動 (沖縄・嘉手納)</p> <p>07.21 主要国首脳会議 (サミット・沖縄県名護市)</p> <p>08.14 ロシアの原子力潜水艦クルスク沈没、死者 118 人</p> <p>08.26 国労臨時大会、JR の不採用問題で解決案「4 党合意」の受け入れ可否を組合員の全員投票で決めることを決定</p> <p>09.03 ロシア・プーチン大統領来日</p> <p>10.27 台湾、原発の建設中止を決定</p> <p>11.01~03 第 37 回護憲全国大会 (福島県・福島市)</p> <p>12.06~07 食とみどり・水を守る全国集会 (花巻市)</p> <p>12.08 少年法改正施行、罰則対象年齢を 16 歳から 14 歳に引き下げ</p>
<p>01.08~14 土井党首、中国共産党の招待で訪中</p> <p>03.05 社会主義インターアジア太平洋委員会東京会議 (ホテルニューオータニ)</p> <p>05.02 「21 世紀の平和構築」(土井ドクトリン) を発表</p> <p>06.28 党、5・4・4 制への学制改革など教育改革案「21 世紀子どもルネサンス」発表</p> <p>07.29 第 19 回参議院選挙、静岡選挙区は民主党の榛葉 賀津也 (推薦) 当選</p> <p>09.09 掛川市長選、榛村純一 (無・推) 当選</p> <p>09.11 長泉町長選、柏木忠夫 (無・推) 当選</p> <p>10.07 米国への同時多発テロ事件を受け、自衛隊の海外派遣反対の街頭宣伝</p> <p>10.17 テロ特措法に反対する院内集会</p> <p>10.19 党県連合、「西欧の社会民主主義」学習会 (教育会館)</p> <p>10.27 党第 7 回定期大会 / 党首・土井たか子、幹事長・福島瑞穂</p> <p>12.09 党県連合第 7 回定期大会 (静岡・クーポール) 代表酒井邦夫、副代表松岡紋子・寺田伊勢男・野沢 洋・丘本信也、幹事長/山下登、副幹事長/内野茂</p> <p>12.11 党、NGO「ペシワール会医療サービス」に難民支援の募金 500 万円を贈呈</p> <p>12.20 党県連合、浜岡原発視察</p> <p>12.25 山本正和参院議員が社民党・護憲連合の会派を</p>	<p>01.06 中央省庁再編 (1 府 22 省庁が 1 府 12 省庁に)</p> <p>01.20 米大統領にジョージ・W・ブッシュ就任</p> <p>01.30 社民・民主・自由・無所属の 4 党が富山・徳島の 1 人区での選挙協力で合意</p> <p>03.26 連合・社民・民主・自由・無所属が夏の参院選統一候補を披露</p> <p>04.01 情報公開法施行</p> <p>04.26 小泉純一郎内閣発足</p> <p>05.11 熊本地裁、ハンセン病患者の隔離政策を続けた国の責任を認め総額 18 億円余の賠償命令</p> <p>05.15 5.15 沖縄平和行進 (沖縄)</p> <p>06.22~24 2001 年連合平和沖縄集会 (沖縄)</p> <p>07.29 第 19 回参議院議員選挙投票 (社民 3、民主 26、自民 64、公明 13、共産 5、自由 6、保守 1、無所属 3)</p> <p>08.27 政府と連合、2 年ぶりに「政労会見」</p> <p>09.11 米で同時多発テロ事件</p> <p>10.04 連合第 7 回定期大会、組織強化、雇用対策要求などの方針を決定、笹森清会長を選出</p> <p>10.07 米・英、アフガニスタンへの空爆を開始</p> <p>10.30 参院本会議、「テロ対策特別措置法」など 3 法を可決</p> <p>11.03~05 「第 38 回護憲大会」(伊勢市・鳥羽市)</p> <p>11.09 海上自衛隊、護衛艦 2 隻と補給艦 1 隻をインド洋派遣</p>

2002 (H14)	<p>03.01 被災 48 周年 3.1 ビキニデー全国集会 (静岡・労政会館)</p> <p>04.26 異議あり有事法制！憲法 9 条改定を許さない 4.26 緊急集会 (青葉イベント広場)</p> <p>05.17 憲法施行 55 周年フォーラム、有事法制と浜岡原発戦災を考える集い (静岡・ベルパレス鷹匠) 講師明石昇二郎、前田哲男</p> <p>06.01 アジア・アフリカ支援米田植え、10.12 稲刈り (沼津市・石川)</p> <p>07.10 浜岡原発 3 号機での放射能を含む冷却水漏れの事故に抗議申し入れ</p> <p>07.12 浜岡原発 4 号機逆止弁水漏れ事故で中電に抗議申し入れ</p> <p>07～09 浜岡原発 1・2 号機の廃炉を求める署名運動 (県平和・国民運動センター呼びかけ)</p> <p>07.26 原水爆禁止静岡県民会議 2002 年総会 (静岡・労働会館)</p> <p>08.04～09 原水禁世界大会広島・長崎大会</p> <p>08.05 「核兵器廃絶・連合静岡平和集会」(青葉イベント広場)</p> <p>09.10 日朝友好静岡県民会議第 13 回総会 (静岡・労働会館)</p> <p>10.18 連合静岡第 13 回定期大会 (静岡・ホテルセンチュリー)</p> <p>10.25 憲法擁護静岡県民連合第 25 回総会 (静岡・労働会館)</p> <p>11.10 異議あり有事法制！日米共同演習に抗議する緊急県民集会 (御殿場市民会館)</p> <p>11.18 原発立地県連絡会議総会 (掛川)</p> <p>12.06 静岡県平和・国民運動センター第 10 回定期総会</p> <p>12.13 食とみどり・水を守る静岡労農市民会議 2002 年定期総会 (静岡・労働会館)</p> <p>12.19 中電浜岡 2 号機運転再開抗議と廃炉を求める要請 (廃炉を求める 301,084 筆の署名提出)</p> <p>12.19 県勤労者安全センター総会 (静岡・労働会館)</p>
2003 (H15)	<p>01.25 「許すな有事法制！在沖縄米海兵隊実弾砲撃演習東富士移転に抗議する県民集会」(御殿場・馬頭塚広場)</p> <p>02.14 「許すな有事法制！米・イラク攻撃と日本の戦争協力に反対する緊急県民集会」(静岡・青葉イベント広場)</p> <p>02.28～ 被災 49 周年 3.1 ビキニデー全国集会 (静岡・労政会館)</p> <p>05.11 連合静岡地協メーデー (駿府公園)</p> <p>06.08 「異議あり！有事立法県民緊急集会」(清水・ハートピア)</p> <p>06.11 許すな有事法制！法案成立に反対する緊急県民集会 (静岡・労働会館)</p> <p>07.24 浜岡原発中電交渉 (クポール)</p> <p>07.25 原水爆禁止静岡県民会議 2003 年度総会 (静岡・労働会館)</p> <p>08.04～09 原水禁世界大会広島・長崎大会</p>

<p>離脱 市・町議選挙 (9 月・長泉町、10 月金谷町)</p>	<p>12.05～06 第34回食とみどり、水を守る全国集会 (高松市)</p> <p>12.11 中国、WTO (世界貿易機関) に正式加盟</p> <p>12.25 民主党の横路隆弘議員ら同党の16人が小泉政権と対決姿勢を強める「新政局懇話会」結成</p>
<p>01.13 裾野市長選、大橋俊二 (無・推) 当選</p> <p>02.04 社民・民主・自由・共産 4 党、武部勤農水相の信任案提出、否決</p> <p>02.13 党、総選挙に向け、合計 30 議席の獲得をめざし 100 名の公認候補擁立を目指す方針決定</p> <p>03.15 有事関連法制反対の、パンフレット「有事法制はいらない」を発行</p> <p>03.30 辻元清美政審会長を政策秘書給与流用問題で解任</p> <p>04.20～05.20 党県連合、第 1 次「有事法制化関連法案」阻止街頭宣伝活動</p> <p>05.21～06.20 党県連合、第 2 次「有事法制化関連法案」阻止街頭宣伝活動</p> <p>07.13～30 第 3 次「有事法制に反対する」県下縦断宣伝活動</p> <p>07.22 伊東市長選、鈴木藤一郎 (無・推) 当選</p> <p>08.04 静岡市長選、小嶋善吉 (無・推) 当選</p> <p>08.04 磐田市長選挙、寺田伊勢男 (無) 落選</p> <p>09.17 土井党首、「拉致の事実が明らかになればショックを受けている」とコメント</p> <p>10.10 党、朝鮮労働党に日本人拉致事件で抗議書簡郵送</p> <p>11.17 三島市長選、小池正臣 (無・推) 当選</p> <p>11.29 福島幹事長、「朝鮮労働党との関係を凍結」と発表</p> <p>12.15 土井党首、全国幹事長・選対委員長会議で「北朝鮮側の見解を無批判に受け入れていた」と謝罪</p> <p>市・町議選挙 (4 月・藤枝市・9 月・河津町)</p>	<p>01.28 ハンセン病国家賠償訴訟の原告と国が和解</p> <p>02.07 鉄鋼労連、中央委員会で「雇用安定協定」締結方針決定／私鉄総連、春闘要求 2.2%+1500 円を決定</p> <p>03.02 陸上自衛隊、東ティモールに先発隊派遣</p> <p>05.24 「STOP！有事法制 5.24 大集会」</p> <p>05.28 日本経済団体連合会 (日本経団連) が発足 (経団連と日経連統合)</p> <p>06.21 幹旋収賄容疑で逮捕の鈴木宗男議員の辞職勧告決議を衆院本会議で可決</p> <p>08.05 住民基本台帳ネットワーク開始</p> <p>08.15 「8.15 平和集会」(東京)</p> <p>09.17 北朝鮮の金正日総書記、小泉首相との会談で日本人拉致事件を認め謝罪、「日朝平壤宣言」に調印</p> <p>10.12 インドネシア・バリ島のディスコで爆発テロ、190 人死亡</p> <p>10.15 日本人拉致被害者 5 人が北朝鮮から 24 年ぶりに帰国</p> <p>10.23 チェチェン共和国の武装勢力がモスクワの劇場を占拠、人質 129 人死亡</p> <p>11.03～05 第 39 回護憲全国大会 (新潟県・新潟市体育館)</p> <p>12.04～05 第 34 回食とみどり・水を守る全国集会 (鬼怒川)</p>
<p>01.28 党、もんじゅ閉鎖を申し入れ</p> <p>02.09 土井党首を団長に韓国訪問</p> <p>02.20 党、「雇用継続保障のための法制大綱」策定の開設を発表、「平和キャンペーン」スタート</p> <p>03.20 土井党首「米英軍のイラク攻撃は国連決議のない国連憲章・国際法に違反する軍事侵略」と批判</p> <p>04.13 第 26 回県会議員選挙、無所属で 6 名立候補、4 名当選</p> <p>04.27 浜松市長選、北脇保之 (無・推) 当選</p> <p>08.29 土井党首と民主党菅代表、次期衆院選で 7 道県</p>	<p>01.10 北朝鮮、核拡散防止条約 (NPT) から脱退</p> <p>02.28～3.1 平和フォーラム全国活動者会議 (静岡ニッセイ静岡駅前ビル)</p> <p>03.01 連合、米英のイラク攻撃に反対する「国民生活と世界の平和を守る 3.1 中央総決起集会」</p> <p>03.18 小泉首相、「米国のイラクへ武力攻撃を支持する」と表明</p> <p>03.20 アメリカ軍、イラク攻撃を開始</p> <p>04.01 日本郵政公社発足</p> <p>04.16 平和フォーラムなどが「もう戦争はいらない。有事法制 NO.4.16 緊急学習会」</p>

	<p>10.16 「ベトナム枯葉剤被害児童支援チャリティコンサート」(浜松・可美公園総合センターホール)</p> <p>10.17 連合静岡第 14 回定期大会(清水・清水テルサ) 会長/石井水穂(電機連合・2005 年 10 月まで)、事務局長/平野哲司(自動車総連・2005 年 10 月まで)</p> <p>10.24 憲法擁護静岡県民連合第 24 回総会(静岡・労働会館)</p> <p>11.25 日朝友好静岡県民会議定期総会</p> <p>12.16 静岡県平和・国民運動センター第 11 回定期総会(静岡・労働会館) 会長/庄司静雄(自治労・2005 年 12 月まで)、事務局長/太田賀津雄(専従 2009 年 12 月まで)</p> <p>12.22 イラク自衛隊派兵反対緊急集会(静岡・青葉イベント広場)</p>
2004 (H16)	<p>01.27 食とみどり・水を守る静岡労農市民会議 2004 年度総会(静岡・労政会館)</p> <p>02.05 「自衛隊のイラク派兵に反対する緊急集会」(静岡・青葉イベント広場)</p> <p>03.01 被災 50 周年 3.1 ビキニデー全国集会(静岡市・あざれあ)</p> <p>04.01～10 県内 3 か所で核廃絶 1000 万署名街頭キャンペーン</p> <p>05.15 「いまこそ憲法を生かそう in 静岡」講師・土井たか子(静岡市民文化会館)</p> <p>05.20 浜岡原発で通部電力交渉(静岡・クーポール会館)</p> <p>05.22 「地震防災特別講演会」講師/石橋勝彦(三島市民文化会館)</p> <p>07.30 原水爆禁止静岡県民会議 2004 年度総会(静岡・労働会館)</p> <p>08.04～09 原水禁世界大会広島・長崎大会</p> <p>08.20 米海軍イージス艦「カウペンズ」清水港入港反対集会(清水・清見潟公園グラウンド)</p> <p>09～11 原発震災を防ぐ全国署名運動</p> <p>09.14 在沖縄米海兵隊県道 104 号越え実弾砲撃演習東富士移転に抗議する県民集会(御殿場・馬術スポーツセンター)</p> <p>10.15 日朝友好静岡県民会議第 15 回総会(静岡・労働会館)</p> <p>10.22 連合静岡第 15 回定期大会(清水・清水テルサ)</p> <p>10.28 憲法擁護静岡県民連合第 25 回定期総会(静岡・労働会館)</p> <p>11.20～21 原発震災を防ぐ全国交流集会(静岡労政会館)</p> <p>12.22 静岡県平和・国民運動センター第 12 回定期総会(静岡・労働会館)</p>

<p>29 選挙区で候補者一本化合意</p> <p>10.07 党県連合「拉致問題」で朝鮮総連県本部に真相解明を申入れ</p> <p>10.15 土井党首、会見で「二大政党というが社民党は第 3 極」と主張</p> <p>11.09 第 45 回衆議院選挙、1 区に石塚さとし(公) 擁立、落選</p> <p>11.14 土井党首、ブロック代表者会議で辞任を表明</p> <p>11.15 福島瑞穂参院議員、両院議員総会で新党首に選出</p> <p>12.13 党第 8 回定期大会、福島瑞穂党首、又市征治幹事長、「自衛隊のイラク派兵に反対する決議」採択</p> <p>市・町議選挙 (7 月・細江町、9 月・袋井市・伊東市)</p>	<p>05.23 もう戦争はいらない！有事法制に NO5.23 集会(平和フォーラム主催)</p> <p>05.23 個人情報保護法成立</p> <p>06.06 有事法制関連 3 法成立</p> <p>06.21 日本共産党、天皇制廃止要求を削除し、自衛隊存続容認の党綱領改定案を公表</p> <p>06.23 2003 連合平和行動 in 沖縄(沖縄)</p> <p>07.26 イラク復興支援特別措置法成立</p> <p>08.25 「住基本基本台帳ネットワーク」本格運用</p> <p>09.24 民主党と自由党が合併、衆参 204 人の最大野党に</p> <p>11.09 第 43 回衆議院議員総選挙、(社民 6、民主 177、自民 237、公明 34、共産 9、保守新 4、無所属の会 1、自由連合 1、無所属 11)</p> <p>11.29 イラク北部で日本大使館の公用車襲撃、外交官 2 人が死亡</p> <p>12.01 地上デジタル放送開始</p> <p>12.11～12 第 35 回食とみどり・水を守る全国集会(福井市・フェニックスプラザ)</p> <p>12.13 米軍、イラクのフセイン元大統領を拘束</p> <p>12.22 政府与党、道路関係 4 公団の民営化の枠組み決定</p>
<p>02.07 党県連合第 8 回定期大会(静岡・クーポール) 代表酒井邦夫、副代表岡本信也・野沢洋・小沢明美、幹事長/山下登、副幹事長/内野茂</p> <p>02.16 脱原発・脱プルトニウム連絡会議第 6 回総会(東京・社会文化会館)</p> <p>02.17 党、憲法部会現行憲法を生かす「活憲」を訴えていくことを表明</p> <p>03.24 福島党首、ミサイル防衛の一環として米海軍イージス艦が 9 月から日本海に配備される計画に懸念表明</p> <p>04.10 党、第 9 回臨時大会、「社会民主主義宣言 2005」の第 1 次草案提示、「イラクの邦人救出と自衛隊撤退を求める決議」採択</p> <p>06.10 党県連合、参院選菅野哲夫決起大会(静岡市・東海軒会館)</p> <p>07.11 第 20 回参議院選挙、東海比例候補、金子哲夫、落選</p> <p>08.11 関西電力美浜原発蒸気漏れ事故で、福島党首を団長に合同調査団</p> <p>08.22 党、沖縄国際大学米軍ヘリ墜落事故に調査団派遣</p> <p>09.03 福島党首、「アジア政党国際会議」出席のため北京へ出発</p> <p>09.09 党、沖縄辺野古での基地建設のボーリング調査</p>	<p>01.16～18 第 40 回護憲全国大会(鹿児島県・鹿児島市民文化ホール)</p> <p>01.16 イラクへ自衛隊先遣隊出発</p> <p>02.06 陸上自衛隊本体、イラクに向け出発</p> <p>02.07 「イラクへの自衛隊派遣中止を求める国民大会」(札幌)</p> <p>04.29 連合主催の第 75 回メーデー中央大会</p> <p>05.03 「5.3 憲法集会」</p> <p>05.14 5.15 沖縄平和行進(沖縄)</p> <p>05.22 小泉首相、平壤を訪問、拉致被害者家族 5 人が帰国</p> <p>05.27 イラクで日本人記者らの車に銃撃、2 人死亡</p> <p>06.05 年金改革関連法案、強行可決・成立</p> <p>05.20 国民保護法など有事関連 7 法案、可決・成立</p> <p>07.11 第 20 回参議院議員選挙投票(社民 2、民主 50、自民 49、公明 11、共産 4、無所属 7)</p> <p>08.09 関西電力美浜原発で蒸気漏れ事故、作業員 5 人死亡</p> <p>08.13 沖縄国際大学敷地内に米軍普天間基地所属の米軍ヘリ墜落</p> <p>09.01 チェチェン共和国で武装勢力が学校を占拠、人質 330 人以上が死亡</p> <p>10.23 新潟県中越地震、死者 68 人</p> <p>11.01～03 第 41 回護憲全国大会(奈良県・奈良市なら</p>

2005 (H17)	<p>01.25 食とみどり・水を守る静岡労農市民会議 2005 年度総会 (静岡・労働会館)</p> <p>03.01 被災 51 周年 3.1 ビキニデー全国集会 (静岡・労政会館)</p> <p>04.09 想定「東海地震」と浜岡電発について講演会 (三島市民文化センター)</p> <p>04.09～10 「核兵器廃絶 1000 万署名キャンペーン街頭宣伝」(沼津・静岡)</p> <p>04.16 憲法学習会 (静岡・労政会館) 講師・藤田高景</p> <p>04.25 「原発震災を防ぐ全国署名」経産省など 8 カ所に提出、547,554 筆</p> <p>05.03 憲法 9 条改正反対の街頭宣伝活動 (静岡)</p> <p>07.19 在沖縄米海兵隊の 104 県道越え実弾砲撃演習東富士移転に抗議する県民集会 (御殿場・桜公園)</p> <p>07.30 連合、「平和 in 静岡」(静岡・グランシップ)</p> <p>08.04～09 被爆 60 周年原水禁世界大会 (広島・長崎)</p> <p>08.05～ 「日本の戦争展」静岡市・市民ギャラリー</p> <p>09.12 県にプルサーマル計画反対を申し入れ</p> <p>10.04 中電にプルサーマル計画反対を申し入れ</p> <p>10.14 日朝友好静岡県民会議第 16 回総会 (静岡・労働会館)</p> <p>10.21 連合静岡第 16 回定期大会 (清水・清水テルサ) 会長/平野哲司 (自動車総連・2007 年 10 月まで)、事務局長/吉岡秀規 (JAM 静岡・2007 年 10 月まで)</p> <p>10.28 憲法擁護静岡県民連合第 26 回定期総会 (静岡・労働会館)</p> <p>11.05 プルサーマル計画の反対ビラポスティング行動 (御前崎市)</p> <p>11.12 「しずおか憲法 9 条を擁護し実現する会」結成総会、講演会講師・古関彰一 (静岡・グランシップ)</p> <p>11.27 静岡空港建設中止県民大集会 (島田)</p> <p>12.22 静岡県平和・国民運動センター第 13 回定期総会、会長/鈴木孝雄 (自治労・2009 年 12 月まで) 事務局長/太田賀津雄 (専従・2009 年 12 月まで)</p> <p>12.23 「しずおか憲法 9 条を擁護し実現する会」街頭宣伝活動 12.25 静岡、06.2.25 三島、3.25 清水、4.8 浜松</p>
2006 (H18)	<p>01.31 食とみどり・水を守る静岡労農市民会議 2006 年度総会 (静岡・労働会館)</p> <p>03.01 被災 52 周年 3.1 ビキニデー全国集会 (あざれあ)</p> <p>05.03 「憲法フォーラム in しずおか」憲法記念日講演会 (県産業経済会館) 講師・藤森研</p> <p>05.26 食とみどり・水を守る東海ブロック集会 (岐阜市・文化センター)</p> <p>06.03 アジア・アフリカ支援米田植え、10.14 稲刈り (この年から掛川市倉真に変更)</p>

	<p>に抗議の談話発表</p> <p>10.17 沼津市長選、斉藤衛 (無・推) 無投票</p> <p>10.23 党、「新潟県中越地震災害及び風水害対策本部」設置</p> <p>12.12 袋井市長選、原田英之 (無・推) 無投票当選</p> <p>12.15 党、非正規雇用フォーラム結成</p> <p>市・町議選挙</p> <p>(4 月・浜北市)</p>	<p>100 年会館)</p> <p>11.06 日教組などが教育基本法をめぐり「改悪を止めよう！全国集会」</p> <p>12.- ICFTU 第 18 回世界大会 (宮崎市)</p> <p>12.08～9 第 36 回食とみどり・水を守る全国集会 (豊橋市・ホテル日航)</p> <p>12.26 インドネシアのスマトラ島沖で M9.0 の地震発生、29 万人死亡</p>
	<p>01.22 裾野市長選、大橋俊二 (推薦) 当選</p> <p>01.31～02.04 党、東門美津子衆院議員を団長に「米軍基地再編に関する銀要請団」ワシントンを訪れ沖縄の負担軽減を要請</p> <p>03.21 党、福岡県西方沖地震対策本部を設置、26 日調査団派遣</p> <p>04.15 党、衆院憲法調査会の決議に反対する院内集会</p> <p>04.16 阿部知子政審会長を団長に、後輩いじめ問題で、海上自衛隊横須賀基地を調査</p> <p>04.24 袋井市長選 (合併による) 原田英之 (無・推) 当選</p> <p>05.04 福島党首を団長に訪米団、沖縄基地縮小、横須賀への原子力空母配備反対を要請</p> <p>05.27 党所属議員・民主党議員と国会内で郵政民営化関連法案の廃案をめざし緊急集会</p> <p>07.12 党、脱原発・脱プルトニウム全国連絡協議会第 7 回総会</p> <p>07.13 全国基地問題連絡協議会</p> <p>07.24 県知事選、吉田寿昭 (無・支持) 落選、現職石川知事 4 選</p> <p>08.19 党県連合、総選挙対策本部で候補者擁立を断念、東海比例選挙に集中を決定</p> <p>09.11 第 44 回衆議院選挙、東海比例区候補・大島令子落選</p> <p>12.02 党首選挙、福島みずほ氏無投票当選</p> <p>12.18 富士市長選、鈴木尚 (無・推) 無投票</p> <p>市・町議選挙</p> <p>(3 月・政令静岡市、4 月・浜松市・掛川市・袋井市・島田市)</p>	<p>01.17 米大統領にジョージ・W・ブッシュ 2 期目就任</p> <p>02.16 京都議定書発効</p> <p>03.10 東京高裁が横浜事件の再審を認めた横浜地裁の判決を支持し検察の即時抗告を棄却</p> <p>03.17 韓国の盧武鉉大統領、「対日 4 大基調」(新韓日ドクトリン) を発表</p> <p>04.25 JR 福知山線脱線事故、死者 107 人</p> <p>05.- 核廃絶ニューヨーク行動、1～4 月 NPT 再検討会議に向けた核廃絶 1000 万署名</p> <p>05.15 沖縄平和行進、普天間基地「人間の鎖」包囲行動 23,850 人参加</p> <p>05.21 改正介護保険法成立</p> <p>08.08 郵政民営化関連法案、参議院本会議で否決、小泉首相衆議院を解散</p> <p>09.11 第 44 回衆議院選挙 (社民 7、民主 113、自民 296、公明 31、共産 9、国民新 4、新党日本 1、新党大地 1、無所属 18)</p> <p>09.15 東京地裁、国労組合員の JR 採用候補者名簿不記載は違法として 14 億円の慰謝料支払いを命ずる</p> <p>10.05～06 連合第 9 回定期大会、会長選挙で、UI ゼンセン同盟の高木剛と全国ユニオンの鴨嶋代が争い、323 対 107、無効票 42 で高木剛が新会長となった</p> <p>10.26 米軍普天間飛行場の移設問題、名護市辺野古建設で日米両国が基本合意</p> <p>10.26 テロ対策特別措置法成立、自衛隊の後方支援が 1 年間延長</p> <p>11.03～05 第 42 回護憲全国大会 (埼玉県・さいたま市大宮ソニックシティ)</p> <p>12.02～03 第 37 回食とみどり・水を守る全国集会 (長崎市・長崎ブリックホール)</p>
	<p>02.10 旧社会党岩垂寿喜男元衆院議員ら 9 人の名誉回復を決定</p> <p>02.11～12 党第 10 回全国大会福島瑞穂党首、又市征治幹事長、村山元首相・土井元衆院議長を名誉党首に選出、「社会民主主義宣言」を採択 (東京 社</p>	<p>01.23 石綿対策全国連絡会議、石綿対策基本法の制定を求め 146 万人の署名提出</p> <p>01.31 防衛施設庁の審議官ら 3 人を競売入札妨害容疑で逮捕</p> <p>01.23 「日本郵政」株式会社発足</p>

	<p>07.06 脱原発・脱プルトニウム全国連絡協議会の第8回総会</p> <p>07.28 原水爆禁止静岡県民会議 2006 年度総会（静岡・労働会館）</p> <p>08.04～09 被爆 61 周年原水禁世界大会、広島・長崎</p> <p>09.14 在沖縄米海兵隊の 104 県道越え実弾砲撃演習東富士移転に抗議する県民集会（御殿場・桜公園）</p> <p>09.30 「しずおか憲法 9 条を擁護し実現する会」総会・学習会（静岡・労働会館）講師・福山真劫</p> <p>10.14 平和フォーラム東海ブロック「第 2 回憲法フォーラム」講師・名古屋市・名古屋通信ビル）</p> <p>10.20 連合静岡第 17 回定期大会清水・清水テルサ）</p> <p>10.27 憲法擁護静岡県民連合第 27 回定期総会（静岡・労働会館）</p> <p>11.23 「憲法フォーラム in しずおか」総会&憲法講演会（静岡・県産業経済会館）講師・前田哲雄</p> <p>11.30 日朝友好静岡県民会議第 17 回総会（静岡・労働会館）</p> <p>12.26 静岡県平和・国民運動センター第 14 回定期総会（静岡・労働会館）</p>
2007 (H19)	<p>01.26 食とみどり・水を守る静岡労農市民会議 2007 年度総会（静岡・労働会館）</p> <p>03.01 被災 53 周年 3.1 ビキニデー全国集会（静岡・労政会館）</p> <p>05.03 「憲法フォーラム in しずおか」憲法記念日講演会（静岡・県産業経済会館）講師・高嶋伸欣</p> <p>05.14 国民投票法の強行採決・成立に抗議する座り込み（静岡・青葉イベント広場）</p> <p>07.27 原水爆禁止静岡県民会議 2007 年度総会（静岡・労働会館）</p> <p>08.04～09 被爆 62 周年原水禁世界大会（広島・長崎）</p> <p>09.28 2007 年度しずおか憲法 9 条を擁護し実現する会総会・学習会（静岡・労働会館）講師・福山真劫</p> <p>10.19 連合静岡第 18 回定期大会（清水・清水テルサ）会長/吉岡秀規（JAM 静岡・2013 年 10 月まで）、事務局長/天野敬久（電力総連・2011 年 10 月まで）</p> <p>10.26 浜岡原発訴訟判決</p> <p>10.26 憲法擁護静岡県民連合第 28 回定期総会（静岡・労働会館）</p> <p>11.25 「憲法フォーラム in しずおか」講演会（静岡・県産業経済会館）講師・伊藤恭彦、報告と提起「民主教育を守る取り組み」県教組、「子供の権利と公的保育の危機」自治労</p> <p>12.27 静岡県平和・国民運動センター第 15 回定期総会（静岡・労働会館）</p>

<p>会文化会館）</p> <p>02.28 党憲法学校スタート（7 月まで 6 回開催）</p> <p>04.01 党県連合第 9 回定期大会（静岡・労政会館）代表/櫻井規順、副代表/岡本信也、幹事長/小沢明美、副幹事長/内野茂・鈴木基之</p> <p>05.17 がんばれ社民党しずおかの会第 7 回総会</p> <p>07.06 党、脱原発・脱プルトニウム全国連絡協議会第 8 回総会</p> <p>07.21 党、「医療行為を原因とする肝炎患者の救済に関するプロジェクトチーム」取組みについて発表</p> <p>09.02 党県連合憲法学校（静岡市）講師・辻本清美衆院議員</p> <p>09.15 党県連合憲法学校（浜松市）講師・福島みずほ党首</p> <p>09.23 第 2 期社民党憲法学校沖縄と大阪でスタート</p> <p>09.30 党県連合「平和基本法学習会」市・町議選挙（4 月・藤枝市）</p>	<p>02.09 横浜地裁、「横浜事件」の再審で、裁判を打ち切る「免訴」言い渡す</p> <p>03.20 政府、石綿（アスベスト）被害者救済法による救済申請の受付開始</p> <p>03.24 金沢地裁、北陸電力志賀原発に運転差し止めの判決</p> <p>03.27 オウム真理教・松本智津夫被告の死刑確定</p> <p>05.15 沖縄平和行進（沖縄）</p> <p>06.20 イラク・サマーワ派遣の自衛隊に撤退命令</p> <p>07.07 東京地裁、「トンネルじん肺訴訟」で国の責任を認め 44 人の患者に賠償命令</p> <p>09.26 第 1 次安倍晋三内閣発足</p> <p>10.09 北朝鮮、地下核実験</p> <p>11.03～04 第 43 回護憲全国大会（大分県・別府市ビーコンプラザ・コンベンションホール）</p> <p>11.17～18 第 38 回食とみどり・水を守る全国集会（北海道・定山溪ビューホテル）</p> <p>11.28 「戦争はいらない!戦争国家は許さない!」11.28 全国集会（平和フォーラム主催・日比谷屋音）</p> <p>12.03 「在特会」結成</p> <p>12.15 教育基本法改正案可決・成立、防衛庁の防衛省昇格法案も可決・成立</p> <p>12.30 イラク、サダム・フセイン元大統領の死刑執行</p>
<p>02.03 全国代表者会議、統一自治体選挙・参院選闘争方針（東京・社会文化会館）</p> <p>03.17 福島党首が北陸電力志賀原発の臨界事故隠蔽問題を現地調査</p> <p>04.08 第 27 回県会議員選挙、2 名が無所属で立候補、2 名当選</p> <p>05.19 がんばれ社民党しずおかの会第 8 回総会</p> <p>06.14 党、「消えた年金」問題で年金事務所を視察</p> <p>06.24 党県連合、福島党首を迎え「参院選総決起集会」（静岡・ふしみやビル）</p> <p>07.29 21 回参議院選挙、東海ブロック比例候補・戸田二郎（落選）、選挙区・民主党榛葉賀津也（推薦）当選</p> <p>10.31 党県連合、後期高齢者医療制度学習会（教育会館）</p> <p>11.01 脱原発・脱プルトニウム全国連絡協議会の第 9 回総会</p> <p>11.02 全国基地問題連絡協議会</p> <p>12.22～23 党第 11 回全国大会／党首・福島瑞穂、幹事長/重野安正（東京・社会文化会館）市・町議選挙（4 月・政令浜松市・富士宮市）</p>	<p>01.- 連合、「SPOPTHE格差社会」市民との対話集会（3 月まで）</p> <p>02.26 日米共同訓練を航空自衛隊築城基地で行うことで合意</p> <p>02.17 社会保険庁、公的年金の加入記録不備 5000 万件が発覚</p> <p>04.17 長崎市の伊藤一長市長、暴力団員に銃撃され死亡</p> <p>04.24 沖縄防衛局、辺野古周辺海域で県境影響評価の事前調査開始</p> <p>05.14 国民投票法、自公両党の賛成多数で可決、成立</p> <p>06.21 教育改革関連 3 法が国会で可決、成立</p> <p>07.16 新潟県中越地震で東電柏崎刈羽原発運転停止</p> <p>07.29 第 21 回参議院選挙（社民 2、民主 67、自民 37、公明 9、共産 3、国民新 2、新党日本 1、無所属 7）</p> <p>09.12 安倍晋三首相が退陣表明</p> <p>09.26 福田康夫内閣発足</p> <p>09.29 沖縄で集団自決を軍が強制した教科書記述を削減したことに抗議し 11 万人の県民大会</p> <p>10.01 郵政民営化スタート</p> <p>10.11～12 連合第 10 回定期大会</p>

2008 (H20)	<p>01.29 食とみどり・水を守る静岡労農市民会議 2008 年総会 (静岡・労働会館)</p> <p>02.29～3.1 被災 54 周年 3.1 ビキニデー全国集会 (静岡労政会館 6F)</p> <p>03.29 浜岡原発プルサーマル計画導入反対統一行動 (御前崎市全戸チラシ配布)</p> <p>05.03 「憲法フォーラム in しずおか」 憲法記念日講演会 (グランシップ) 講師・上杉聡、報告と提起、教育と愛国心・県教組、中国残留孤児の証言</p> <p>07.09 第 2 回後期高齢者医療制度問題静岡県連絡会議</p> <p>07.19 「原子力空母の横須賀基地母港化を許さない全国集会」 (横須賀・ヴェルニー公園)</p> <p>07.29 原子力爆禁止静岡県民会議 2008 年度総会・結団式 (静岡・労働会館)</p> <p>08.04～09 被爆 63 周年原子力禁世界大会 (広島・長崎)</p> <p>09.28 しずおか憲法 9 条を擁護し実現する会 2007 年度総会及び「憲法学習会」</p> <p>10.17 連合静岡第 19 回定期大会 (清水・清水テルサ)</p> <p>10.26 「巨大地震が原発を襲うとき」原子力の日特別講演会、講師・小出裕章 (三島市民生涯学習センター)</p> <p>10.29 憲法擁護静岡県民連合第 28 回総会 (静岡・労働会館)</p> <p>12.16 静岡県平和・国民運動センター第 16 回定期総会 (静岡・労働会館)</p> <p>12.22 中電、浜岡原発 1・2 号機を廃棄し 6 号機新設計画を発表</p>
2009 (H21)	<p>01.27 食とみどり・水を守る静岡労農市民会議 2009 年総会 (静岡労働会館)</p> <p>03.02 被災 55 周年 3.1 ビキニデー全国集会 (静岡・労政会館 6F)</p> <p>03.27 日朝友好静岡県民会議第 18 回総会</p> <p>05.03 「憲法フォーラム in しずおか」 憲法記念日講演会 (シズウエル) 講師・河上暁弘</p> <p>05.22 浜岡原発の MOX 燃料装荷・利用計画に関する県・中電申入れ</p> <p>06.04 静岡空港開港</p> <p>07.28 原子力爆禁止静岡県民会議 2009 年度総会・結団式 (静岡・労働会館)</p> <p>08.04～09 被爆 64 周年原子力禁世界大会 (広島・長崎)</p> <p>08.11 駿河湾地震発生</p>

		<p>10.31 社会保険庁のずさんな年金管理記録の原因究明で最終報告書</p> <p>11.02～04 第 44 回護憲全国大会 (東京都・日本教育会館)</p> <p>12.07 法務省が執行死刑囚と執行場所を初めて公表</p>
01.31 党政審、「5 兆円規模の緊急国民生活対策」発表	03.22 党県連合第 10 回定期大会 (静岡市民文化会館) 代表/櫻井規順、副代表/岡本信也・橋本勝六、幹事長/小沢明美、副幹事長/鈴木基之・乙黒悟郎	01.11 新テロ対策特別措置法案が国会で成立
04.24 党、後期高齢者医療制度反対でホットライン	05.07 福島党首、来日中の中国胡錦濤国家主席と会談	02.19 海上自衛隊イージス艦「あたご」、野島崎沖で漁船と衝突事故
05.30 社会主義インター・アテネ大会で福島党首副議長に就任	06.18 党東海ブロック選挙勝利交流集会 (愛知県東浦町・愛知健康プラザ)	03.04 日本高齢・退職者連合、後期高齢者医療制度の廃止を求め集会
07.06 海野晋吉没後 40 周年記念墓前祭 (法蔵禅寺)	11.21 党、派遣・非正規問題で「派遣・非正規の切捨てを許さない怒りのホットライン」開設	03.14 最高裁、横浜事件の再審上告審で「免訴」確定
12.05 党政審、厚労省に「緊急雇用対策」申入れ		03.14 社会保険庁年金記録で 2025 万件が未解明と発表
		04.13 連合、「日米地位協定の抜本見直し求める中央集会」 (横浜)
		04.15 後期高齢者医療制度の保険金年金からの天引き開始
		04.16 ペルー・フジモリ元大統領控訴棄却
		04.17 名古屋高裁イラク自衛隊派遣で米兵輸送は違憲との判断
		05.03 「5.3 憲法集会」 (日比谷公会堂)
		05.12 中国四川省で大地震発生約 4 万人死亡
		05.15 5.15 沖縄平和行進 (沖縄)
		06.06 国家公務員制度改革法基本法成立、アイヌは先住民族と国会決議
		07.01 海上自衛隊、インド洋での補給支援活動 6 カ月延長
		07.19 7.19 原子力空母の母港化を許さない横須賀集会 (横須賀・ヴェルニー公園)
		09.15 「リーマンショック」により金融危機
		09.24 麻生太郎内閣発足
		11.01～3 第 45 回護憲大会 (香川県高松市・アルファあなぶきホール)
		11.04 米大統領選挙、バラク・オバマ (民主党) 当選
		12.18 「緊急雇用対策 4 法案の早期成立を求める集会」連合・民主・社民・国民新党主催
01.29 党、「かんぼの宿」売却と郵政民営化の見直しで調査プロジェクトチーム設置	03.26 社民・民主・国民新・共産が「介護労働者賃金引き上げ法案」を参議院に共同提出	01.20 オバマ米新政権スタート、「核なき世界」で 12 月ノーベル平和賞受賞
04.29 党県連合、坂喜代子と格差の社会をめざす会発表会式	06.18 全国ブロック事務局長会議で衆院選後に民主党との連立政権参加方針を協議	01.31～2.2 第 45 回護憲全国大会 (香川県・高松市)
06.26 社民・民主・国民新が「労働者派遣法改正案」を		04.14 北朝鮮、6 カ国協議を離脱、核実験
		05.21 裁判員制度施行
		05.25 北朝鮮、2 度目の核実験
		08.29 「在日朝鮮人歴史・人権集会」全国集会 (名古屋・名進研ホール)
		08.30 第 45 回衆議院選挙 (社民 7、民主 308、自民 119、

	<p>10.16 連合静岡第 20 回定期大会 (静岡・勤労者総合会館)</p> <p>10.30 憲法擁護静岡県民連合第 30 回定期総会 (静岡・労働会館)</p> <p>10.31 辺野古基地の断念を求める第 1 回静岡集会 (シズウエル) 基調講演・山内徳信</p> <p>12.11 辺野古基地の断念を求める第 2 回静岡集会 (静岡・労政会館)</p> <p>12.18 静岡県平和・国民運動センター第 17 回定期総会 (静岡・労働会館)、会長/鈴木修 (自治労・2011 年 11 月まで) 事務局長/鈴木孝雄 (専従・2015 年 12 月まで)</p>
2010 (H22)	<p>01.21 食とみどり・水を守る静岡労農市民会議 2010 年総会</p> <p>01.30 普天間基地はいらない 1.30 全国集会</p> <p>03.01 被災 56 周年 3.1 ビキニデー全国集会(静岡・労政会館)</p> <p>03.24 日朝友好静岡県民会議第 20 回総会、記念講演会、「日韓併合 100 周年と日朝国交正常化について」講師清水澄子</p> <p>05.03 「憲法フォーラム in しずおか」憲法記念日講演会 (グランシップ 1001) 講師・高島伸欣</p> <p>07.27 原水爆禁止静岡県民会議 2010 年度総会・結団式 (静岡・労働会館)</p> <p>08.04～09 被爆 65 周年原水禁世界大会 (広島・長崎)</p> <p>09.11 在沖縄米海兵隊県道 104 号線越え実弾砲撃東富士演習に抗議する県民集会 (御殿場・桜公園)</p> <p>09.25 JR 不当採用闘争解決報告レセプション (静岡・クーポール)</p> <p>10.15 連合静岡第 21 回定期大会 (清水・清水テルサ)</p> <p>10.26 憲法擁護静岡県民連合第 30 回定期総会/しずおか憲法 9 条を擁護し実現する会 2010 年総会 (静岡・労働会館)</p> <p>10.31 平和フォーラム東海ブロック「第 6 回憲法フォーラム」(静岡・東海軒会館) 講師・伊藤真</p> <p>11.04 ベトナム枯葉剤支援コンサート (AOI ホール)</p> <p>12.04 人権を守れ! 静岡集会～浜松基地自衛官の人権を確立するために～ (静岡・労働会館)</p> <p>12.22 静岡県平和・国民運動センター第 18 回定期総会 (静岡・労働会館)</p>
2011 (H23)	<p>01.25 食とみどり・水を守る静岡労農市民会議 2011 年総会(静岡・労政会館)</p> <p>03.01 被災 57 周年 3.1 ビキニデー全国集会</p> <p>03.14 原水爆禁止静岡県民会議が中部電力に浜岡原発の運転停止を申し入れ</p> <p>05.03 「憲法フォーラム in しずおか」憲法記念日講演会 (シズウエル) 講師・池田香代子</p>

<p>衆議院に共同提出</p> <p>06.27 党県連合、総支部・支部代表者会議 (静岡)</p> <p>07.05 県知事選挙、川勝平太 (推薦) 当選</p> <p>07.19 酒井邦夫を偲ぶ会 (ラホール富士)</p> <p>08.14 社民・民主・国民新の 3 野党、総選挙の「共通政策」発表</p> <p>08.30 第 45 回衆議院選挙、選挙区公認なし、坂喜代子 (東海比例区) 落選</p> <p>09.02 全国代表者会議/連立政権を視野に政権協議開始を決定 (東京・社会文化会館)</p> <p>09.16 福島党首、鳩山連立政権で消費者・少子化担当相就任</p> <p>09.22 党県連合、社民・護憲プロジェクト会議</p> <p>09.26 党県連合総支部・支部代表者会議 (静岡)</p> <p>12.05 党県連合タウンミーティング (静岡・東海軒会館)</p> <p>市・町議選挙 (4 月・掛川市・袋井市、5 月・島田市)</p>	<p>公明 21、共産 9、国民新 3、新党日本 1、新党大地 1、みんな 5、無所属 6)</p> <p>09.09 社民・民主・国民新、連立政権樹立で合意</p> <p>09.16 鳩山由紀夫内閣発足</p> <p>10.03 10.3 原子力政策の転換を求める全国集会 (明治公園)</p> <p>10.05 足利事件・菅家さん釈放、再審開始</p> <p>10.08～9 連合第 11 回定期大会、会長・古賀伸明</p> <p>11.01～03 第 46 回護憲全国大会 (長野市・ホクト文化ホール)</p> <p>11.05 プルサーマル発電開始</p> <p>11.26 民主党政権事業仕分けで八ツ場ダム中止など決定</p> <p>11.28～29 第 41 回食とみどり・水を守る全国集会 (松江・くにびきメッセ)</p> <p>12.01 核持ち込みなどの外交密約で元次官らの証言、相次ぐ</p> <p>12.31 年越し派遣村に多くの人</p>
<p>01.13 阿部政審会長」ワシントンで米下院ボルダーク議員と会談、「普天間飛行場接先は選挙の民意から県外・国外しか可能性はない」と表明</p> <p>01.23～24 党第 12 回定期全国大会</p> <p>04.04 党県連合第 11 回定期大会 (清水区・清水テルサ) 代表/櫻井規順、副代表/岡本信也・橋本勝六、幹事長/小沢明美、副幹事長/鈴木基之・乙黒悟郎</p> <p>04.09 社民党など 4 党と政府で JR 不採用問題の政治解決案に合意</p> <p>05.29 「福島みずほが明日を語ります集会」(静岡・浜松)</p> <p>05.30 全国連合常任幹事会で、辺野古新基地建設に反対し鳩山連立政権からの離脱を決定</p> <p>06.01 がんばれ社民党しずおかの会第 11 回総会</p> <p>07.11 第 22 回参議院選挙、党県連合、比例区は福島みずほ重点、選挙区は民主党藤本祐司 (推薦) 当選</p> <p>08.24 岡本副代表告别式 (浜松市)</p> <p>09.18 党県連合総支部・支部代表者会議 (静岡・社文会館) 役員補充 (副代表/小沢明美、幹事長/乙黒悟郎、副幹事長/大河内俊雄)</p> <p>10.25～党県連合「党改革第 1 次案」東中西ブロック会議</p>	<p>01.19 日本航空、会社更生法適用申請</p> <p>01.30 「普天間基地はいらない」新基地建設を許さない 1.30 全国集会「(東京・日比谷野音)</p> <p>03.～07. 宮崎県で口蹄疫の被害が拡大、全国を震撼</p> <p>04.25 普天間飛行場の県内移設に反対し沖縄県民大会、9 万人参加</p> <p>04.26 国労、組合員の JR 不採用問題の政府が示した政治解決案受け入れを決定</p> <p>05.28 普天間移設で日米合意、社民党政権離脱・鳩山内閣は辞職</p> <p>06.08 菅直人内閣発足</p> <p>06.13 「はやぶさ」小惑星イトカワから帰還</p> <p>06.28 国労組合員の JR 不採用問題の和解成立</p> <p>07.11 第 22 回参議院選挙 (社民 2、民主 44、自民 51、公明 9、共産 3、みんな 10、たちあげれ 1、改革 1、無所属 0)</p> <p>09.10 厚労省村木厚子元局長に無罪判決、特捜検事らを証拠偽造で逮捕</p> <p>09.27 北朝鮮の指導者金正日総書記の後継者に三男、金正恩氏</p> <p>10.18 中国の次期最高指導者に習近平氏</p> <p>11.06～08 第 47 回護憲全国大会 (宮崎県・宮崎市)</p>
<p>02.14 全国幹事長会議 (東京・社会文化会館)</p> <p>03.12 党、「東日本大震災対策本部」「原子力発電所等事故対策本部」設置</p> <p>03.17 国会議員団が東日本大震災義捐金を募る</p>	<p>01.07 東京・大阪地裁が薬害「イレッサ」事件で和解勧告</p> <p>01.～ 中東に民主化の波、10.20 カダフィ大佐死亡</p> <p>03.11 東日本大地震発生</p>

	<p>05.06 菅首相が「浜岡原発運転停止」を中電に要請</p> <p>05.11 中電浜岡原発の運転停止</p> <p>06.04 自衛官人権裁判全国交流会（浜松市・地域情報交流センター）</p> <p>06.11 6.11 浜岡原発震災を防ぐ静岡集会（静岡・常盤公園）</p> <p>06.19 沖縄米海兵隊実弾砲撃演習抗議県民集会（御殿場・桜公園）</p> <p>06.21 日朝友好静岡県民会議総会・和田春樹講演会（もくせい会館）</p> <p>06.23 静岡県に浜岡原発の運転停止を申し入れ</p> <p>07.11 浜松自衛官人権裁判勝利判決（静岡地裁浜松支部）</p> <p>07.17 浜岡廃炉全国集会（静岡常盤公園）</p> <p>07.28 原水爆禁止静岡県民会議 2011 年度総会・結団式（静岡・労働会館）</p> <p>08.04～09 被爆 66 周年原水禁世界大会（広島・長崎）</p> <p>09.10 さよなら原発 1000 万人署名運動第 1 次集約日</p> <p>09.24 浜松自衛官人権裁判勝利判決報告集会（浜松）</p> <p>10.21 連合静岡第 22 回定期大会（静岡・あざれあ）会長/吉岡秀規（JAM 静岡）、事務局長/池富彰（自動車総連・2013 年 10 月まで）</p> <p>10.25 憲法擁護静岡県民連合第 31 回定期総会/しずおか憲法 9 条を擁護し実現する会 2012 年総会（静岡・労働会館）</p> <p>11.17 原発震災を防ぐ署名、100 万筆を経産省に提出</p> <p>11.26 里山を見る会</p> <p>12.22 静岡県平和・国民運動センター第 19 回定期総会（静岡・労働会館）、会長/須藤達美（自治労）</p>
2012 (H24)	<p>01.31 食とみどり・水を守る静岡労農市民会議 2012 年総会（静岡・労働会館）</p> <p>02.12 さよなら原発 1000 万人アクション東海ブロック集会（静岡・常盤公園）</p> <p>03.01 被災 58 周年 3.1 ビキニデー全国集会</p> <p>03.02 原発立地自治体要請行動</p> <p>05.03 「憲法フォーラム in しずおか」憲法記念日講演会（シズウエル）講師・田中伸尚</p> <p>05.19 里山を見る会</p> <p>05.20 高校生平和大使選考会、派遣運動の取り組み始まる（第 15 代高校生平和大使・鈴木七海さん）</p> <p>06.24 日朝友好静岡県民会議第 22 回定期総会</p> <p>07.11 浜松基地自衛官人権裁判で全面勝利の判決（浜松地方裁判所）報告集会</p> <p>07.22 オスプレイ配備反対で静岡県に申し入れ</p> <p>07.27 原水爆禁止静岡県民会議 2012 年度総会・結団式（静岡・労働会館）</p> <p>08.04～09 被爆 67 周年原水禁世界大会（広島・長崎）</p> <p>08.19～24 第 15 代高校生平和大使（鈴木七海さん）ジュネーブ国連欧州本部訪問</p> <p>09.08 沖縄実弾砲撃訓練・オスプレイ反対県民集会（御殿場・桜公園）</p> <p>09.25 オスプレイ配備反対で御殿場市に申し入れ</p> <p>10.19 連合静岡第 23 回定期大会清水・清水テルサ）</p> <p>10.21 「朝鮮学校友の会」結成（静岡市民文化会館）</p> <p>10.24 憲法擁護静岡県民連合第 32 回定期総会/しずおか憲法 9 条を擁護し実現する会 2013 年総会（静岡・労働会館）</p> <p>12.20 静岡県平和・国民運動センター第 20 回定期総会・記念講演会（静岡・労働会館）会長/原科臣孝（自治労）</p>

03.30 党、菅首相に「福島第 1 原発の廃炉」「浜岡原発のなどの運転停止」を申し入れ	03.12 東電福島第 1 原発で水素爆発事故
04.01 福島党首・県連合が中部電力に浜岡原発の運転停止を申し入れ	03.12～9 月 連合、東日本大地震にカンパ・ボランティア活動 3 万 5 千人以上
04.10 第 28 回県議会議員選挙、候補者なし	03.14 東電、初の計画停電、夏は 15% 節電
05.25 党、脱原発アクションプログラムを発表「2020 年までに原発ゼロ 2050 年には自然エネルギー 100%に」	05.06 菅首相、中部電力に浜岡原発の運転停止要請、中電 11 日受入れ
06.18 党県連合総支部・支部代表者会議（静岡・交通会館）	06.04 「反核燃の日全国集会」（青森）
06.27 党、政府にエネルギー政策策定で 5 項目を申し入れ	07～10 タイで大洪水、日本企業が操業停止
07.02～03 党・東日本大震災福島調査（福島市他）	08.30 野田佳彦内閣誕生
07.07 党、原発震災・被爆ホットラインを開設	09.19 さよなら原発 1000 万人アクション全国集会（東京・明治公園）
07.20 がんばれ社民党しずおかの会第 12 回総会	10.04～05 連合第 12 回定期大会
11.14 党脱原発・脱プルトニウム全国連絡協議会第 9 回総会（東京・衆院会館）	10.31 円、戦後最高値を更新
市・町議選挙（4 月・政令浜松市）	11.04～05 第 48 回護憲全国大会（山形県・山形市）
	11.11 野田首相、TPP 交渉参加を表明
	11.27 大阪ダブル選、大阪維新の会橋下氏完勝
	12.15 「辺野古アセス反対・沖縄の民意を踏みにじるな 12・15 集会」
	12.16～17 第 43 回食とみどり・水を守る全国集会（名古屋・ウインク愛知）
	12.17 北朝鮮の金正日総書記が急死
02.01 東海ブロック議員団会議「脱原発田中優講演会」（浜松）	03.04 ロシア大統領にプーチン首相当選
02.24 党第 13 回定期全国大会	03.12 平和フォーラム全国活動者会議（福島・郡山）
04.21 党県連合第 12 回定期大会（静岡・県総合福祉会館・シズウエル）代表/橋本勝六、副代表/小沢明美、幹事長/大河内俊雄、副幹事長/乙黒悟郎	03.24 さよなら原発 1000 万人アクション全国集会（日比谷野音）
07.24 党、オスプレイ配備と訓練に反対し緊急院内集会	04.11 金正恩氏、朝鮮労働党第 1 書記に
07.31 「がんばれ社民党しずおかの会」第 13 回総会（静岡・交通会館）	04.19 福島第 1 原発 1～4 号炉廃炉決定
08.31 党県連合「オスプレイ配備がなぜ危険か」講演会（静岡・労政会館）講師・金子豊貴男	04.27 自民党、改憲草案を公表
09.07 党、原発から早期脱却をはかるため脱原発基本法を共同提出	05.05 北海道電力泊原発運転停止、国内の原発全て運転停止に
10.09 北陸電力志賀原発に福島党首を団長に調査団派遣	06.16 野田政権、大飯原発再稼働を決定
11.27 党県連合緊急総支部・支部代表者会議（静岡・社文会館）	07.16 さよなら原発 1000 万人アクション全国集会（東京・代々木公園）
12.16 第 46 回衆議院選挙、平山良平（東海比例）落選	07.23 オスプレイ岩国基地到着
	08.10 消費税法成立（15.04.01 に 8%、15.10.01 に 10% に引き上げ）
	09.11 政府、尖閣諸島を国有化
	10.01 野田第 3 次改造内閣発足
	10.01 オスプレイ普天間基地配備
	10.13 さよなら原発集会（日比谷公園）
	11.04 オスプレイの沖縄配備と低空飛行訓練に反対する集会
	11.06 米大統領選、オバマ氏再選
	11.08 中国共産党総書記に習近平氏
	11.09～11 第 49 回護憲全国大会（山口県・山口市）

2013 (H25)	<p>01.22 食とみどり・水を守る静岡労農市民会議 2013 年総会</p> <p>02.23 「オスプレイがなぜ危険か」学習会（御殿場・エピホール）講師・金子豊貴男・山城博治</p> <p>02.28 被災 59 周年 3.1 ビキニデー全国集会</p> <p>03.06 オスプレイ配備に反対し、南関東防衛局に申入れ</p> <p>03.11 さよなら原発 1000 万人アクション静岡集会</p> <p>05.03 「憲法フォーラム in しずおか」憲法記念日講演会（シズウエル）講師・清水眞砂子</p> <p>06.22 富士山世界遺産に登録</p> <p>06.24 日朝友好静岡県民会議第 23 回定期総会</p> <p>07.26 原水爆禁止静岡県民会議 2013 年度総会・結団式（静岡・労働会館）</p> <p>08.04～09 被爆 68 周年原水禁世界大会（広島・長崎）</p> <p>08.18～23 第 16 代高校生平和大使（渥美真央さん）ジュネーブ国連欧州本部訪問</p> <p>09.28 沖縄米海兵隊実弾砲撃演習抗議・オスプレイ配備と低空飛行訓練反対県民集会（御殿場・桜公園）</p> <p>10.23 憲法擁護静岡県民連合第 33 回定期総会／しずおか憲法 9 条を擁護し実現する会 2014 年総会（静岡・労働会館）</p> <p>10.18 連合静岡第 24 回定期大会（清水・清水テルサ）会長池富彰（自動車総連・2015 年 10 月まで）、事務局長/中西清文（電機連合・2015 年 10 月まで）</p> <p>12.19 静岡県平和・国民運動センター第 21 回定期総会（静岡・労働会館）、会長/渡邊敏明（自治労・2015 年 12 月まで）</p>	
2014 (H26)	<p>01.13 袴田巖死刑囚再審請求支援集会（シズウエル）</p> <p>01.21 食とみどり・水を守る静岡労農市民会議 2014 年総会</p>	

		<p>11.30～12.01 第 44 回食とみどり・水を守る全国集会（大阪・ガーデンパレス）</p> <p>12.16 第 46 回衆議院選挙（社民 2、民主 57、自民 294、公明 31、共産 8、みんな 18、未来 9、国民新 1、新党大地 1、日本維新の会 54、無所属 5）</p> <p>12.23 「オスプレイ配備撤回！米兵による凶悪事件糾弾！怒りの御万人（うまんちゅう＝民衆）大行動（沖縄県宜野湾市）</p> <p>12.26 第 2 次安倍内閣発足</p>
	<p>01.26 全国連合事務所を移転、社会文化会館の歴史に幕</p> <p>03.31 静岡社会文化会館、一般財団法人に移行</p> <p>04.02 「山城博治・山内徳信講演会」（静岡・労政会館）</p> <p>04.23 「憲法改悪を許すな！社民党」集会（衆議院会館）</p> <p>05.25 党県連合総支部・支部代表者会議（静岡・交通会館）</p> <p>05.29 又市征治国政報告会（静岡・労政会館）</p> <p>06.15 「鴨もも代と国会へ行こう会」発会総会（浜松市・プレスセンター）</p> <p>06.16 県知事選挙、川勝平太（推薦）当選</p> <p>06.20 「山内徳信講演会（山城博治勝手連総決起集会）」（静岡・労政会館）</p> <p>07.15 「鴨もも代と国会へ行こう会」（三島）</p> <p>07.21 第23回参議院選挙、比例区は重点候補・又市征治、山城博治は後援会選挙、選挙区は民主党榛葉賀津也（推薦）当選</p> <p>08.20 「がんばれ社民党しずおかの会」第14回総会（静岡・交通会館）</p> <p>10.14 党首選投票日、石川大我31票、吉田忠智171票</p> <p>10.14 党首選で吉田忠智選出</p> <p>11.01 全国代表者会議で吉田党首と新執行部承認</p> <p>11.16 党、「対話続行」を掲げ、ただどものWA全国キャラバンスタート</p> <p>11.28 党県連合、「危ない！秘密保護法」反対集会&講演会（労政会館）講師・中川亮弁護士</p> <p>12.01～02 党脱原発・脱プルトニウム連絡協議会合同研修会（福島県・いわき市）</p> <p>市・町議選挙 （4月・掛川市・袋井市・磐田市）</p>	<p>02.25 韓国朴槿恵大統領就任</p> <p>03.06 オスプレイ本土訓練開始、武器輸出三原則の例外追加</p> <p>03.09 つながろうフクシマ！さよなら原発大集会（福島県・郡山市）</p> <p>03.15 安倍首相、TPP 交渉参加表明</p> <p>03.17 中国、習近平総書記を国家主席に選出</p> <p>04.19 改正公選法成立、ネット選挙開始</p> <p>06.19 原子力規制委、新規制基準決定</p> <p>07.01 「立憲主義から憲法を考える 7.1 集会」</p> <p>07.21 第 23 回参議院選挙（社民 1、民主 17、自民 65、公明 11、共産 8、みんな 8、日本維新 8、沖縄社大 1、無所属 1）</p> <p>08.12 オスプレイ普天間追加配備</p> <p>08.28 原子力規制委員会、福島原発の汚染水漏れで「レベル 3」</p> <p>09.04 最高裁、「婚外子差別は違憲」判断</p> <p>09.22 反ヘイトスピーチの「差別撤廃東京大行進」（新宿・大久保）</p> <p>09.23 さよなら原発 1000 万人アクション全国集会（代々木公園）</p> <p>10.03～ 連合第 13 回定期大会</p> <p>11.03～05 第50回護憲全国大会（沖縄県・那覇市）</p> <p>11.20 最高裁、衆院の一票の格差 2.43 倍は違憲状態と判決</p> <p>11.21 STOP！秘密保護法 11.21 大集会（日比谷野音）</p> <p>11.27 国家安全保障会議設置法成立</p> <p>11.29～30 第 45 回食とみどり・水を守る全国集会（仙台市・国際センター）</p> <p>12.06 秘密保護法、強行採決</p> <p>12.06 秘密保護法廃案へ 12.6 大集会（日比谷野音）</p> <p>12.26 安倍首相、靖国参拝</p> <p>12.27 沖縄仲井真知事、名護市辺野古移転の埋め立て承認</p>
	<p>02.22 党第14回定期全国大会、党首・吉田忠智、幹事長・又市征治</p>	<p>01.24 秘密保護法廃案へ1.24集会（参議院会館）</p> <p>03.04 「戦争をさせない1000人委員会」発足集会</p>

	<p>03.01 被災 60 周年 3.1 ビキニデー全国集会</p> <p>03.11～12 さよなら原発 1000 万人アクション静岡集会 (静岡・青葉公園) / 福島連帯キャラバン (浜岡～山梨)</p> <p>03.27 袴田巖死刑囚再審決定判決 (静岡地裁)</p> <p>03.29 連合静岡、暮らしの底上げ実現キャンペーン 3.29 県民集会</p> <p>03.30 袴田巖死刑囚再審決定報告集会 (静岡・労政会館)</p> <p>04.30 「戦争をさせない 1000 人委員会・静岡」発足 (呼びかけ人代表加藤一夫)</p> <p>05.03 「憲法フォーラム in しずおか」憲法記念日講演会 (シズウエル) 講師・飯島滋明</p> <p>06.21 日朝友好静岡県民会議第 24 回定期総会(静岡・労働会館)</p> <p>07.25 原水爆禁止静岡県民会議 2014 年度総会・結団式 (静岡・労働会館)</p> <p>08.04～09 被爆 69 周年原水禁世界大会 (広島・長崎)</p> <p>08.19～24 第 17 代高校生平和大使 (杉山慶亘さん) ジュネーブ国連欧州本部訪問</p> <p>08.18 キャンプ富士等への MV-22 オスプレイ飛来反対緊急行動 (御殿場・桜公園)</p> <p>10.17 連合静岡第 25 回定期大会 (清水・清水テルサ)</p> <p>10.22 憲法擁護静岡県民連合第 34 回定期総会 / しずおか憲法 9 条を擁護し実現する会 2015 年総会 (静岡・労働会館)</p> <p>12.18 静岡県平和・国民運動センター第 22 回定期総会・記念講演会 (静岡・労働会館)</p>
2015 (H27)	<p>01.20 食とみどり・水を守る静岡労農市民会議 2015 年総会</p> <p>02.24 2.24 決起集会 STOP THE 格差社会</p> <p>03.01 被災 61 周年 3.1 ビキニデー全国集会 (シズウエル)</p> <p>03.11 さよなら原発 1000 万人アクション静岡集会 (静岡・青葉公園)</p> <p>05.03 「憲法フォーラム in しずおか」憲法記念日講演会 (労政会館) 講師・瀬戸厚</p> <p>06.19 許すな戦争法緊急学習会 (静岡・労働会館)</p> <p>06.20 日朝友好静岡県民会議第 25 回定期総会(静岡・労働会館)</p> <p>07.18 戦争をさせない静岡総がかり行動 (駿府城公園)</p> <p>07.24 原水爆禁止静岡県民会議 2015 年度総会・結団式 (静岡・労働会館)</p> <p>08.04～09 被爆 70 周年原水禁世界大会 (広島・長崎)</p> <p>08.15～22 第 18 代高校生平和大使 (杉本汐音さん) ジュネーブ国連欧州本部訪問</p> <p>08.19 県にオスプレイ配備と飛行問題で申入れ</p> <p>08.29 戦争をさせない 1000 人委員会静岡行動 (静岡・常盤公園)</p> <p>08.30 戦争をさせない第 2 次静岡総がかり行動 (静岡・駿府城公園)</p>

<p>04.27 党県連合第13回定期大会 (静岡・労働会館) 代表 / 橋本勝六、副代表/小沢明美、幹事長/大河内俊雄</p> <p>06.20 党、シンポジウム「日本の今を問う」開催、集団的自衛行使容認に反対</p> <p>06.23 野党平和外交の一環として党訪中団を派遣</p> <p>07.27 「ただとものWA全国キャラバンIn静岡」 (浜岡・掛川市・静岡市)</p> <p>08.04 「がんばれ社民党しずおかの会」第15回総会 (静岡・交通会館)</p> <p>09.18 「村山談話を継承し発展させる会」衆議院会館でシンポジウム</p> <p>09.27～28 「全国党活動交流会」(日本青年館)</p> <p>09.20 党元党首土井たか子氏逝去 (85 歳)</p> <p>11.25 土井たか子さんお別れ会 (憲政記念館)</p> <p>12.03 党と原水禁福島市民会議が福島第1原発の現地視察</p> <p>12.16 第 47 回衆議院選挙、選挙区なし、山登志浩 (東海比例) 落選</p>	<p>03.21 ロシア、「クリミア共和国」を国家承認、編入</p> <p>03.27 袴田さん再審開始決定、48 年ぶり釈放</p> <p>04.01 消費税 8%スタート</p> <p>04.03 函館市、大間原発の建設差し止めを求め東京地裁に提訴</p> <p>05.21 福井地裁大飯原発の運転差し止め判決</p> <p>06.11 改正電気事業法成立、電力の小売り事業 16 年全面自由化</p> <p>06.13 国民投票法改正案、地方教育行政法改正案が可決・成立</p> <p>07.01 集団的自衛権容認を政府が閣議決定</p> <p>08.05 朝日新聞が慰安婦報道の一部を撤回</p> <p>08.15 フォーラム平和・人権・環境が「戦争犠牲者追悼平和を誓う8.15集会」</p> <p>09.23 さよなら原発 1000 万人アクション全国集会 (東京・亀戸中央公園)</p> <p>09.27 嶽山噴火で死者 57 人行方不明者 6 人</p> <p>11.01～03 第 51 回護憲全国大会 (岐阜市・長良川国際会議場他)</p> <p>11.17 沖縄県知事選で辺野古新基地建設反対の翁長雄志当選</p> <p>11.18 安倍首相、消費税引き上げ先送り表明</p> <p>11.21 衆議院解散</p> <p>12.06 「強行採決から 1 年『秘密保護法』を許すな！ 12.6 大集会」</p> <p>12.10 特定秘密保護法施行</p> <p>12.14 第 47 回衆議院選挙 (社民 2、民主 73、自民 291、公明 35、共産 21、維新 41、次世代Ⅱ、生活 2、無所属 8)</p> <p>12.17 米とキューバが国交正常化交渉開始</p> <p>12.25 福島の甲状腺ガンの子ども 84 人、疑い 24 人</p>
<p>01.09 党県連合旗開き&ミニセミナーで福島副党首講演</p> <p>01.22 海員組合、民間船員の自衛官化反対で社民党に要請</p> <p>02.16 党全国代表者会議 (東京・星陵会館)</p> <p>03.18 党、政府に沖縄新基地建設の中止を申し入れ</p> <p>05.09 党県連合総支部・支部代表者会議 (静岡・交通会館)</p> <p>07.04 党、「辺野古新基地阻止！青年沖縄派遣団」に取り組む</p> <p>08.03 党、「戦争による平和はあり得ない 村山談話と戦後 70 年」集会</p> <p>09.12 党県連合参議院選挙闘争本部発足会議 (労政会館)</p>	<p>01.06 「戦争をさせない！9条壊すな総がかり実行委員会」発足、以降統一行動</p> <p>02.10 政府、南スーダンで PKO 活動中の自衛隊の派遣期間を半年間延長</p> <p>02.22 「沖縄辺野古新基地建設反対県民集会」</p> <p>04.10 米オバマ大統領とキューバのカストロ国家評議会議長がパナマで会談</p> <p>04.17 沖縄翁長知事と安倍首相が初会談、翁長知事が辺野古への基地移設中止を要請</p> <p>04.27 日米防衛協力のための指針 (ガイドライン) に集団的自衛権の行使、米軍後方支援の地理的制限の解除が盛り込まれる</p> <p>05.03 「平和といのちと人権を！ 5.3 憲法集会」横浜で開催、3 万人参加</p>

	<p>09.13~19 戦争をさせない1000人委静岡、山場の行動（静岡駅北地下道）</p> <p>09.18 連合静岡「安全保障法制を考えるシンポジウム」</p> <p>10.16 連合静岡第26回定期大会（清水・清水テルサ）</p> <p>10.21 憲法擁護静岡県民連合第35回定期総会／しずおか憲法9条を擁護し実現する会2016年総会（静岡労働会館）</p> <p>11.03 「11.3戦争法廃止！9条壊すな静岡集会」（森下公園）戦争をさせない1000人委静岡主催）</p> <p>12.17 静岡県平和・国民運動センター第23回定期総会（静岡・労働会館）</p>
2016 (H28)	
2017 (H29)	

<p>10.22 全国幹事長会議（全水道会館）次期参院選闘争方針決定</p> <p>市・町議選挙（4月・浜松市）</p>	<p>05.17 大阪府、橋下徹大阪市長の「大阪都」構想を住民投票で否決</p> <p>06.04 選挙年齢を18歳に引き下げる「公職選挙法改正案」成立</p> <p>07.16 「安全保障関連法案」衆院で強行採決</p> <p>07.14 「戦争法廃案！強行採決反対！7.14大集会」（日比谷野音）</p> <p>07.20 米とキューバ、54年ぶりに国交回復</p> <p>07.28 「強行採決許すな！戦争法廃案へ！7.28大集会」（日比谷野音）</p> <p>08.11 九州電力川内原発再稼働</p> <p>08.30 全国で戦争法に反対する行動を展開、国会周辺に12万人抗議</p> <p>09.09 「戦争法廃案！安倍内閣退陣！9.9日比谷大集会」</p> <p>09.11 「改正労働者派遣法」成立、派遣社員の受入れ期間を事実上撤廃</p> <p>09.12 「止めよう！辺野古埋め立て9.12国会包囲行動」</p> <p>09.19 「安全保障関連法案」参院で強行採決</p> <p>09.23 さよなら原発1000万人アクション全国集会（代々木公園）</p> <p>10.07~08 連合第14回定期大会、会長・神津里季生</p> <p>11.08 ミャンマー総選挙、スー・チー氏の国民民主連盟が圧勝</p> <p>11.14~16 第52回護憲全国大会（青森市・リンクステーション青森）</p>

引用文献・資料

新版「社会・労働運動大年表」（法政大学・大原社会運動研究所編）労働旬報社
日本社会党 40 年史（日本社会党結党 40 年記念出版刊行委員会）
総評十年史（同名編纂委員会）
総評四十年史（第 1～3 巻）（同名編纂委員会）
静岡新聞・毎日新聞（マイクロフィルム 1945 年 9 月～1952 年 12 月）
年表「昭和・平成史」（岩波ブックレットNo.844）
静岡県歴史年表 日本史・世界史対応（静岡県歴史教育研究会編／静岡新聞社）
全日本造船機械労働組合「50 年史」（同名編纂委員会）
静岡県労働運動史（同名編纂委員会・静岡県労働組合評議会発行）
静岡県労働運史・略年表 1925～75（同名編纂委員会・静岡県労働組合評議会発行）
県評記念誌（静岡県労働運動史編纂委員会・静岡県労働組合評議会発行）
静教組 50 年史・静岡県教職員組合編（1997 年 11 月発行）
20 年史・国鉄労働組合静岡地方本部（20 年史編纂委員会・昭和 46 年 11 月 1 日発行）
静岡地区労 30 年のあゆみ（同名編纂委員会）
写真でつづる静岡地区労の 41 年（同名編さん委員会）
不況の街清水における闘い（清水地区労、地区春闘共闘会議・反合プロジェクト）
あゆみ（磐田地区労働組合会議記念誌）
遠労のあゆみ（遠労会議年史編纂委員会）
思い出の共有（湖西地区労働組合協議会記念誌編集委員会）
月刊社会民主（社会民主党全国連合機関紙宣伝局）
静岡県社会党支持労組会議、連帯する労組会議、民主・リベラル労組会議議案書
静岡県平和・国民運動センター議案書
自治労静岡県本部活動報告書
全農林静岡事務所活動報告書
静岡鉄道労働組合大会議案書
全造船機械金指分会日報「マスト」、大会議案書